

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 生活困窮者自立支援事業 | 事業番号 | 112101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 福祉課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:地域で共に支え合う福祉の充実 | | |
| 単位施策 | 2:生活支援の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活保護に至る前の段階の自立支援強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援事業を実施し、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、相談内容に応じた必要な情報提供及び助言を行い、生活困窮者の自立を図るための支援を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活困窮者からの相談を包括的に受け付け、困窮者の自立に向け、自立相談支援事業による支援や他制度が利用できるよう関係機関と連携をとりました。（年間相談件数123件） ○ 「住宅確保給付金」の支給予定者を3件見込んでいましたが、対象者はいませんでした。 ○ 広島市が実施する「生活困窮世帯学習支援事業」について協定を結び、集合型学習支援を行いました。参加者のうち中学校3年生は全員高校へ進学できました。（参加者4人（中学校2年生1人、中学校3年生3人）） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行いました。（相談者数145人） ○ 住宅確保給付金を支給しました。（1人分） ○ 学習支援事業を実施しました。（参加者1名） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行いました。 ○ 「住宅確保給付金」について、申請はありませんでした。 ○ 学習支援事業について、参加申込みはありませんでした。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活困窮者からの相談を包括的に受け付け、困窮者の自立に向け、自立相談支援事業による支援や他制度が利用できるよう関係機関と連携を図りました。（新規相談者数222人・延べ相談者数353人） ○ 「住居確保給付金」の支給予定者を1件見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対象者は大幅に拡大し、申請件数57件に対して、決定件数54件の支給を行いました。 ○ 広島市が実施する「生活困窮世帯学習支援事業」について協定を結び、集合型学習支援を行いました。参加者数は中学校3年生1人でしたが、高校へ進学できました。 ○ 広島市が実施する「一時生活支援事業」について協定を結び、一時生活支援を行いました。住居のない2名の住居確保を支援しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 相談者数 | 人 | 目標値 | 125 | 130 | 135 | 140 | 145 |
| | | | 実績値 | 95 | 123 | 145 | 135 | 353 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 95 | 95 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 123 | 0 | 52 | 0 | 0 | 71 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 5,416 | 4,040 | 0 | 0 | 0 | 1,376 |
| 合計 | 5,634 | 4,135 | 52 | 0 | 0 | 1,447 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標が未達成の年度もありましたが、生活困窮者からの相談に適切に応じました。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により相談件数が急増しましたが、関係機関と連携し、各種制度の利用促進や就労支援を行いました。 今後は、就労準備支援や家計改善支援等の新たな自立支援事業について、検討を行います。 | |
| 作成担当課長 | 福祉課長 長西 弘子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 相談件数には波があり、事業目標が未達成の年度もありました。 生活困窮者からの相談に適切に対応しています。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により相談件数が急増しましたが、関係機関と連携し、各種制度の利用促進や就労支援を行いました。 今後は、就労準備支援や家計改善支援等の新たな自立支援事業について、検討を行います。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 111101 | 継続実施 | | | |
| 相談者数 | 人 | 136 | 138 | 140 | 142 | 144 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、様々な支援を一体的かつ計画的に行うことで、生活困窮者の自立促進を図ります。 ●新たに自立相談、就労準備、家計改善の支援を行います。（令和4年度～） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 9,788万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 地域生活支援強化事業 | 事業番号 | 113101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 福祉課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:地域で共に支え合う福祉の充実 | | |
| 単位施策 | 3:障がい者福祉の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者施設通所支援事業 障害者施設に通所する障害者へ通所のための交通費を助成しました。●平成28年度利用者100人 ○ 重度心身障害者福祉タクシー助成事業 重度障害者の社会参加を促進するために、タクシー料金を助成しました。●平成28年度タクシー券交付人数577人 ○ 重度心身障害者介護手当事業 重度心身障害者の生活支援として、5歳以上20歳未満の重度心身障害者の保護者に手当を支給しました。●平成28年度受給者数8人 ○ 障害者歯科健診事業 18歳以上の障害者手帳（身体・知的・精神）所持者を対象に、集団歯科健診を実施しました。●受診者数23人（10月20日、21日実施） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者施設に通所する障がい者へ通所のための交通費を助成しました。（助成利用者103人） ○ 重度障がい者の社会参加を促進するために、タクシー料金を助成しました。（交付人数588人） ○ 重度心身障がい者（5歳以上20歳未満）の生活支援として、手当を支給しました。（受給者数6人） ○ 18歳以上の障がい者手帳（身体・知的・精神）所持者を対象に、集団歯科健診を実施しました。（2回、受診者数11人） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者施設に通所する障がい者へ、通所のための交通費を助成しました。（案内19人、助成利用者119人） ○ 重度障がい者の社会参加を促進するために、タクシー料金を助成しました。（案内104人、交付人数637人） ○ 重度心身障がい者（5歳以上20歳未満）の生活支援として、手当を支給しました。（案内8人、受給者数6人） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者施設に通所する障がい者へ、通所のための交通費を助成しました。（案内57人、助成利用者117人） ○ 重度障がい者の社会参加を促進するために、タクシー料金を助成しました。（案内45人、交付人数637人） また、広報3月号に掲載し、制度の周知を図りました。 ○ 重度心身障がい者（5歳以上20歳未満）の生活支援として、手当を支給しました。（案内1人、受給者数8人） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者施設に通所する障がい者へ通所のための交通費を助成しました。（案内145人（うち更新93人、新規52人）、助成利用者123人） ○ 重度障がい者の社会参加を促進するために、タクシー料金を助成しました。（案内60人、交付人数615人） ○ 重度心身障がい者（5歳以上20歳未満）の生活支援として、手当を支給しました。（案内1人、受給者数8人） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 障がい者施設通所交通費助成利用者数 | 人 | 目標値 | 87 | 93 | 99 | 106 | 114 |
| | | | 実績値 | 100 | 103 | 119 | 117 | 123 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 14,841 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,841 |
| 平成29年度 | 16,085 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,085 |
| 平成30年度 | 16,192 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,192 |
| 令和元年度 | 16,846 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,846 |
| 令和2年度 | 13,994 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,994 |
| 合計 | 77,958 | 0 | 0 | 0 | 0 | 77,958 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>制度の周知や通所施設の利用促進を行ったことにより、5年間継続して事業目標を達成し、障がい者の社会参加による地域生活支援を行うことができました。</p> <p>引き続き、各制度の周知及び利用促進を図り、障がい者の地域生活を支援します。</p> | |
| 作成担当課長 | 福祉課長 長西 弘子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>制度の周知や通所施設の利用促進を行ったことにより、5年間連続して事業目標を達成し、障がい者の社会参加による地域生活支援を行うことができました。引き続き、支援を継続します。</p> | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-------------------|---|------|------|------|------|------|
| 112101 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 障がい者施設通所交通費助成利用者数 | 人 | 118 | 120 | 123 | 126 | 129 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●障がい者の社会復帰・社会参加を促進するため、障がい者施設への通所交通費の助成を行います。 ●重度障がい者の自立生活・社会参加を促進するため、タクシーの利用助成を行います。 ●重度心身障がい者に対して介護手当を支給します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 9,353万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 精神障がい者通院医療費助成事業 | 事業番号 | 113102 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 福祉課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:地域で共に支え合う福祉の充実 | | |
| 単位施策 | 3:障がい者福祉の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | <p>○ 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、国民健康保険以外の健康保険加入者へ医療費の自己負担の1/2を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成対象者497人（H30.3.31現在） ・ 申請件数311件（実人数167人） |
| 平成30年度 | <p>○ 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、国民健康保険以外の健康保険の被保険者へ、自立支援医療費に係る自己負担額の1/2を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成対象者数517人（平成31年3月末時点） （助成案内者数517人） ・ 申請件数327件（実人数185人） |
| 令和元年度 | <p>○ 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、国民健康保険以外の健康保険の被保険者へ、自立支援医療費に係る自己負担額の1/2を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成対象者数561人（令和2年3月末時点） （助成案内者数561人） ・ 申請件数354件（実人数200人） |
| 令和2年度 | <p>○ 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、国民健康保険以外の健康保険の被保険者へ、自立支援医療費に係る自己負担額の1/2を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成対象者数595人（助成案内者数595人） ・ 申請件数336件（実人数195人） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 助成対象者数 | 人 | 目標値 | - | 424 | 442 | 461 | 480 |
| | | | 実績値 | - | 497 | 517 | 561 | 595 |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 1,523 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,523 |
| 平成30年度 | 1,925 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,925 |
| 令和元年度 | 2,497 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,497 |
| 令和2年度 | 2,223 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,223 |
| 合計 | 8,168 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,168 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>制度の周知を行い、継続して事業目標を達成していますが、申請による償還払いのため、必要な対象者が制度を利用できているのか、課題が残っています。 今後は、現物給付による利便性の向上や適切な受診のための負担軽減について、検討を行います。</p> | |
| 作成担当課長 | 福祉課長 長西 弘子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>事業目標については、5年間継続して、達成しています。制度の周知はしていますが、申請による償還払いのため、必要な対象者が制度を利用できているのかについては、課題が残っています。今後は、現物給付による利便性の向上等適切な負担軽減について検討します。</p> | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 112102 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 助成人数 | 人 | 210 | 320 | 330 |
| 具体的な取り組み | ● 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、社会保険等加入者に対し医療費の自己負担額の1/2を助成します。（令和4年度～：国民健康保険加入者について国民健康保険特別会計から移行。） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2,417万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 障がい者雇用促進等事業 | 事業番号 | 113103 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 福祉課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:地域で共に支え合う福祉の充実 | | |
| 単位施策 | 3:障がい者福祉の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | ○ 障がい者相談支援事業所と連携して、精神障がい者2人を臨時職員として雇用しました。 (時給950円×3時間×7日×2人) |
| 平成30年度 | ○ 障がい者相談支援事業所等と連携して、障がい者（精神）を臨時職員として雇用しました。 (雇用者数1人) |
| 令和元年度 | ○ 障がい者相談支援事業所等と連携して、障がい者（精神）を臨時職員として雇用しました。 (雇用者数2人) |
| 令和2年度 | ○ 障がい者支援事業所等と連携して、障がい者を会計年度任用職員として雇用しました。 また、連携する事業所を増やし、知的障がい者も初めて雇用しました。 (雇用者数3人、うち新規2人) |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 新規雇用者数 | 人 | 目標値 | - | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 実績値 | - | 2 | 1 | 2 | 2 |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 |
| 平成30年度 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 |
| 令和元年度 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 |
| 令和2年度 | 44 | 0 | 0 | 0 | 0 | 44 |
| 合計 | 142 | 0 | 0 | 0 | 0 | 142 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 障がい者支援事業所等と連携し、毎年度、臨時職員・会計年度任用職員として新規雇用を行い、事業目標を達成することができました。 一般就労への移行促進のため、関係機関との連携を強化し、引き続き事業を実施します。 | |
| 作成担当課長 | 福祉課長 長西 弘子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 障がい者支援事業所等と連携し、毎年度、臨時職員・会計年度任用職員として新規雇用を行い、目標を達成することができました。一般就労への移行促進のため、関係機関との連携を強化していきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | ふらっとウォーキング事業 | 事業番号 | 121101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 健康推進課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1:ライフステージに応じた健康づくりの支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動機会の創出を目的に整備している「ふらっとウォーキングコース」を活用し、「府中町ふらっとウォーキングイベント」を実施しました。 ○ ふらっとウォーキングモデル地区整備事業計画に基づき、ウォーキングコースとなっている道路への防犯灯の設置及び、コース周辺の公園等へ健康増進器具を設置する工事を行いました。 平成28年度設置器具 【大須第2公園】背のばしベンチ1基、ぶら下がり器具1基、休憩施設案内サイン1基 【八幡川河川敷】ソーラー式LED街路灯1基 【鶴江児童遊園】休憩施設案内サイン1基 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ウォーキングコースとなっている道路の歩行環境を向上させる工事、コース周辺の公園に健康増進器具を設置する工事を行いました。 ・大通5号線 土系舗装 (170㎡) ・本町15号線 アスファルト舗装打換え (152㎡) ・空城山公園 背のばしベンチ設置 (1基) ○ 「ポールでアクティブにウォーキング」を実施しました。(第1回導入編32人、第2回実践編29人) ○ 「楽しく健康づくり活動」や運動普及推進員養成講座等でウォーキングコースを活用しました。(利用者186人) |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ふらっとウォーキングコースを活用した「ポールでアクティブにウォーキング」を2回(10月及び11月)開催し、参加者の合計は51人(第1回27人・第2回24人)でした。 また、府中町運動普及推進協議会にふらっとウォーキングコースの利用を働きかけ、同協議会が開催したイベントでふらっとウォーキングコースを利用(コースの一部を含む。)した人数の合計は、122人でした。 ふらっとウォーキング地区整備事業計画に基づき、①ウォーキングコースの歩道の舗装打換え②コース上の汚損している路面表示シートの張替え③コース沿線に案内板及び健康増進器具の設置を行いました。 ・路面表示 4か所 ・舗装打換え 121㎡ ・案内板 4か所 ・健康遊具施設 2基 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポールでアクティブにウォーキング」を2回(5月・6月)開催し、参加者の合計は36人(第1回17人・第2回19人)でした。 ○ 運動普及推進協議会の主催により、ふらっとウォーキングコースを活用したイベントを実施しました(参加者125人)。 ○ 広報ふちゅう、町ホームページ、チラシ、RCCラジオにおいて、ふらっとウォーキングコースのPRを行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ふらっとウォーキングコースを活用した「ポールでアクティブにウォーキング」を次のとおり開催しました。 ・実施回数：2回(11月及び12月) ・参加者数：29人(第1回15人・第2回14人) ○ 運動普及推進協議会が主催するふらっとウォーキングコースを活用したイベントは中止となりました。 ○ 町ホームページ、チラシ等により、ふらっとウォーキングコースを周知し、コース利用を促すとともに標示シートの修繕を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 参加者数 | 人 | 目標値 | 140 | 190 | 190 | 190 | 190 |
| | | | 実績値 | 122 | 247 | 173 | 161 | 29 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,705 | 0 | 126 | 0 | 0 | 2,579 |
| 平成29年度 | 3,569 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,569 |
| 平成30年度 | 4,620 | 0 | 13 | 0 | 0 | 4,607 |
| 令和元年度 | 58 | 0 | 6 | 0 | 0 | 52 |
| 令和2年度 | 97 | 0 | 8 | 0 | 0 | 89 |
| 合計 | 11,049 | 0 | 153 | 0 | 0 | 10,896 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 期間中に目標を達成できたのは平成29年度のみとなりましたが、ふらっとウォーキングコースを活用した教室等を毎年開催したり、コースの周知にも努めてきたため、コースの知名度や活用度は向上しています。 当該事務事業は令和2年度で終了となりますが、次年度からは、健康づくり啓発事業内の一つの事業として、今後もコースを活用した事業展開に取り組みます。 | |
| 作成担当課長 | 健康推進課長 塩月 久美子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5か年で、平成29年度のみ目標を達成しました。 ふらっとウォーキングコースを活用した教室の開催やコース紹介など、コースの周知を図りました。 令和2年度で、事務事業は終了しますが、今後も、ウォーキングコースを活用した健康事業を実施していきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|------|----------------------|------|------|------|------|------|
| | 継続実施（健康づくり啓発事業へ組み入れ） | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 妊婦歯科健康診査事業 | 事業番号 | 121102 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1:ライフステージに応じた健康づくりの支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 妊婦の虫歯や歯周疾患を予防し、生まれてくる子どもへの影響を低減するため、妊婦に対する歯科健診を実施しました。 |
| 平成29年度 | ○ 妊娠届出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付し、妊婦に歯科健診を実施しました。 (自己負担金 無料) 受診票交付者数 584人 歯科健診受診者数 277人 |
| 平成30年度 | ○ 妊娠届提出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付し、妊婦に歯科健診を実施しました。 妊婦1人あたり1回、自己負担金：無料 健診委託単価：4,719円 【実績数】 受診票交付者数 516人 歯科健診受診者数 242人 |
| 令和元年度 | ○ 妊娠届提出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付し、妊婦に歯科健診を実施しました。 受診票交付数 584人 歯科健診受診者数 304人 |
| 令和2年度 | ○ 妊娠届提出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付し、妊婦に歯科健診を実施しました。 【実績数】 受診票交付数 522人 歯科健診受診者数 308人 ○ 妊娠6か月頃に行う産前コール、マタニティ教室において、妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 受診率 | % | 目標値 | 48.0 | 48.0 | 48.0 | 48.0 | 48.0 |
| | | | 実績値 | 49.5 | 47.4 | 46.9 | 52.1 | 59.0 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 1,313 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,313 |
| 平成29年度 | 1,298 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,298 |
| 平成30年度 | 1,142 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,142 |
| 令和元年度 | 1,462 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,462 |
| 令和2年度 | 1,792 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,792 |
| 合計 | 7,007 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,007 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成28年度は目標達成、平成29～30年度は、未達成でしたが、母子健康手帳交付時や平成30年11月から開始した「マタニティ教室」や「産前コール」時に妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行うことにより、令和元年度から受診率が50%を超え、令和元年度と令和2年度は目標達成となりました。妊婦の虫歯や歯周疾患を予防することは、妊婦及び生まれてくる子どもの口腔衛生の向上につながることから、引き続き受診勧奨を行い、受診率の向上を目指します。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成29～30年度は、目標が未達成でしたが、母子健康手帳交付時及び平成30年11月から開始しました「マタニティ教室」や「産前コール」時に妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行うことにより、令和元年度から受診率が50%を超え、令和元年度及び令和2年度は目標達成となりました。引き続き、受診勧奨を行い、受診率の向上を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 節目年齢歯科健診事業 | 事業番号 | 121103 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 健康推進課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1:ライフステージに応じた健康づくりの支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ 定期的な歯科健診の受診機会を設け成人の口腔衛生の向上を図るため、節目年齢（40, 50, 60, 70歳）の住民に歯科健診を実施しました。 |
| 平成29年度 | ○ 定期的な歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図るため、節目年齢（40・50・60・70歳）の住民に歯科健診を実施しました。 （対象者数2,870人、受診者数332人） |
| 平成30年度 | ○ 定期的な歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図るため、節目年齢（40, 50, 60, 70歳）の住民に歯科健診を実施しました。 対象者数 2,852人 受診者数 342人 |
| 令和元年度 | ○ 節目年齢の住民に歯科健診を実施しました。 対象者数 2,738人 受診者数 311人 ○ 広報ふちゅう5月号やホームページ等により、事業の周知を図りました。 |
| 令和2年度 | ○ 定期的な歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図るため、節目年齢（40・50・60・70歳）の住民に歯科健診を実施しました。 対象者数 2,669人 受診者数 471人 ○ 広報ふちゅう5月号、12月号およびホームページにより、事業の周知を図りました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 受診率 | % | 目標値 | 12.5 | 13.0 | 13.5 | 14.0 | 14.5 |
| | | | 実績値 | 12.7 | 11.6 | 12.0 | 11.4 | 17.6 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 1,316 | 0 | 536 | 0 | 0 | 780 |
| 平成29年度 | 1,370 | 0 | 577 | 0 | 0 | 793 |
| 平成30年度 | 1,419 | 0 | 591 | 0 | 0 | 828 |
| 令和元年度 | 1,303 | 0 | 481 | 0 | 0 | 822 |
| 令和2年度 | 1,882 | 0 | 490 | 0 | 0 | 1,392 |
| 合計 | 7,290 | 0 | 2,675 | 0 | 0 | 4,615 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 対象者への個別通知及び広報等により周知を行い、目標を達成しました。 | |
| 作成担当課長 | 健康推進課長 塩月 久美子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成29年から令和元年まで、目標を達成できませんでしたが、対象者への個別通知及び広報等により周知を行い、令和2年度は、目標を達成できました。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 健康づくり啓発事業 | 事業番号 | 121104 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 健康推進課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1:ライフステージに応じた健康づくりの支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上や自主的な健康づくりを支援し、人とのつながりを深めながら協働での健康づくりを推進するため、第2次府中町健康増進計画・食育推進計画に沿って、健康づくり活動を実施しました。朝パッ君ネットワーク登録数:77(団体:71, 個人:6) |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> 第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(朝パッ君プラン)に基づき、町民・関係機関、団体の参加、参画と協働により、食育の推進、健康づくりの活動や事業等を実施しました。(朝パッ君ネットワーク登録団体:71団体(うち個人登録者6人)) 健康づくりに関する意識調査を実施しました。 対象者:満20歳以上の町民3,000人 調査期間:平成29年8月～10月 回収数:1,330票 健康づくり等に関わる庁内各課・関係団体に健康づくり活動に関するアンケート調査を実施しました。 対象者:朝パッ君ネットワーク登録65団体 調査期間:平成29年11月～12月 回収数:39票 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度も7月～9月末までの期間において、健康マイレージ制度を実施しました。(参加延人数18,000人) 町が、町民、関係機関・団体と協働することにより、「おむすび体験活動」等の提案事業を実施しました。 第2次府中町健康増進計画・食育推進計画の中間見直しを行い、第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)(通称:朝パッ君プラン)を策定しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年7月～9月末までの期間において、健康マイレージ制度を実施しました。(参加延人数17,795人) 町民及び関係機関・団体等と協働しながら「元気配達人 出張事業」(おむすび体験活動等)等の提案事業を実施しました。 広報ふちゅうの表紙に「健康応援団長 朝パッ君」を掲載してもらおうなど、活動の発信に努めました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> 例年7月～9月に実施している健康マイレージ制度ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施期間を9月～11月に移動させて実施しました。(参加延人数:16,425人) 町民及び関係機関・団体等と協働し、第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)に基づく「元気配達人出張事業」等の提案事業を実施しました。 Youtube府中町公式チャンネルに登録している「朝パッ君体操」動画のQRコードを健康マイレージ制度のチラシに掲載し、コロナ禍において感染リスクが低い個人での運動を促しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 健康づくり活動への参加者数 | 人 | 目標値 | 26,200 | 26,400 | 26,600 | 26,800 | 27,000 |
| | | | 実績値 | 53,959 | 55,371 | 62,347 | 66,892 | 60,861 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,726 | 0 | 0 | 0 | 1,462 | 1,264 |
| 平成29年度 | 4,563 | 0 | 0 | 0 | 962 | 3,601 |
| 平成30年度 | 4,405 | 0 | 0 | 0 | 962 | 3,443 |
| 令和元年度 | 4,218 | 0 | 0 | 0 | 1,787 | 2,431 |
| 令和2年度 | 1,626 | 0 | 0 | 0 | 962 | 664 |
| 合計 | 17,538 | 0 | 0 | 0 | 6,135 | 11,403 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 健康づくり活動の参加者数は毎年増加しており目標も達成できていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、初めて令和2年度に減少しました。 引き続き、健康マイレージ制度の利用促進やふらっとウォーキングコースを活用した事業を展開するなど、住民の健康意識の向上や健康づくりに取り組みます。 | |
| 作成担当課長 | 健康推進課長 塩月 久美子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 健康づくり活動の参加者数は、令和2年度を除き、毎年増加しており、目標も毎年度達成しました。 引き続き、住民の健康意識の向上や健康づくりに取り組みます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|---------------|------|--------|--------|--------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 健康づくり活動への参加者数 | 人 | 60,500 | 62,200 | 63,800 |
| 具体的な取り組み | ●健康マイレージ制度やふらっとウォーキングコースの活用等により、住民の健康意識の向上や健康づくりを支援します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2,168万円 | | | | | |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 接種率（おたふくかぜ） | % | 目標値 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 90.0 | 90.0 |
| | | | 実績値 | 137.0 | 94.3 | 82.9 | 87.7 | 70.7 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | 助成件数（成人風しん） | 件 | 目標値 | 130 | 130 | 130 | 130 | 130 |
| | | | 実績値 | 27 | 74 | 102 | 88 | 86 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 6,985 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,985 |
| 平成29年度 | 5,845 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,845 |
| 平成30年度 | 5,540 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,540 |
| 令和元年度 | 4,454 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,454 |
| 令和2年度 | 15,237 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15,237 |
| 合計 | 38,061 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,061 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>小児おたふくかぜは、平成28～30年度については目標を達成しました。令和元～2年度は接種率が目標に届かなかったものの、70～80%台でした。令和3年度は、費用助成回数を1人あたり1回から2回へ増やすこととしています。成人風しんは、毎年目標に届きませんでした。平成30～令和2年度は年間80～100件程度を維持しています。任意予防接種費用助成事業については、引き続き医療機関への協力依頼や広報等を活用し、接種率の向上に努めます。</p> | |
| 作成担当課長 | 健康推進課長 塩月 久美子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>小児おたふくかぜは、平成28～30年度は、目標を達成しました。令和元～2年度は、接種率70～80%台でしたが、目標に届きませんでした。令和3年度は、一人当たりの費用助成回数を1回から2回に増やすこととしています。成人風しんは、5年間、目標に届きませんが、平成30～令和2年度は年間80～100件程度を維持しています。任意予防接種費用助成事業は、引き続き医療機関への協力依頼や広報等を活用し、接種率の向上に努めます。</p> | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|---|------|------|------|------|
| 121102 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 接種率（おたふくかぜ） | % | 88 | 89 | 89 |
| 具体的な取り組み | | <ul style="list-style-type: none"> ● 予防接種対象者に対し、おたふくかぜと成人風しんに係る接種費用の一部を助成します。 ● おたふくかぜについては2回目接種を新たに助成対象とします。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 2,124万円 | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|--------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 産科医等確保支援事業 | 事業番号 | 121106 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 2: 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1: ライフステージに応じた健康づくりの支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 町内で、安心・安全に妊娠・出産できるよう、産科医等に対して分娩手当を支給し、産科医等の処遇改善を行いました。 |
| 平成29年度 | ○ 産科医等に対して分娩手当を支給している医療機関に対し、補助金を交付しました。（分娩手当10,000円×分娩件数の2/3。分娩件数861件） |
| 平成30年度 | ○ 町内の医療機関（産科）に対し、1分娩あたり分娩手当10,000円×分娩件数の2/3の補助金を交付しました。 【実績数】 分娩件数 840件 |
| 令和元年度 | ○ 町内の医療機関（産科）に対し、分娩件数833件分の補助金を交付しました。 |
| 令和2年度 | ○ 町内の医療機関（産科）に対し、1分娩あたり分娩手当10,000円×2/3の補助金を交付しました。 【実績数】 分娩件数 879件 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 産科医院数 | 医院 | 目標値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 実績値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|--------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 6,073 | 0 | 4,485 | 0 | 0 | 1,588 |
| 平成29年度 | 5,740 | 0 | 4,275 | 0 | 0 | 1,465 |
| 平成30年度 | 5,600 | 0 | 4,139 | 0 | 0 | 1,461 |
| 令和元年度 | 5,553 | 0 | 4,060 | 0 | 0 | 1,493 |
| 令和2年度 | 5,860 | 0 | 3,906 | 0 | 0 | 1,954 |
| 合計 | 28,826 | 0 | 20,865 | 0 | 0 | 7,961 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標の達成により、町内で必要な周産期医療が受けられる体制が確保されました。産科医等の処遇は依然として厳しい状況であるため、引き続き事業を継続します。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標の達成により、町内での必要な周産期医療が受けられる体制が確保されています。引き続き、事業を継続します。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 子育て応援事業 | 事業番号 | 131101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 1 子育て世代への重点支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠、産後、0歳児から2歳児のパパママを対象に、ステージ別の講習会を実施しました。【地域子育て支援センター2か所（府中ひかり保育園・若竹保育園）で各5回】（平成28年度397人参加） ○ 気軽に相談ができるかかりつけ保育所・幼稚園を設定し、また協賛店による子育て支援を受けられる子育て応援カードを未就学児を抱える子育て家庭に配布しました。（平成28年度未登録者数990人） ○ 保護者の急用時等に一時的にお子さんを預かるファミリーサポートセンター事業を行いました。（平成28年度利用件数284件） ○ ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。（平成28年度 小学校29人、中学校44人 合計73人） ○ 未婚の男女を対象に、意識啓発セミナー（ハッピーウエディングセミナー）を開催しました。（平成28年度（1回開催）30人参加） ○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（8台）、幼稚園5園（各2台）】平成28年度末時点で39台を貸出（貸出率77%） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠、産後、0歳児から2歳児のパパママを対象に、ステージ別の講習会を実施しました。【地域子育て支援センター2か所（府中ひかり保育園・若竹保育園）で各5回/238人】 ○ 未就学児を抱える子育て家庭へ子育て応援カード（イクフレカード）を配布しました。（平成29年度未登録者数1440人） ○ 保護者の急用時等に一時的に子どもを預かるファミリーサポートセンターにおいて、未就学児174件、小学生25件の支援を実施しました。 ○ ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。（小学校30件、中学校25件） ○ 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する事業に対し補助金を交付しました。（3団体、各10万円） ○ 未婚の男女を対象に、意識啓発セミナー（ハッピーウエディングセミナー）を開催しました。（男27人、女23人） ○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（6台）、幼稚園5園（各2台）】 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ファミリーサポートセンターにおいて、未就学児201件、小学生8件の支援を実施しました。 ○ 未就学児を抱える子育て家庭へ、子育て応援カード（イクフレカード）を配布しました。（平成30年度末登録者数1,930人） ○ 乳児全戸訪問時にバスローブを500着配布しました。 ○ 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する事業に対し、補助金を交付しました。（3団体、各10万円）また、未婚の男女を対象に、婚活イベント（こいのわインカルネリアルマット）を開催しました。（男7人、女7人 ×3回） ○ ひとり親家庭等の児童に対し、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。（小学校26件、中学校32件） ○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（6台）、幼稚園5園（各2台）】 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ファミリーサポートセンターにおいて、未就学児112件、小学生43件の支援を実施しました。 ○ 府中ひかり保育園、若竹保育園の両子育て支援センター及びバンビーズ、ハッピーズの両児童センターにおいて、各1回子育て中の親子を対象とした講習会等を実施しました。 ○ 子育て応援カード（イクフレカード）を配布しました。（令和元年度未登録者数1,848人） ○ 乳児全戸訪問時にバスローブを506着配布しました。 ○ 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する事業に対し補助金を交付しました。（1団体、10万円）また、未婚の男女を対象に、婚活イベント（こいのわインカルネリアルマット）を開催しました。（男7人、女7人 ×1回） ○ 3人乗り自転車を貸し出しました。保育所5園（計14台）、認定こども園1園（4台）、幼稚園5園（計10台） ○ ひとり親家庭等の児童の保護者に対し、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。（小学校31件、中学校40件） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の急用時等に一時的に子どもを預かるファミリーサポートセンターにおいて、37件の支援を実施しました。 ○ 児童虐待対策として子育て支援センター及び児童センターにおいて例年実施している子育て中の親子を対象とした講習会等については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ○ 未就学児を抱える子育て家庭へ子育て応援カード（イクフレカード）を配布しました。（令和2年度未登録者数2,080人） ○ 乳児全戸訪問時にバスローブを配布しました。（令和2年度配布数486枚） ○ 少子化対策事業として例年実施している、出会いの場を提供する事業者への補助金交付や、婚活イベントの開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（6台）、幼稚園5園（各2台）】 ○ ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。（小学校39件、中学校33件） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 子育て不安が解消された母親等の割合 | % | 目標値 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| | | | 実績値 | 70 | 100 | 不明 | 87 | 78 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 不明 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 9,195 | 880 | 3,625 | 0 | 0 | 4,690 |
| 平成29年度 | 11,682 | 908 | 1,452 | 0 | 0 | 9,322 |
| 平成30年度 | 9,484 | 919 | 919 | 0 | 75 | 7,571 |
| 令和元年度 | 10,623 | 948 | 1,250 | 0 | 40 | 8,385 |
| 令和2年度 | 8,613 | 786 | 786 | 0 | 0 | 7,041 |
| 合計 | 49,597 | 4,441 | 8,032 | 0 | 115 | 37,009 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部の事業を中止しているため、開催回数及び参加者が減少していますが、感染状況が落ち着いてきたら、引き続き事業を実施していきます。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部事業の中止及び規模の縮小をしましたが、事業目標達成を継続できました。相談事業を中心に、感染予防をしながら、事業を継続実施できたことによると考えています。今後も、引き続き、一人でも多くの人の子育ての不安が解消できるようにしていきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|---|------|------|------|------|
| 131101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | ファミリーサポートセンター利用件数 | 件 | 155 | 155 | 155 |
| 具体的な取り組み | | <ul style="list-style-type: none"> ●保護者の急用時等に一時的に子どもを預かるファミリーサポートセンター事業を行います。 ●保健師等の専門職が個別に家庭を訪問して相談支援を実施します。 ●ひとり親家庭等の児童の保護者に対し、児童の成長を祝福し福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝金を支給します。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 5,447万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 不妊治療費助成事業 | 事業番号 | 131102 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 子育て支援課 | | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 1 子育て世代への重点支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 不妊に対する検査・治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、体外受精及び顕微受精を対象とする特定不妊治療への助成を行いました。（61件） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定不妊治療（体外受精または顕微授精）以外では妊娠の見込みがないと医師の判断を受けた人を対象に、指定医療機関で受ける治療に要する費用の一部を助成しました。（80件） ○ 新規事業として、夫婦そろって不妊検査、一般不妊治療を受ける人に対し、その費用の一部を助成しました。（12件） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象となる不妊検査・一般不妊治療にかかった費用のうち、自己負担額の1/2を助成しました。 【実績数】19件 ○ 特定不妊治療にかかった費用の一部を助成しました。 【実績数】97件 ○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成活用の周知を図りました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 不妊検査・一般不妊治療に対し、34件の助成を実施しました。 ○ 特定不妊治療に対し、77件の助成を実施しました。 ○ 特定不妊治療のために行った男性不妊治療に関して、申請はありませんでした。 ○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成活用の周知を図りました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象となる不妊検査・一般不妊治療にかかった費用のうち、自己負担額の1/2を助成しました。（上限5万円）26件 ○ 特定不妊治療にかかった費用の一部を助成しました。（1回あたり上限15万円または7万5千円）94件 ○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成活用の周知を図りました。 ○ 特定不妊治療のために行った男性不妊治療に係る申請は0件でした。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 助成件数 | 件 | 目標値 | 83 | 83 | 83 | 83 | 83 |
| | | | 実績値 | 61 | 92 | 116 | 111 | 120 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 6,933 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,933 |
| 平成29年度 | 9,182 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,182 |
| 平成30年度 | 11,432 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,432 |
| 令和元年度 | 10,161 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,161 |
| 令和2年度 | 11,923 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,923 |
| 合計 | 49,631 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49,631 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 年々助成件数が増えているので、引き続き、ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成活用の周知を図っていきます。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成29年度以降、事業目標を達成しています。引き続き、ホームページ及び広報等を活用し、助成制度の周知を図っていきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|------|------|------|------|------|
| 131102 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 助成件数 | 件 | 111 | 111 | 111 | 111 | 111 |
| 具体的な取り組み | ●不妊検査を含めた一般不妊治療及び特定不妊治療（男性不妊治療含む。）に要する費用に対し、助成を行うことにより対象者の負担軽減を図ります。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 6,999万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 養育支援訪問事業 | 事業番号 | 131103 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 1:子育て世代への重点支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問による養育支援が必要と認められた家庭において、適切な家事・育児等の援助及び専門的な訪問支援を行うもので、そのうち訪問支援である、助言・指導については、健康推進課と連携し、66回実施しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 育児に不安や悩みをお持ちの方の気軽な相談場所として出張相談を行いました。（公園相談6回、児童センター（2か所）出張相談12回） ○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して相談支援を実施しました。（106回） なお、家事・育児補助は1家庭で4回実施しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 育児に不安や悩みをお持ちの方の気軽な相談場所として、出張相談を行いました。（児童センター（2か所）、出張相談12回） ○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して相談支援を実施しました。（141回実施） なお、家事・育児補助は3家庭で47回実施しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 育児に不安や悩みをお持ちの方の気軽な相談場所として出張相談を行いました。（児童センター（2か所）、出張相談12回） ○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して相談支援を実施しました。（238回実施） なお、家事・育児補助は3家庭で83回実施しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童センターへの出張相談については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して相談支援を実施しました。（297回） なお、家事・育児補助は5家庭で98回実施しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 訪問数 | 件 | 目標値 | 150 | 150 | 150 | 150 | 200 |
| | | | 実績値 | 66 | 110 | 188 | 321 | 395 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 6 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 平成29年度 | 63 | 21 | 21 | 0 | 0 | 21 |
| 平成30年度 | 193 | 64 | 64 | 0 | 0 | 65 |
| 令和元年度 | 211 | 70 | 70 | 0 | 0 | 71 |
| 令和2年度 | 173 | 56 | 56 | 0 | 0 | 61 |
| 合計 | 646 | 213 | 213 | 0 | 0 | 220 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響により、出張相談等の事業実施ができませんでしたが、ネウボラふちゅうを開始し、相談事業の充実により、養育支援訪問事業と連携が強化され、目標を達成しています。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年度以降、目標を達成しています。ネウボラふちゅうを開始し、相談事業の充実により、養育支援訪問事業と連携が強化されたことよると考えています。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|----------|--------------------|------|------|------|------|------|
| | 継続実施（子育て応援事業へ組み入れ） | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | | | | | | |
| 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 児童センター事業 | 事業番号 | 131104 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 1:子育て世代への重点支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。 府中南交流センター平成28年度中43,822人の利用 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。（来館者数：府中南交流センター40,587人、府中北交流センター67,402人、開館日数：347日） ○ バンビーズでは、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを、ハッピーズでは、オープニングフェスタを実施しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。 来館者数：府中南交流センター 40,869人 府中北交流センター 58,789人 開館日数：347日 ○ バンビーズでは、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを、ハッピーズでは、ベビーマッサージを実施しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童センターを運営しました。 来館者数 開館日数 府中南交流センター：39,510人 325日 府中北交流センター：52,692人 340日 ※府中北交流センターの開館日数の内15日館はカンガルー広場のみ開館 ○ バンビーズでは、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを、ハッピーズでは、地域少子化対策強化事業の一環としてハッピーフェスタを実施しました。 ※令和2年3月8日以降はカンガルー広場のみの開館となったため、実績値は2月までの利用状況を基に算出。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。 来館者数 開館日数 マイフローラ南交流センター：21,627人 266日 府中北交流センター：21,783人 279日 ※府中北交流センターの開館日数の内13日間はカンガルー広場のみ開館しました。 ○ 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や大型イベントの自粛等を行ったため、利用者数としては目標未達成となりましたが、検温や消毒、密を避けるなどの感染症対策を行いつつ行事や遊びの提供を実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年4月1日～13日の間はカンガルー広場のみの開館となったため、指標の算出に当たっては全館開館していた5月以降の利用状況を基に算出しています。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 利用者数(1日当たり) | 人 | 目標値 | 120 | 220 | 220 | 220 | 220 |
| | | | 実績値 | 126 | 311 | 287 | 288 | 163 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|-------|-----|-----|---------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 33,955 | 847 | 856 | 0 | 0 | 32,252 |
| 平成29年度 | 45,042 | 1,617 | 2,865 | 0 | 0 | 40,560 |
| 平成30年度 | 41,515 | 1,666 | 1,684 | 0 | 0 | 38,165 |
| 令和元年度 | 43,581 | 1,560 | 1,427 | 0 | 0 | 40,594 |
| 令和2年度 | 41,338 | 1,613 | 1,631 | 0 | 0 | 38,094 |
| 合計 | 205,431 | 7,303 | 8,463 | 0 | 0 | 189,665 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や大型イベントの自粛等を行ったため、利用者数は減少していますが、検温や消毒、密を避けるなどの感染症対策を行いつつ、可能な限り行事や遊びの提供を実施していきます。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 平成28年度から令和元年度までは、とても多くの利用者があり、目標は達成していました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や大型イベントの自粛等により、利用者が減少しました。今後は、感染症対策を行いつつ、少しずつできるところから事業の回復をしていきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|-------------|------|------|------|------|
| 131103 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 利用者数(1日当たり) | 人 | 288 | 288 | 288 |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | ●地域の子育て支援の拠点として、乳幼児期の親子や18歳までの子どもがいつでも気軽に立ち寄れる居場所として児童センターを運営します。（府中南交流センター内「バンビーズ」、府中北交流センター内「ハッピーズ」） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2億2,386万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業 | 事業番号 | 131105 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 子育て支援課 | 教育委員会 | 社会教育課 |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 1:子育て世代への重点支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図ることを目的として、放課後児童クラブを運営しました。 ○ 平成28年度から高学年児童の受け入れ及び夏休み期間中のみの受け入れを開始しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図ることを目的として、放課後児童クラブを開設しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・通年在籍児童 601人 ・夏休みのみ在籍児童 111人 合計 712人 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時30分から午後6時までの間、適切な遊びや生活の場を提供しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・通年在籍児童 677人 ・夏休みのみ在籍児童 113人 合計 790人 ○ 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加しました。(5人) ○ サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加しました。(22人) |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時30分から午後6時までの間、適切な遊びや生活の場を提供しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・通年在籍児童 619人 ・夏休みのみ在籍児童 133人 合計 752人 ○ 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加しました。(1人) ○ サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加しました。(12人) ○ 令和元年11月にニーズ調査を実施し、内容を取りまとめました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年8月8日から開設時間を拡充し、町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時30分まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時から午後6時30分までの間、適切な遊びや生活の場を提供しました。 ○ 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加しました。(2人) ○ サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加しました。(15人) |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 受入児童数 | 人 | 目標値 | 647 | 647 | 647 | 647 | 647 |
| | | | 実績値 | 631 | 712 | 790 | 752 | 678 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 64,400 | 27,357 | 20,936 | 0 | 0 | 16,107 |
| 平成29年度 | 59,739 | 23,236 | 19,853 | 0 | 0 | 16,650 |
| 平成30年度 | 63,482 | 22,673 | 21,160 | 0 | 0 | 19,649 |
| 令和元年度 | 62,561 | 23,625 | 20,514 | 0 | 0 | 18,422 |
| 令和2年度 | 70,880 | 24,585 | 22,533 | 0 | 0 | 23,762 |
| 合計 | 321,062 | 121,476 | 104,996 | 0 | 0 | 94,590 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 受入れ児童数は前年度より減少しましたが、目標は達成しました。令和2年8月から利用時間の延長を開始しました。今後は延長利用を含め、安全な運営ができる指導員の配置（増加）、処遇改善加算及び職場環境改善が必要となります。施設修繕を行う必要があります。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 前期期間、放課後児童クラブ(留守家庭児童会)入会の需要が高まる中、5年間受入れ目標は達成できました。また、利用者アンケートの結果を基に、令和2年度は8月から開設時間の延長も実現しました。今後も、引き続き指導員等の労務環境の負担軽減を図り指導員確保に努め、安定した放課後児童クラブの運営を目指していきます。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|----------|--|---|------|------|------|------|------|
| 131104 | 継続実施 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 登録児童数 | 単位 | 人 | 709 | 707 | 703 | 701 | 700 |
| 具体的な取り組み | ●就労等の理由で昼間家庭に保護者が不在の児童を対象に、放課後や長期休暇中の生活の場として、放課後児童クラブを運営します。 | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 4億3,582万円 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | ネウボラセンター事業 | 事業番号 | 131107 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 1:子育て世代への重点支援 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 福寿館に相談室（3室）とフリースペースを整備しました。 ○ <新規事業> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠中期の妊婦とその家族を対象としたマタニティ教室、9か月児とその家族を対象とした赤ちゃん広場を月1回3ヶ所で開始しました。（11月開始）【参加率】マタニティ教室 46.8%、9か月児赤ちゃん広場 80.3% ・ 妊娠中から産後概ね4か月までの妊産婦等を対象とした産前・産後サポート事業（相談支援）を開始しました。また、妊娠中～後期の全妊婦に産前コールを実施しました。（9月開始、産前コールは11月開始） 【実績】産前・産後サポート事業 13件、産前コール 89件 ・ 産後概ね4か月までの産婦を対象に、町が委託した医療機関等で産後ケア事業（宿泊・デイサービス・母乳ケア）を開始しました。（12月開始）【実績】母乳ケア3人（計5回） <拡充事業> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回実施していた「4か月児すこやか赤ちゃん広場」と「乳児健康相談・栄養相談」の実施場所を1か所から3か所に拡充しました。（11月から拡充） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な場所での相談支援として、次の事業を令和2年2月まで月1回町内3ヶ所で実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠中期マタニティ教室（参加率54.2%） ・ 4か月児すこやか赤ちゃん広場（参加率91.2%） ・ 9か月児のびのび赤ちゃん広場（参加率88.4%） ・ 乳児健康相談・栄養相談（実施件数543件） なお、令和2年3月から新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、これらの事業を中止しています。 ○ 産前産後サポート事業等として次の事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産前産後サポート事業（実施件数38件） ・ 産前コール（参加率75.4%） ・ 産後ケア事業（母乳ケア49人、計71回） ○ 広報紙にネウボラふちゅうだよりを年6回掲載するとともに、つばきバスや役場の行政情報モニターでネウボラふちゅうの啓発を行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月町内3ヶ所で実施予定であった①～④の事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、①～③はオンライン実施、④は中止としました。 <ul style="list-style-type: none"> ①妊娠中期マタニティ教室（参加率8.0%）、②4か月児すこやか赤ちゃん広場（参加率90.9%）、③9か月児のびのび赤ちゃん広場（参加率93.4%）、④妊婦・乳幼児健康相談・栄養相談（中止） ○ また、産前産後サポート事業等として次の⑤～⑧の事業を実施しました。（⑧は令和2年度から新設） <ul style="list-style-type: none"> ⑤産前産後サポート事業（実施件数42件）、⑥産前コール（参加率75.0%）、⑦産後ケア事業（宿泊1件、デイ3件、母乳ケア102件）、⑧産後2週間コール（参加率77.0%）、4週間コール（参加率81.4%） ○ さらに、広報紙にネウボラふちゅうだよりを年6回掲載するとともに、啓発グッズ（手提げ袋、モニター）、つばきバスや役場の行政情報モニターでの啓発を行いました。 ○ 電子カルテの開発を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 相談件数 | 人 | 目標値 | - | - | 2,905 | 3,262 | 3,329 |
| | | | 実績値 | - | - | 3,020 | 3,317 | 3,005 |
| | | | 達成状況 | - | - | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|--------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 12,913 | 4,089 | 6,514 | 0 | 0 | 2,310 |
| 令和元年度 | 6,176 | 557 | 4,706 | 0 | 0 | 913 |
| 令和2年度 | 51,133 | 2,436 | 45,896 | 0 | 0 | 2,801 |
| 合計 | 70,222 | 7,082 | 57,116 | 0 | 0 | 6,024 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新規事業や拡充事業等により、平成30年度、令和元年度は事業目標を達成しましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部の事業を中止又は実施方法を変更し事業を行ったため、目標は未達成となりました。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年度及び令和元年度は、新規事業の開始や拡充事業等により、事業目標を達成しましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止又は実施方法を変更し、事業を実施したため、目標は未達成となりました。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|-------|-------|-------|
| 131105 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 相談件数 | 件 | 3,528 | 3,528 | 3,651 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●妊婦又は乳幼児のいる家庭を対象に各種講座や相談を行うとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のないサポート体制により支援を行います。 ●母子保健カルテのデジタル化の導入により、より質の高い相談体制の構築を図ります。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 6,647万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 地域子育て支援拠点事業 | 事業番号 | 132101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 2:子育て環境の確保 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座（交流センターや公民館など町内10ヶ所）や育児講座、育児相談、絵本の貸出などを年間を通じて実施し、育児不安の緩和や子どもの健やかな育ちを支援するため、府中ひかり保育園地域子育て支援センターと若竹保育園子育て支援センターに対して補助金を交付しました。 ○ 両支援センターとも、「子育てフェスティバル」（344人参加・会場:府中公民館）と「親子触れ合いコンサート」（116人参加・会場:府中南公民館）で、虐待の未然防止の啓発等を行いました。どちらのセンターも学生ボランティア等(各4人の参加)を募り、地域に発信する内容となりました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中ひかり保育園と若竹保育園の両地域子育て支援センターに対して補助金を交付することを通じ、出前講座や育児講座、育児相談、絵本の貸出しなどを実施し、育児不安の緩和や子どもの健やかな育ちを支援しました。（出前講座173回、参加者数9,371人） ○ 子育て応援フェスタ（参加者数289人）、親子で楽しめるイベント（参加者数120人）等を開催しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座について、年間183回開催しました。 （府中ひかり保育園） <ul style="list-style-type: none"> ・ 90回開催 延べ4,232人参加 ・ 補助金額7,951,000円 （若竹保育園） <ul style="list-style-type: none"> ・ 93回開催 延べ5,005人参加 ・ 補助金額7,951,000円 ○ バンビーズにて、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを実施しました。（参加者数272人） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を年間145回開催しました。 （府中ひかり保育） <ul style="list-style-type: none"> ・ 66回開催 延べ2,604人参加 （若竹保育園） <ul style="list-style-type: none"> ・ 79回開催 延べ3,520人参加 ○ バンビーズでは、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを実施しました。（参加者数433人） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座 年間 78回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 府中ひかり保育園 12回開催 延 270人参加 ・ 若竹保育園 66回開催 延1,570人参加 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部事業を中止しているため、開催回数及び参加者が減少しています。 府中ひかり保育園と若竹保育園に対して補助金を交付しました。 ○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、子育てイベントは中止しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | つどいの広場（出前講座）の参加者数 | 人 | 目標値 | 8,600 | 8,600 | 8,600 | 8,600 | 8,600 |
| | | | 実績値 | 8,881 | 9,371 | 9,237 | 6,124 | 1,840 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 15,926 | 5,308 | 5,308 | 0 | 0 | 5,310 |
| 平成29年度 | 16,004 | 5,330 | 5,337 | 0 | 0 | 5,337 |
| 平成30年度 | 16,222 | 5,400 | 5,400 | 0 | 0 | 5,422 |
| 令和元年度 | 16,304 | 5,434 | 5,434 | 0 | 0 | 5,436 |
| 令和2年度 | 16,540 | 5,513 | 5,513 | 0 | 0 | 5,514 |
| 合計 | 80,996 | 26,985 | 26,992 | 0 | 0 | 27,019 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部事業を中止していますが、感染状況が落ち着いてきたら、徐々に事業実施していきます。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 令和元年度及び令和2年度は、目標が未達成となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、休館したり、事業を中止したりしました。今後は、感染症対策を行いつつ、できるところから、事業を復活していきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 132101 | 継続実施 | | | | | |
| つどいの広場（出前講座）の参加者数 | 人 | 9,237 | 9,237 | 9,237 | 9,237 | 9,237 |
| 具体的な取り組み | ●地域子育て支援センター（府中ひかり保育園、若竹保育園）並びに児童センターにおいて、オープンスペースや子育て広場、育児相談等の事業を展開し、地域に根差した子育て支援を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 8,693万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 病児・病後児保育事業 | 事業番号 | 132102 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 子育て支援課 | | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 2:子育て環境の確保 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 病気により保育所等での集団生活が困難であり、かつ保護者が仕事や疾病などやむを得ない理由により家庭で保育を行うことが困難な小学6年生までの児童を町内医療機関「向洋こどもクリニック」に付設する「病児保育室ダンボ」で一時的に預かりました。平成27年度からは協定市町間の相互利用を開始しています。平成28年度協定市町：15市町 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「向洋こどもクリニック」内の「病児保育室ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ936人（町内利用数563人、町外利用数373人）が利用しました。また、町外施設の利用者は346人でした。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 向洋こどもクリニック内の「病児保育室ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育を行い、延べ812人（町内利用数470人、町外利用数342人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは、9件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室について、251人の利用がありました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 病児保育室「ダンボ」において、延べ954人（町内利用数527人、町外利用数427人）の預かり保育を行いました。 ○ 送迎サービスは、6件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室について、241人の利用がありました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 向洋こどもクリニック内の「病児保育室ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ435人（町内利用数246人、町外利用数189人）が利用しました。新型コロナウイルス感染症の影響により利用数は減少しています。 ○ 送迎サービスは、6件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は38人でした。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 利用者数 | 人 | 目標値 | 1,440 | 1,440 | 1,440 | 1,440 | 1,440 |
| | | | 実績値 | 1,275 | 1,282 | 1,063 | 1,195 | 473 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 13,795 | 4,104 | 4,112 | 0 | 1,319 | 4,260 |
| 平成29年度 | 13,995 | 4,115 | 4,115 | 0 | 1,641 | 4,124 |
| 平成30年度 | 17,015 | 5,508 | 5,227 | 0 | 1,743 | 4,537 |
| 令和元年度 | 17,182 | 5,481 | 5,284 | 0 | 1,888 | 4,529 |
| 令和2年度 | 16,378 | 5,091 | 5,091 | 0 | 840 | 5,356 |
| 合計 | 78,365 | 24,299 | 23,829 | 0 | 7,431 | 22,806 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少しているとはいえ、実状を踏まえた目標値を設定することを引き続き検討します。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 病児保育室の利用者数の目標は、マックスに利用できる人数としています。病児の子どもがいない日もあるため、目標に到達しないこともあります。必要な児童が利用できるよう、引き続き、周知を図っていきます。また、目標値についても再検討が必要と考えます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|-------|-------|-------|
| 132102 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 利用者数 | 人 | 1,195 | 1,195 | 1,195 |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもの看護できない保護者に代わり預かり保育を行います。 ●広域利用協定により、他市町の病児保育室を利用した子どもに係る負担金を支払います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 9,129万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | プラチナ保育支援事業 | 事業番号 | 132104 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3: 多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 2: 子育て環境の確保 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ プラチナ保育支援事業の実施に向け、要綱整備を行うとともに、広報やホームページにより住民に周知を行いました。平成29年3月申請者数：8名 |
| 平成29年度 | ○ 就労や疾病等により昼間に保育することができない保護者に代わり、保育所等に預けず、孫等を保育する祖父母等に対し、児童1人につき月額15,000円のプラチナ保育手当を支給しました。（実利用者数34人） |
| 平成30年度 | ○ 保育所等に預けず、保護者に代わり祖父母等に孫等の保育をしてもらうプラチナ保育の手当ての支給を行い、合計3,210,000円を支給しました。 （実利用者数26人） また、家庭訪問は実施できませんでした。 |
| 令和元年度 | ○ プラチナ保育手当を24人（対象児童数28人）に支給しました。 また、家庭訪問は実施できませんでした。 |
| 令和2年度 | ○ 祖父母等による保育の実施に対しプラチナ保育手当を支給しました。 （実利用者数24人） また、実態調査（家庭訪問）を10月に実施しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 年間保育所入所率 | % | 目標値 | 118 | 118 | 115 | 115 | 115 |
| | | | 実績値 | 115 | 115 | 117 | 113 | 101 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 3,015 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,015 |
| 平成30年度 | 3,210 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,210 |
| 令和元年度 | 3,585 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,585 |
| 令和2年度 | 2,415 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,415 |
| 合計 | 12,225 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,225 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 保護者は祖父母等の協力で安心して就労でき、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができるなどメリットがあり推奨するものです。引き続き、家庭訪問による実態調査も行い、窓口に来られた方にも案内していきます。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年間で、平成30年度だけ目標は未達成ですが、残りの4年間は、達成しています。プラチナ保育の利用者数は、ほぼ横ばいですが、新規保育園が開設され、保育定員が増員したことも要因としてあげられます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | | | |
|----------|---|------|----|------|------|------|------|------|
| 132103 | 継続実施 | 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 利用者数 | 人 | | | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| 具体的な取り組み | ●保育が必要な乳幼児を近居（同居）の祖父母（プラチナ世代）等が行う保育に対し手当を支給します。 | | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,710万円 | | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 保育所等創設助成事業 | 事業番号 | 132106 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 2:子育て環境の確保 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | ○ オリンピックの影響による資材不足や、防音壁工事の設計変更が行われたほか、災害復旧工事等の影響で建設業者の人手確保が困難な状況にあったことにより、当初の工程より遅れが生じましたが、令和2年6月1日に開所しました。 |
| 令和2年度 | ○ 令和2年6月に開所した、「こんごう さくら保育園」に対し、整備に対する補助を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 事業進捗率(事業費ベース) | % | 目標値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 実績値 | - | - | - | 60 | 100 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|---------|------|--------|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 140,236 | 123,967 | 0 | 16,269 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 95,834 | 63,889 | 0 | 0 | 0 | 31,945 |
| 合計 | 236,070 | 187,856 | 0 | 16,269 | 0 | 31,945 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 令和2年6月に開所した、「こんごう さくら保育園」に対し、保育所整備に対する補助を行いました。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 令和元年度に完成予定でした「こんごう さくら保育園」が、令和2年6月に無事開園し、残りの補助金を支払い、令和2年度は目標を達成しました。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 132104 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 新規助成数 | 施設 | - | 1 | - | - | - |
| 具体的な取り組み | ●保育所ニーズの増加に伴う潜在的待機児童の解消に向け、新設保育所を整備する事業者に対し助成を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2億3,959万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------|--------|
| 事務事業の名称 | 子どもの予防的支援構築事業 | 事業番号 | 132107 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:多世代連携による子育て支援の充実 | | |
| 単位施策 | 2:子育て環境の確保 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 校務支援システムの改修、福祉業務・住民記録、健康管理等のシステムからのデータ抽出に係るシステムを改修しました。 ○ マイナンバー領域とLGWAN領域との中継サーバーの構築及び中継サーバーからデータセンターへのファイル転送に係るソフトウェアを導入しました。 ○ AIモデルの開発及びAIの予測を表示するためのアプリケーションを開発しました。 ○ タブレットに係る閉域網の構築及びそれに関するセキュリティ対策を実施しました。 ○ AIのリスク予測を踏まえて支援を届けるまでのフローを関係部署、県と連携し作成しました。（広島県モデル事業） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | AIを活用した予防的支援を届けるための仕組みの構築 | - | 目標値 | - | - | - | - | 構築 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 構築 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|--------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 51,034 | 933 | 48,090 | 0 | 0 | 2,011 |
| 合計 | 51,034 | 933 | 48,090 | 0 | 0 | 2,011 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| システムの構築が概ね終わり、これからは検証を繰り返し、様々なリスクを抱える子どもを多面的・継続的に見守る仕組みを構築するとともに、最適な予防的支援を行います。 | |
| 作成担当課長 | 子育て支援課長 金本 智巳 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 広島県のモデル事業で、県と調整しながら事業を構築しています。令和2年度は、システム構築が概ね終了したため、目標は達成となっています。令和3年度以降、検証を繰り返しながら、最適な予防的支援を行います。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|--|------|-------|-------|-------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | A I の活用 | - | 構築・検証 | 検証・支援 | 検証・支援 |
| 具体的な取り組み | | ●AIを活用して様々なリスクを抱える子どもを多面的・継続的に見守る仕組みを構築するとともに、最適な予防的支援を行います。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 5,596万円 | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | シルバー人材センター助成事業 | 事業番号 | 141101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 高齢介護課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 4:高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり | | |
| 単位施策 | 1:高齢者福祉の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 府中町シルバー人材センターに対し、高齢者へ就労の場を提供する取組みに対する支援として、補助金を交付しました。 |
| 平成29年度 | ○ 町内の高齢者に臨時的かつ短期的な就業を提供し、その活動を通じて高齢者の地域活動を促進するため、府中町シルバー人材センターに対し、補助金を交付しました。 |
| 平成30年度 | ○ シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者へ就労の場を提供するとともに、高齢者の地域活動促進を行いました。 |
| 令和元年度 | ○ シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者へ就業機会の拡大を図ることで、高齢者の地域活動を促進しました。 |
| 令和2年度 | ○ シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者へ就業機会の拡大を図り、高齢者の地域活動促進を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 会員数 | 人 | 目標値 | 390 | 393 | 395 | 396 | 396 |
| | | | 実績値 | 390 | 396 | 403 | 410 | 422 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 13,730 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,730 |
| 平成29年度 | 13,491 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,491 |
| 平成30年度 | 13,761 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,761 |
| 令和元年度 | 13,730 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,730 |
| 令和2年度 | 13,730 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,730 |
| 合計 | 68,442 | 0 | 0 | 0 | 0 | 68,442 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 目標は達成していますが、定年延長や再雇用制度の普及により会員数は微増に留まっています。 引き続き、シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者の就業機会の提供・拡大、地域活動の促進に努めます。 | |
| 作成担当課長 | 高齢介護課長 宮脇 理恵 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年間、目標は達成していますが、会員数は微増に留まっています。 定年延長や再雇用制度の普及など、社会情勢は変わりますが、引き続き、シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者の就業機会の提供・拡大・地域活動の促進に努めます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|------|------|------|------|------|
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 高齢者いきいき活動ポイント事業 | 事業番号 | 141105 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 高齢介護課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 4:高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり | | |
| 単位施策 | 1:高齢者福祉の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | <p>○ 高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの推進を目的として、高齢者による地域のボランティア活動や介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づきポイントを付与し、奨励金を支給する高齢者いきいき活動ポイント事業を創設し、令和2年9月から開始しました。また併せて、広島市とのポイント相互付与の仕組みを構築しました。</p> <p>ポイント手帳交付数 12,743名 活動団体登録数 537団体（令和2年度末）</p> |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | ポイント制度の創設 | - | 目標値 | - | - | - | - | 創設 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 創設 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 4,924 | 1,231 | 616 | 0 | 1,330 | 1,747 |
| 合計 | 4,924 | 1,231 | 616 | 0 | 1,330 | 1,747 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>広島市とのポイント相互付与の仕組みを構築し、令和2年9月から事業を開始しました。ポイント付与を担う活動団体に対しては、新型コロナウイルス感染症の影響により説明会の開催ができませんでしたが、令和2年度末現在で537団体と、当初目標（446団体）を上回る登録数となっています。</p> <p>事業参加率は、高齢者人口の30%を目標としており、後期実施計画期間中に、事業の検証・評価を行っていきます。</p> | |
| 作成担当課長 | 高齢介護課長 宮脇 理恵 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>令和2年9月から、広島市とのポイント相互付与の仕組みを構築し、高齢者いきいき活動ポイント事業を開始しました。</p> <p>コロナ禍でのスタートとなりましたが、令和2年度末現在で537団体と、当初目標（446団体）を上回っています。</p> | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|------|------|-------|-------|-------|
| 141101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 参加者数 | 人 | 3,835 | 3,859 | 3,867 |
| 具体的な取り組み | ●高齢者の健康づくり等の活動実績に基づきポイントを付与し、ポイント数に応じた奨励金を支給することにより、高齢者の社会参加等を促進します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2億5,280万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 国民健康保険健康保持増進普及事業 | 事業番号 | 151101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 保険年金課、健康推進課 | | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 5:社会保障制度の堅持 | | |
| 単位施策 | 1:保険制度の安定した運営 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療費通知事業・・・委託により国保連が作成した医療費通知(圧着ハガキ)を、対象期間中に受診履歴がある人の医療費を世帯主に対して送付しました。(発送は奇数月で年6回) ○ 後発医薬品普及促進事業・・・①後発医薬品に関するリーフレット等を被保険者に保険証送付時に同封しました。②窓口にポスターを掲示し、閲覧用Q&Aを配置し、リーフレットやシールを配架しました。③広報誌に後発医薬品の啓発の記事を掲載しました④委託により国保連から後発医薬品差額通知を送付しました。(送付は毎月で年12回) ○ 頻回重複受診指導事業・・・委託により、対象者をレセプトから抽出し、看護師等の専門職が訪問により、現病歴・治療状況・受診状況・服薬の状況など状況確認した上で、適正な受診及び服薬・セルフケアなどの指導を実施し、効果評価を行いました。 ○ 人間ドック健診事業・・・Aコース(1日ドック)30歳以上、Bコース(脳ドック)40歳以上の2つのコースを用意し、12健診機関と契約をしました。受診希望者を4月に募集し、助成決定通知後、決定した健診機関に申込者から受診日やオプションを予約します。助成金は21,000円とし、人間ドック受診後健診機関に差し引いた額を支払ってもらい、健診機関は結果を実施月ごとにまとめデータ及び21,000円に受診人数を乗じた額を請求書を町に送付します。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保険制度に関心を持ち、更に健康に対する意識を高め、疾病予防と健康づくりに役立てていただくことを目的に医療費通知を送付しました。(奇数月に送付、年6回) ○ 後発医薬品の普及促進のため、リーフレット等を活用して住民に周知・啓発するほか、後発医薬品に切り替えることにより一定以上自己負担額が安くなる人に対して後発医薬品差額通知を送付しました。(毎月送付、年12回) ○ 同一疾病で複数の医療機関に受診している重複受診者及び頻回受診者を看護師等の専門職員が訪問し、現病歴・治療状況・受診状況・服薬の状況などを確認した上で、適正な受診及び服薬・セルフケアなどの指導を実施しました。 ○ 健康増進、病気の早期発見・予防を図るため、人間ドック受診費用の一部を助成しました。 【Aコース(1日ドック)30歳以上、Bコース(脳ドック)40歳以上、Cコース(PET-CT)40歳以上)】 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険の加入者に対し、人間ドック受診時の自己負担額の一部を助成しました。(507人、年2回(春秋)実施) ○ レセプトデータから頻回・重複受診をしている人を抽出し、該当者に対し電話・訪問による健康相談を通して適正な受診を促しました。 ○ レセプトデータからジェネリック医薬品の利用により医療費削減効果の高い人を抽出し、差額通知書を毎月送付することで、ジェネリック医薬品の利用を啓発しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険の加入者に対し、人間ドック受診時の自己負担額の一部を助成しました。(528人、年2回(春秋)実施) ○ レセプトデータから頻回・重複受診をしている人を抽出し、該当者に対し電話・訪問による健康相談を通して適正な受診を促しました。 ○ レセプトデータから、ジェネリック医薬品の利用により医療費削減効果の高い人を抽出し、差額通知書を毎月送付することで、ジェネリック医薬品の利用を啓発しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険の加入者に対し、人間ドック受診時の自己負担額の一部を助成しました。(292人、年2回受付) ○ レセプトデータから頻回・重複受診をしている人を抽出し、該当者に対し電話・訪問による健康相談を通して適正な受診を促しました。 ○ レセプトデータから、ジェネリック医薬品の利用により医療費削減効果の高い人を抽出し、差額通知書を毎月送付することで、ジェネリック医薬品の利用を啓発しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 人間ドック受診者数 | 人 | 目標値 | 650 | 650 | 650 | 650 | 650 |
| | | | 実績値 | 636 | 554 | 507 | 528 | 292 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|--------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 21,690 | 882 | 9,714 | 0 | 0 | 11,094 |
| 平成29年度 | 18,840 | 1,000 | 7,399 | 0 | 0 | 10,441 |
| 平成30年度 | 17,974 | 0 | 17,974 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 16,831 | 0 | 16,831 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 6,825 | 0 | 6,825 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 82,160 | 1,882 | 58,743 | 0 | 0 | 21,535 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|---------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 人間ドックの受診者の実績値は前年度と比較し大きく下回り目標値に達しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響により人間ドックを中止する病院や受診を控えた方が多く減少につながったものです。 | |
| 作成担当課長 | 健康推進課長 塩月 久美子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年連続で目標を達成できませんでした。人間ドックの受診者数の実績値は、通年横ばいでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は大幅に減少しました。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|------|------|------|------|------|
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 基盤整備事業 | 事業番号 | 151102 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 高齢介護課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 5:社会保障制度の堅持 | | |
| 単位施策 | 1:保険制度の安定した運営 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（1か所）及び小規模多機能型居宅介護（1か所）の事業者を選定しました（平成29年5月1日付で事業所指定）。なお、地域密着型介護老人福祉施設（1か所）は、公募を行いましたがい応募事業者がありませんでした。 |
| 平成29年度 | ○ 介護サービス事業所の公募を次のとおり実施しましたが、応募事業者がありませんでした。 ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の公募及び整備（1か所） ・ 小規模多機能型居宅介護の公募及び整備（1か所） ・ 地域密着型介護老人福祉施設の公募及び整備（1か所） |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | ○ 地域密着型サービス事業所（小規模多機能型居宅介護 1か所）の公募を行い、事業者を選定しました。令和3年4月1日開所予定でしたが、追加の杭工事が必要になったことによる設計変更等により、工事完了に遅延が生じました。令和3年10月事業開始に向け、施設等を整備中です。 令和2年度工事進捗率 7.2% |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 小規模特別養護老人ホーム整備(累計) | 箇所 | 目標値 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 実績値 | 3 | 3 | 3 | - | - |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 未達成 | - | - |
| ② | 小規模多機能型居宅介護整備(累計) | 箇所 | 目標値 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| | | | 実績値 | 1 | 2 | 2 | - | 2 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | - | 未達成 |
| ③ | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護整備(累計) | 箇所 | 目標値 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | 実績値 | 0 | 1 | 1 | - | - |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | - | - |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 72,562 | 19,003 | 53,559 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 15,410 | 0 | 15,359 | 0 | 0 | 51 |
| 合計 | 87,972 | 19,003 | 68,918 | 0 | 0 | 51 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 介護保険事業計画に基づき公募を行い、地域密着型サービスの施設整備を進めていますが、公募を行っても応募がない状況もあり、未達成となっています。引き続き、利用ニーズを見極めながら、事業計画に基づき施設整備を行っていきます。 | |
| 作成担当課長 | 高齢介護課長 宮脇 理恵 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 地域密着型サービスの施設整備については、介護保険事業計画に基づき公募を行い事業を進めていますが、応募がない状況です。引き続き、利用ニーズを見極めながら、計画に基づき施設整備を行っていきます。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|-------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 新規助成数 | 施設 | - | - | 1 |
| 具体的な取り組み | ●介護施設の充実を図るため、介護サービス事業所（小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護）の整備に対し助成を行います。（令和5年度、令和7年度） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 6,043万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|--------------|--------|
| 事務事業の名称 | 子ども医療費助成事業 | 事業番号 | 152101 |
| 担当部署名 | 福祉保健部 | 子育て支援課、保険年金課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり | | |
| 基本施策 | 5:社会保障制度の堅持 | | |
| 単位施策 | 2:福祉医療の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ 子どもが保険診療を受ける際、小学校就学前(通院及び入院)は医療費の2割、小学生(入院のみ)は医療費の3割を保護者等が自己負担することに対して、助成を行いました。 |
| 平成29年度 | ○ 府中町に住所のある子どもが保険診療を受ける際、小学校就学前は医療費の2割、小学生・中学生は医療費の3割を保護者等が自己負担することに対して、その一部または全部を助成しました。 未就学児受給者数 3,305人 小学生受給者数 2,252人 中学生受給者数 12人 |
| 平成30年度 | ○ 府中町に住所のある子どもが保険診療を受ける際、小学校就学前は医療費の2割、小学生・中学生は医療費の3割を保護者等が自己負担することに対して、その一部または全部を助成しました。 未就学児受給者数 3,394人 小学生受給者数 2,360人 中学生受給者数 15人 ○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、認定対象者の申請もれを防ぎました。 |
| 令和元年度 | ○ 小学校就学前は医療費の2割、小学生・中学生は医療費の3割を保護者等が自己負担することに対して、その一部または全部を助成しました。 未就学児受給者数 3,293人 小学生受給者数 2,430人 中学生受給者数 6人 |
| 令和2年度 | ○ 小学校就学前は医療費の2割、小学生・中学生は医療費の3割を保護者等が自己負担することに対して、その一部または全部を助成しました。 未就学児受給者数 3,264人 小学生受給者数 2,454人 中学生受給者数 6人 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 助成制度を利用できる子どもの推定数 | 人 | 目標値 | 3,280 | 5,547 | 5,588 | 5,629 | 5,670 |
| | | | 実績値 | 3,309 | 5,569 | 5,769 | 5,729 | 5,724 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|---------|-----|-----|---------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 127,684 | 0 | 43,396 | 0 | 0 | 84,288 |
| 平成29年度 | 134,412 | 0 | 37,903 | 0 | 0 | 96,509 |
| 平成30年度 | 135,617 | 0 | 36,699 | 0 | 0 | 98,918 |
| 令和元年度 | 138,913 | 0 | 38,709 | 0 | 0 | 100,204 |
| 令和2年度 | 112,092 | 958 | 25,692 | 0 | 0 | 85,442 |
| 合計 | 648,718 | 958 | 182,399 | 0 | 0 | 465,361 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 実施事業の周知ができており、目標を達成しました。 | |
| 作成担当課長 | 保険年金課長 藤永 美香 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年間通して、目標を達成できました。事業については広報等を通じて、周知を図ることができました。 | |
| 作成担当部長 | 福祉保健部長 山西 仁子 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 131106 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 受給者数 | 人 | 5,729 | 5,729 | 5,729 | 5,729 | 5,729 |
| 具体的な取り組み | ●乳幼児及び小学生の通院及び入院並びに中学生の入院に係る医療費の一部又は全部を助成し、保護者の経済的負担を軽減します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 7億5,175万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 小中連携教育充実事業 | 事業番号 | 211101 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 学校教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進 | | |
| 単位施策 | 1:社会を生き抜く力の育成 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 義務教育9年間における児童生徒の発達の段階に応じた系統性を踏まえた教育課程を理解し、授業改善を進めるため、小・中学校教職員が協同で実施する研究組織による合同研修会を各中学校区で実施しました。 ○ 少人数指導やチームティーチング等、個々に応じたきめ細かい指導を行うため、中学校非常勤講師を活用して授業改善を進めました。 ○ 成果と課題を検証し、その改善を図ることで授業改善の推進に役立てるとともに、継続的な検証改善サイクルを確立するため、学力調査を実施し、授業改善の成果を確認するとともに、新たな課題を見出し改善を進めることができました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校教職員が協同で実施する研究組織による合同研修会を、各中学校区で実施しました。 ○ 中学校非常勤講師の活用により、授業改善を進めました。 ○ 学力調査の実施により、授業改善の成果を確認するとともに、新たな課題を見出し改善を進めることができました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校教職員が共同で実施する研究組織による研修会を、各中学校区で実施しました。 ○ 中学校非常勤講師の活用により、授業改善を推進しました。 ○ 学力調査の実施により、授業改善の成果を確認しながら、新たな課題を発見し、継続的に改善を進めることができました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各中学校区の小・中学校教職員が共同で実施する研究組織による合同研修会を各中学校区で年間2回以上実施しました。また、府中中学校区において、公開研究会を行い、研修成果の波及に努めました。 ○ 児童生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するため、小・中学校の教職員が、義務教育9年間における児童生徒の発達の段階に応じた教育課程を理解し、授業改善を行いました。また、義務教育9年間の指導をより系統的にするほか、スムーズな小学校入学へつなげるため、幼保小の担当者会議を実施しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するため、各校において小・中学校の教職員が、義務教育9年間における児童・生徒の発達の段階に応じた教育課程を理解し、授業改善を行いました。 ○ 毎月、各中学校区の生徒指導主事及び関係機関担当による生徒指導担当者会議を行い、小・中学校のスムーズな接続のために児童・生徒に関する綿密な情報連携、生徒指導の取組みの確認を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 主体的に学ぶ児童の割合(小学校) | % | 目標値 | 80.1 | 80.3 | 80.5 | 80.7 | 81.0 |
| | | | 実績値 | 80.1 | 82.4 | 82.2 | 79.9 | 83.1 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | 主体的に学ぶ生徒の割合(中学校) | % | 目標値 | 65.9 | 66.2 | 66.5 | 66.8 | 67.0 |
| | | | 実績値 | 67.6 | 68.4 | 74.1 | 75.0 | 79.9 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 13,596 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,596 |
| 平成29年度 | 13,689 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,689 |
| 平成30年度 | 10,389 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,389 |
| 令和元年度 | 400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 400 |
| 令和2年度 | 216 | 0 | 0 | 0 | 0 | 216 |
| 合計 | 38,290 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,290 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>コロナ禍のため各校において、義務教育9年間における児童・生徒の発達の段階に応じた系統性を踏まえた教育課程を理解し、授業改善を進めました。</p> <p>小・中学校のスムーズな接続のために、各学校の生徒指導主事及び関係機関担当が毎月生徒指導担当者会議を行い、児童・生徒に関する綿密な情報連携、生徒指導の取組みの確認を行いました。</p> | |
| 作成担当課長 | 学校教育課長 立花 淑子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休業もありましたが、継続的な授業改善により小・中学校とも概ね目標達成できました。今後も、義務教育9年間の系統的な教育課程の実施のためには教職員等の研修を実施していく必要があります。</p> | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------------------|--|------------------|------|------|------|------|
| 211101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 主体的に学ぶ児童の割合(小学校) | % | 82.0 | 82.0 | 82.0 |
| 主体的に学ぶ生徒の割合(中学校) | % | 72.0 | 72.0 | 72.0 | 72.0 | 72.0 |
| 具体的な取り組み | ●児童生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するため、小・中学校の教職員が各教科等の効果的な指導方法等を共同で研究します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 251万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 体験活動推進事業 | 事業番号 | 211102 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 学校教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進 | | |
| 単位施策 | 1:社会を生き抜く力の育成 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 自然の中での集団宿泊活動を通して、豊かな心の育成や主体的に取り組む「課題発見・解決学習」能力の育成を図るため、小学校5年生を対象に、3泊4日の宿泊体験活動を実施しました。 |
| 平成29年度 | ○ 各小学校とも自然の中での集団宿泊活動を実施しました。そのうち3校が3泊4日の自然体験活動を実施し、2校が緊急避難時の保護者への児童引き渡し訓練を合わせて行いました。 |
| 平成30年度 | ○ 豪雨災害のため自然の中での集団宿泊活動は実施できませんでしたが、防災教育の視点を取り入れた体験活動を実施するなど、各校で工夫を凝らした活動を実施しました。 |
| 令和元年度 | ○ 小学校5校の第5学年が広島市似島臨海少年自然の家において、体験活動を実施しました。 |
| 令和2年度 | ○ 新型コロナウイルス感染症対策のため、泊を伴わない形で実施しました。町内小学校5校の第5学年を対象に校外において「新しい生活様式」の中でできることを各校で工夫し、体験活動を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 自分にはよいところがあると思える児童の割合 | % | 目標値 | 81.0以上 | 81.0以上 | 81.0以上 | 81.0以上 | 81.0以上 |
| | | | 実績値 | 78.4 | 81.2 | 92.1 | 87.2 | 85.0 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 1,844 | 0 | 1,547 | 0 | 0 | 297 |
| 平成29年度 | 921 | 0 | 0 | 0 | 0 | 921 |
| 平成30年度 | 681 | 0 | 0 | 0 | 0 | 681 |
| 令和元年度 | 984 | 0 | 0 | 0 | 0 | 984 |
| 令和2年度 | 471 | 0 | 0 | 0 | 0 | 471 |
| 合計 | 4,901 | 0 | 1,547 | 0 | 0 | 3,354 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>コロナ禍においても各校が内容を工夫して体験活動を実施しました。「自分にはよいところがある」と思える児童の割合は、目標値の達成を継続しています。今後も「新しい生活様式」の中で、体験活動を工夫して実施し、豊かな心の育成や課題発見・解決学習能力の育成を図っていきます。</p> | |
| 作成担当課長 | 学校教育課長 立花 淑子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>前期は、概ね目標達成できました。今後も体験活動を通して豊かな心の育成や課題発見・解決学習能力の育成を図る必要があります。</p> | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-----------------------|---|------|------|------|------|------|
| 211102 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 自分にはよいところがあると思える児童の割合 | % | 85.0 | 85.0 | 85.0 | 85.0 | 85.0 |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | ●小学校5年生を対象に宿泊体験活動を行い、児童の豊かな心の育成や、課題発見・解決学習能力の育成に取り組みます。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 407万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 学校図書館教育充実事業 | 事業番号 | 211103 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 学校教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進 | | |
| 単位施策 | 1:社会を生き抜く力の育成 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学びを促進するための学習センターとして図書室の充実を図るため、学校図書司書を1校当たり週15時間配置しました。 ○ 学校図書司書を研修会へ参加させるとともに、司書教諭等との連絡協議会を開催しました。 ○ 各校図書室に図書システムを導入し、学習センター、情報センター等の機能の充実を図りました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学びを促進するための学習センターとして、図書室の充実を図るため、学校図書司書を1校あたり週15時間配置しました。 ○ 図書システムを活用し、引き続き学習センター、情報センター等の機能の充実を図りました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな感性や情操を育む読書センターの機能、主体的な学びを促進するための学習情報センターとしての図書館の機能を充実させるため、学校図書司書を、小学校2名、中学校1名、1校あたり週15時間配置しました。 ○ 図書館システムの更新を行い、図書の活用を促進しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書司書を小学校2名、中学校1名配置し、学校図書館の機能の充実を図りました。 ○ 図書館システムを引き続き運用し、図書の活用を推進しました。 ○ 小学校の児童（希望者）を対象に、「子ども司書講座」を実施し、年間3回の全体研修、夏休みに3回の実地研修を町立図書館で行い、図書に関するリーダーの育成を行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな感性や情操を育む読書センターの機能、児童・生徒が自ら学ぶ学習・情報センターの機能を充実させるため、学校図書司書を小学校1名、中学校1名配置し、学校図書館の機能の充実を図りました。 ○ 図書館システムを引き続き運用し、図書の活用を推進しました。 ○ 府中町ポップコンテストを実施し、小学校ではおすすめ本の紹介カードの作成、中学校ではポップの作成を行い、優秀作品を表彰するとともに、作品を各学校や府中町立図書館で巡回展示しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 1か月に3冊以上本を読む児童の割合(小学校) | % | 目標値 | 72.3 | 72.5 | 72.7 | 72.9 | 73.0 |
| | | | 実績値 | 72.0 | 65.7 | 67.2 | 67.7 | 85.1 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | 1か月に3冊以上本を読む生徒の割合(中学校) | % | 目標値 | 31.0 | 32.0 | 33.0 | 34.0 | 35.0 |
| | | | 実績値 | 38.6 | 39.5 | 32.4 | 37.4 | 41.3 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 | 達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 11,531 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,531 |
| 平成29年度 | 11,235 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,235 |
| 平成30年度 | 11,307 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,307 |
| 令和元年度 | 11,249 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,249 |
| 令和2年度 | 9,730 | 46 | 10 | 0 | 0 | 9,674 |
| 合計 | 55,052 | 46 | 10 | 0 | 0 | 54,996 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 府中町ポップコンテストを実施するなど、新たな取組みをすることで、児童・生徒の読書への関心が高まりました。今後も、学校、学校図書司書、町立図書館が連携した読書活動の推進に取り組んでいきます。 | |
| 作成担当課長 | 学校教育課長 立花 淑子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 令和2年度は小・中学校ともに大きく上昇しています。新たな取組みにより読書への意識が高まったとともに、読書活動を取り入れた授業改善に取り組んでいる結果と考えます。今後も、コミュニティースクールのサポーター活用などによる読書環境の改善や、ICTを活用した読書活動の推進に取り組む予定です。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|--------|-------------------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 211105 | 継続実施 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 事業指標 | 単位 | | | | | |
| | 1か月に1冊も本を読まない児童の割合(小学校) | % | 6.0以下 | 6.0以下 | 6.0以下 | 6.0以下 | 6.0以下 |
| | 1か月に1冊も本を読まない生徒の割合(中学校) | % | 14.0以下 | 14.0以下 | 14.0以下 | 14.0以下 | 14.0以下 |
| | 具体的な取組み | ●学校図書司書の配置や図書購入による蔵書の整備等を行い、小・中学校図書館教育の充実を図ります。 | | | | | |
| | 5年間の事業費 | 6,061万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 志を育てる教育事業 | 事業番号 | 212101 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 学校教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進 | | |
| 単位施策 | 2:志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校6年生対象：将来の夢や仕事について考え、また、社会の第一線で活躍する大人の姿を見ること等により、夢の実現に向かい挑戦する気持ちを育てる教育の推進を図るため、「ドリームナビゲーション（夢への道しるべ）」を作成し、自分の夢や目標、周囲の人への思いをまとめました。 ○ 中学校2年生対象：社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい職業観・労働観を育成するために、「キャリア・スタート・ウィーク職場体験学習」を実施しました。 ○ 府中中学校及び府中緑ヶ丘中学校生徒会執行部対象：両中学校の生徒会執行部が連携し、町づくりや社会に貢献する活動について話し合うことを通じて志を育てる「リーダー研修会」を実施しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の夢や目標、周囲の人への思いをまとめたドリームナビゲーションを作成しました。（小学校6年生） ○ 府中町ゆかりの久保帯人氏（漫画家）、津野瀬果絵氏（アナウンサー）を講師に迎え、「志を育てる教育講演会」を実施し、その生き方から学びました。 ○ 中学校の生徒会執行部を対象に、志を育てるリーダー研修会を実施しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学6年生の児童を対象に、自分の夢や目標、周囲の人への思いをまとめたドリーム・ナビゲーションを作成しました。 ○ また、府中町ゆかりの吉川晃司氏を講師に迎え、中学2年生を対象に「志を育てる教育講演会」を実施し、その生き方から学びました。 ○ 中学2年生を対象に5日間のキャリアスタートウィークを実施し、社会の一員としての自覚を促しました。両中学校の生徒会執行部のメンバーを対象に「志を育てるリーダー研修会」を実施しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校第6学年の児童を対象に、自分の夢や目標、周囲の人への思いをまとめたドリームナビゲーションの作成を行いました。 ○ 中学校第2学年生徒を対象とした職場体験学習を、6月に町内を中心とした事業所で実施し、「働くこと」について体験的に学びました。 ○ 8月に小・中学校の生徒会執行部を対象とした「リーダー研修会」を実施しました。 ○ 中学校第2学年の生徒を対象とした「志を育てる教育講演会」を実施し、府中町出身の元プロ野球選手 山下峻氏を講師に迎え、その生き方から「志」について学びました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校第6学年の児童が、自分の夢や目標、周囲の人への思いをまとめた「ドリームナビゲーション」の作成を行いました。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で、1か月以上学校が臨時休業となりました。3密を避けるため、「キャリア・スタート・ウィーク職場体験活動」「児童生徒会議」小中リーダー研修会、職場体験学習、「志を育てる教育講演会」は中止しました。その一方で、インターネットを利用した調べ学習を行うなど「新しい生活様式」を取り入れた学習活動の中で、夢の実現に向かい挑戦する気持ちを育てる教育を進めました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 人に役に立つ人間になりたい と思う生徒の割合 | % | 目標値 | 95.0以上 | 95.0以上 | 95.0以上 | 95.0以上 | 95.0以上 |
| | | | 実績値 | 94.1 | 94.0 | 95.5 | 98.0 | 93.9 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48 |
| 平成29年度 | 167 | 0 | 0 | 0 | 0 | 167 |
| 平成30年度 | 345 | 0 | 0 | 0 | 0 | 345 |
| 令和元年度 | 116 | 0 | 0 | 0 | 0 | 116 |
| 令和2年度 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 合計 | 688 | 0 | 0 | 0 | 0 | 688 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 実績値は上昇傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、「キャリア・スタート・ウィーク職場体験活動」「児童生徒会議」「小中リーダー研修会」「志を育てる教育講演会」は中止となり目標未達成となりました。 | |
| 作成担当課長 | 学校教育課長 立花 淑子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 今後は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、ICTを活用した職場体験や会議運営の在り方などについても積極的に導入します。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|--|---|------|------|------|------|------|
| 211103 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問に対し肯定的回答をした児童の割合（小学校） | % | 81.0 | 81.0 | 81.0 | 81.0 | 81.0 |
| 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問に対し肯定的回答をした生徒の割合（中学校） | % | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 |
| 具体的な取り組み | ●児童生徒の夢の実現に向かい挑戦する気持ちを育てるため、小学校では「ドリーム・ナビゲーション（夢への道しるべ）」を作成し、中学校では「リーダー研修会」を実施します。また、各小・中学校では、社会で活躍する方々等を招いて「志を育てる教育講演会」を実施します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 712万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | グローバル教育事業 | 事業番号 | 212102 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 学校教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進 | | |
| 単位施策 | 2:志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導の充実を図るため、外国人指導助手の派遣日数を200日から70日増やすとともに、小学校3年生及び4年生も対象としました。 ○ 中学校2・3年生を対象に、英検受検に係る費用を助成しました。英検受検率は34.3%、中学校3年生の英検3級取得率は16.7%でした。 ○ 小学校低学年から英語に親しむ活動を取り入れるためフラッシュカードを導入しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人指導助手を活用した外国語活動及び英語の授業時数を、前年度対比で10日間拡充しました。（年間280日配置） ○ 小学校5・6年の全クラスに年間17時間ずつ、外国語活動に係る非常勤講師を配置しました。 ○ 町内全ての小学校（5校）に外国語活動用教材デジタルコンテンツを配置しました。 ○ 英検受検率は50.3%、中学校3年生の英検3級取得率は27.7%でした。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人指導助手（ALT）を活用した外国語活動を推進しました。（年間280日） ○ 毎日英語に親しむ時間として「ふちゅうEタイム」を各校で設定しました。 ○ グローバルキャンプは豪雨災害のため実施を断念しました。 ○ 外国語非常勤講師の配置を行いました。（5,6年各クラスに2週間に1時間 合計476時間） ○ 中学校1年生は5級以上、2年生は4級以上、3年生は3級以上の英語検定受検に対して、年1回の検定料を助成することにより、中学校3年生の英語検定3級以上取得率は41.1%となりました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導の充実を図るため、外国人講師（ALT）を全校に派遣しました。 ○ 毎日英語に親しむ時間として「ふちゅうEタイム」を小学校で設定しました。 ○ 英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさや文化の違いに触れる機会を持つため、7月にグローバルキャンプを実施しました。 ○ 外国語非常勤講師を小学校に派遣しました。 ○ 中学校卒業時までには英語検定3級以上の取得を目指し、中学校第1学年で5級以上、第2学年で4級以上、第3学年で3級以上の検定料を年間1回助成しました。中学校第3学年の卒業時において、英語検定3級以上の取得率は、43.2%でした。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導の充実を図るため、外国人講師（ALT）を全校に派遣しました。 ○ 外国語非常勤講師の派遣を小学校に行いました。また、毎日英語に親しむ時間として「ふちゅうEタイム」を小学校で設定しました。外国語活動、外国語の指導力を向上するため、外国語教育推進担当者会を行いました。 ○ 中学校卒業時までには英語検定3級以上の取得を目指し、中学校第1学年で5級以上、第2学年で4級以上、第3学年で3級以上の検定料を年間1回助成しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 中学校3年生の英語検定3級以上取得率 | % | 目標値 | 16.0 | 20.0 | 30.0 | 40.0 | 50.0 |
| | | | 実績値 | 16.7 | 27.7 | 41.1 | 43.2 | 34.7 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 9,473 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,473 |
| 平成29年度 | 10,484 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,484 |
| 平成30年度 | 11,692 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,692 |
| 令和元年度 | 12,178 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,178 |
| 令和2年度 | 14,347 | 0 | 0 | 0 | 1,192 | 13,155 |
| 合計 | 58,174 | 0 | 0 | 0 | 1,192 | 56,982 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>新型コロナウイルス感染予防で臨時休業となったため、令和2年度第1回目の受検が中止となり目標未達成となりました。受検率向上のために、1年生は5級、2年生は4級と昨年度よりも受検しやすい環境を作ることで成功体験を味わわせながら次の段階に挑戦できる条件を整えました。</p> | |
| 作成担当課長 | 学校教育課長 立花 淑子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>令和2年度から小学校では外国語が教科化されました。今後も、小中学校連携を図りながら、これまで以上に小学校から中学校3年生の目指す姿を意識した取組みにしていくとともに英検取得目標達成を目指します。</p> | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|--------------------|--|--|------|------|------|------|------|
| 211104 | 継続実施 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | | |
| 中学校3年生の英語検定3級以上取得率 | % | | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 |
| 具体的な取り組み | <p>●外国語によるコミュニケーション能力の向上・定着を図り、グローバル社会に挑戦する児童生徒の育成を図るため、外国語指導助手（ALT）の派遣や非常勤講師の配置を行います。また、中学校では全学年の英語検定の費用を助成します。</p> | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 7,801万円 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|---------------------------|-------------|--------|
| 事務事業の名称 | コミュニティ・スクール推進事業 | 事業番号 | 213101 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 学校教育課・社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進 | | |
| 単位施策 | 3:学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の力を学校教育に生かすコミュニティ・スクール導入の推進 講師を招聘し、学校・保護者・地域を対象に研修会を実施しました。その中では、府中南小学校の実践を紹介しました。 ○ 積極的な情報発信や文化・スポーツ等に関する地域の人材の活用 各校ともに非常勤講師やサポーターとして地域の力を生かしました。また、府中南小学校ではコミュニティ・スクール便りやリーフレットを作成し情報を発信しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度は学校運営協議会を設置しました。平成30年度から町内小・中学校全7校において、コミュニティ・スクールを導入します。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内全7校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりをスタートさせました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内7校において、学校運営協議会を設置した学校運営を行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内7校において、学校運営協議会を設置し地域と学校が連携・協働した学校運営を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 学校の教育を信頼(満足)していると答える保護者の割合 | % | 目標値 | 88.0 | 88.0 | 89.0 | 89.0 | 90.0 |
| | | | 実績値 | 90.2 | 91.1 | 93.1 | 92.5 | 93.5 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 63 | 0 | 0 | 0 | 0 | 63 |
| 平成29年度 | 221 | 0 | 0 | 0 | 0 | 221 |
| 平成30年度 | 531 | 0 | 0 | 0 | 0 | 531 |
| 令和元年度 | 815 | 0 | 350 | 0 | 0 | 465 |
| 令和2年度 | 279 | 0 | 0 | 0 | 0 | 279 |
| 合計 | 1,909 | 0 | 350 | 0 | 0 | 1,559 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 町内すべての学校の教育が信頼され、児童・生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。 | |
| 作成担当課長 | 学校教育課長 立花 淑子 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年度に町内小・中学校全校にコミュニティスクールを配置し、継続した学校・地域・保護者の連携が少しずつ充実できていると思います。引き続き、地域とともにある学校づくりに努めます。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|------------------------------|---|------|------|------|------|------|--|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| 212101 | コミュニティ・スクール運営事業として再編 | | | | | | |
| 「学校の教育を信頼(満足)している」と答える保護者の割合 | % | 93.2 | 93.3 | 93.4 | 93.5 | 93.6 | |
| 具体的な取り組み | ●児童生徒を中心に据えた学校と地域の連携組織として全小・中学校に導入したコミュニティ・スクールについて、地域学校協働活動の活性化等へつながるよう、引き続き運営を行います。 | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 498万円 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|----------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 公民館活動事業 | 事業番号 | 221101 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実 | | |
| 単位施策 | 1:生涯各期に応じた学習機会の提供 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の拠点として、府中公民館及び府中南公民館において、幅広い年代の町民を対象に、地域活動や学習機会の提供を図るため、各種主催事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの持つ保護者を対象に、学習・交流の場の提供による家庭教育の支援（119回4,607人） ・青少年（主に小学生）を対象に、地域の方等を講師に迎え、放課後子ども教室など様々な体験・学習会の実施（263回4,538人） ・成人を対象にした、パソコン、ストレッチ、医療、健康、経済金融講座等、現代社会の課題に対応した講座の実施（104回2,369人） ・高齢者を対象に、学習会やクラブ活動等を通じて相互の親睦と生きがいづくり、地域社会への参画の機会を提供（205回3,311人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（24回24,592人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（428回1,201人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（126回2,990人） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（125回4,627人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（158回4,165人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（126回2,399人） ・高齢者を対象にした、学習会、生きがいづくり、地域社会への参画の機会の提供（243回3,530人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（11回8,092人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（436回1,363人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（139回2,964人） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（128回4,282人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（169回4,017人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（117回2,247人） ・高齢者を対象にした、学習会、生きがいづくり、地域社会への参画の機会の提供（252回3,588人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（17回12,097人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（48回1,065人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（242回2,847人） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（115回3,212人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（123回3,239人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（139回2,423人） ・高齢者を対象にした、学習会、生きがいづくり、地域社会への参画の機会の提供（202回3,280人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（12回2,778人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（382回972人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（70回2,404人） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子どもの持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（91回1,710人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（96回1,689人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（112回1,881人） ・高齢者を対象にした、学習会生きがいづくり、地域社会への参画の機会の提供（167回2,411人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期活動グループや地域団体等との協力連携・事業の企画実施（8回462人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（345回869人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（3回31人） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 利用者数(府中公民館) | 人 | 目標値 | 19,400 | 19,500 | 19,600 | 19,700 | 19,800 |
| | | | 実績値 | 20,944 | 12,434 | 18,086 | 9,910 | 4,619 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | 利用者数(府中南公民館) | 人 | 目標値 | 17,050 | 17,100 | 17,150 | 17,200 | 17,200 |
| | | | 実績値 | 22,664 | 16,750 | 14,059 | 8,760 | 4,483 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 1,896 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,896 |
| 平成29年度 | 1,809 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,809 |
| 平成30年度 | 1,934 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,934 |
| 令和元年度 | 1,785 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,785 |
| 令和2年度 | 1,720 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,720 |
| 合計 | 9,144 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,144 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 利用者数の目標は未達成でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、両公民館において、公民館の利用停止や当初予定した事業・活動が出来ませんでした。今後は、災害や感染症の蔓延など利用制限がある中でも、事業が実施できるよう、実施方法の工夫など検討していく必要があります。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 平成29年度以降、両公民館とも目標値が達成できていません。この理由として、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館を余儀なくされたことがあります。更に府中公民館については、災害や改築工事の影響が多いと考えられます。改築後は、多くの町民が快適に利用できるようにしていきます。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|--------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 221101 | 継続実施 | | | | | |
| 活動者数(府中公民館) | 人 | 9,000 | 19,800 | 19,900 | 20,000 | 20,100 |
| 活動者数(府中南公民館) | 人 | 15,650 | 15,700 | 15,750 | 15,800 | 15,850 |
| 具体的な取り組み | ●個人や地域の課題に応じた学習機会を提供するとともに、ボランティア活動の支援等を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,266万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|----------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 図書館活動事業 | 事業番号 | 221102 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実 | | |
| 単位施策 | 1:生涯各期に応じた学習機会の提供 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,751冊購入しました。（入館者256,873人 貸出冊数303,896冊） ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の探し方や利用の仕方等を体験する「図書館活用講座」（3回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・お母さんと2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・小学生を対象に図書司書を体験する「子ども司書」（3回） ○ ボランティア養成講座を開催（3回）し、読み聞かせのボランティアを養成しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,560冊購入しました。 ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の探し方や利用の仕方等を体験する「図書館活用講座」（4回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・小学生を対象に図書司書を体験する「子ども司書」 ○ 読み聞かせ・本の修理等のボランティア養成講座を開催し、ボランティアを養成しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,531冊購入しました。 ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の探し方や利用の仕方等を体験する「図書館活用講座」（2回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・小学生を対象に図書司書を体験する「子ども司書」 ○ 読み聞かせ・本の修理等のボランティア養成講座を開催し、ボランティアを養成しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,406冊購入しました。 ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の探し方や利用の仕方等を体験する「図書館活用講座」（2回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・小学生を対象に図書司書を体験する「子ども司書」 ○ 本の修理等のボランティア養成講座を開催し、ボランティアを養成しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,622冊購入しました。 ○ 新型コロナウイルス感染防止対応のため、可能な範囲で、図書館への来館を促し読書への関心を育むための一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページ活用講座（1回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・読書会（2回） ○ 新型コロナウイルス感染防止対応のためボランティア養成講座は中止しました。 ○ 学校図書司書との連携を行い、小・中学校で作成した読書推進活動の資料の展示や、団体貸出を85件行いました。 ○ SNS等を通じ、図書館の取組みや小中学校での読書推進活動の様子を発信しました。 ○ コロナ禍であっても読書を楽しんでもらうため、図書の貸出冊数を5冊から10冊に増やしました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------|----|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ① | 図書館入館者数 | 人 | 目標値 | 261,000 | 262,000 | 263,000 | 264,000 | 265,000 |
| | | | 実績値 | 256,873 | 242,627 | 221,840 | 209,582 | 136,822 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 13,365 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,365 |
| 平成29年度 | 14,621 | 0 | 0 | 0 | 52 | 14,569 |
| 平成30年度 | 13,837 | 0 | 0 | 0 | 513 | 13,324 |
| 令和元年度 | 13,503 | 0 | 0 | 0 | 43 | 13,460 |
| 令和2年度 | 14,904 | 0 | 0 | 0 | 963 | 13,941 |
| 合計 | 70,230 | 0 | 0 | 0 | 1,571 | 68,659 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 図書館入館者数の目標は未達成でした。新型コロナウイルス感染症の影響がある中で利用促進をするため、貸出図書を5冊から10冊に増やす改善をしました。今後は、災害や感染症の蔓延など利用制限がある中でも、事業が実施できるよう、実施方法の工夫など検討していく必要があります。また図書館からの積極的な情報発信や、電子書籍の導入について検討が必要です。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 計画期間中、目標はいずれの年度も達成できませんでした。その要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館などがあります。今後も、感染防止を講じつつ、新刊図書の購入や町立図書館の魅力について情報発信を行い、来館者の増加を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|---------|---------|---------|---------|---------|
| 221102 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 貸出冊数 | 冊 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 |
| 具体的な取り組み | ●住民の学習・読書意欲に応えられるよう利用度の高い資料の充実を図るとともに、子どもの読書活動を推進します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 6,781万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|----------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 文化財保護事業 | 事業番号 | 222101 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実 | | |
| 単位施策 | 2:芸術・文化の普及・振興 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普及・啓発事業として「ふるさと再発見講座」を実施するなど文化財保護事業を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普及・啓発事業として「ふるさと再発見講座」を実施するなど文化財保護事業を行いました。また、同講座受講者の受講後のボランティア活動として、歴史民俗資料館でのガイド等を実施しました。 ○ 下岡田遺跡において、重要遺構確認のため、第11次調査（10月～11月）を実施しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと再発見講座を実施しました。 ○ 地中レーダー探査を実施しました。地権者の同意が得られず、試掘は未実施ですが、過去の出土遺物（当町及び広島大学保管分）の再整理による遺跡の性格調査を実施しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普及・啓発事業として「ふるさと再発見講座」を実施するなど文化財保護事業を行いました。 ○ 下岡田遺跡において、重要な遺物確認のため、引き続き試掘やレーダー探査等による調査を実施し、総括的報告書「下岡田遺跡発掘調査報告書Ⅰ」を刊行しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財を紹介する講座として、令和元年度までの「ふるさと再発見講座（全5回）」を変更し、2つの講座（「下岡田遺跡講座」と「歴史探求講座（全3回）」）を実施しました。（参加者計123人） ○ 「広報ふちゅう」における文化財保護審議会委員による文化財紹介コラムを、当該委員の協力により、令和3年1月から再開することができました。 ○ 下岡田遺跡の史跡指定を目指し、文化庁に対し意見具申した結果、令和3年3月26日、下岡田官衙遺跡が国の史跡指定を受け、その旨が官報に告示されました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | ふるさと再発見講座参加者数 | 人 | 目標値 | 91 | 96 | 101 | 106 | 111 |
| | | | 実績値 | 99 | 117 | 125 | 88 | 123 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 6,411 | 1,000 | 0 | 0 | 50 | 5,361 |
| 平成29年度 | 2,037 | 865 | 0 | 0 | 0 | 1,172 |
| 平成30年度 | 2,514 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 1,514 |
| 令和元年度 | 3,852 | 1,500 | 0 | 0 | 0 | 2,352 |
| 令和2年度 | 364 | 0 | 0 | 0 | 232 | 132 |
| 合計 | 15,178 | 4,365 | 0 | 0 | 50 | 10,531 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 講座参加者数の目標は達成しました。下岡田官衙遺跡が国の史跡指定を受けたことで、今後の講座内容の質を向上させ、広報活動を工夫し、文化財の普及振興を図る必要があります。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| ふるさと再発見講座参加者の目標は、おおむね達成できました。今後は、令和3年3月に下岡田官衙遺跡が国史跡指定されたことに伴い、その他の文化財と併せ普及啓発を図り、講座参加者の増加を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-------------------|---|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 222101 | 下岡田官衙遺跡保存・整備事業として再編 | | | | | |
| 下岡田官衙遺跡関連普及啓発講座回数 | 回 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●下岡田官衙遺跡に関連する普及啓発講座を開催します。 ●下岡田官衙遺跡の保存活用計画、史跡整備計画を策定するとともに、公有化を進めます。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 4億2,295万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|---------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 小・中学校施設改修等事業 | 事業番号 | 231103 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 総務課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:安心・安全で質の高い教育環境の整備 | | |
| 単位施策 | 1:教育施設・設備の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中中学校及び府中緑ヶ丘中学校の空調設備設置に係る設計業務を実施しました。 ○ 府中緑ヶ丘中学校の空調工事に着手しました。（平成29年5月完了予定） ○ 府中緑ヶ丘中学校の手すり設置工事を実施しました。 ○ 小学校5校の空調設備を1年前倒して設置するため、設計業務に着手するとともに（平成29年5月完了予定）、完了後は引き続き工事を実施します。（平成30年3月完了予定） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校5校及び中学校2校の普通教室・少人数教室へ空調を設置しました。（府中緑ヶ丘中学校：平成29年5月未完了、府中中学校：平成29年10月未完了、小学校：平成30年3月未完了） ○ 地震等による飛散・落下防止を目的に、府中緑ヶ丘中学校の体育館窓ガラスへフィルム貼付を行うとともに、直下へ植栽帯を設置する安全確保工事を実施しました。（平成30年3月未完了） |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中南小学校のトイレ改修工事（洋式化）を完了しました。 ○ 府中東小学校のトイレ改修工事（洋式化）及び府中北小学校の下水道接続を含めたトイレ改修工事（洋式化）の設計を完了しました。 ○ 府中緑ヶ丘中学校のクラブハウスの解体及び新クラブハウスの設計を行い、新築工事を完了しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中東小学校・府中北小学校のトイレ改修工事（洋式化）を完了しました。また、府中北小学校については浄化槽を廃止し、公共下水道へ接続しました。 ○ 今後の児童数増加が見込まれるため、補正予算により府中中央小学校の教室増設を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 空調設備設置事業進捗率(事業費ベース、小学校) | % | 目標値 | - | 9.0 | 100 | - | - |
| | | | 実績値 | - | 100.0 | - | - | - |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | - | - | - |
| ② | 空調設備設置事業進捗率(事業費ベース、中学校) | % | 目標値 | 18.6 | 100 | - | - | - |
| | | | 実績値 | 17.0 | 100 | - | - | - |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | - | - | - |
| ③ | トイレ改修事業進捗率(事業費ベース、小学校) | % | 目標値 | - | - | - | 37.9 | 100 |
| | | | 実績値 | - | - | - | 37.9 | 100 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 達成 | 達成 |
| ④ | クラブハウス建替事業進捗率(事業費ベース、中学校) | % | 目標値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 実績値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 達成 | - |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|---------|------|---------|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 27,633 | 3,527 | 0 | 19,600 | 0 | 4,506 |
| 平成29年度 | 396,112 | 78,728 | 0 | 316,756 | 628 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 188,137 | 39,143 | 0 | 148,286 | 0 | 708 |
| 令和2年度 | 262,623 | 0 | 0 | 251,814 | 0 | 10,809 |
| 合計 | 611,882 | 121,398 | 0 | 484,642 | 628 | 5,214 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|-----------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>前期実施計画の事業目標は達成しました。 今後も安心・安全で質の高い教育環境の整備を進めるため、現存する課題や環境変化等により生じる新たな課題を整理し、教育環境の整備を進めていきます。</p> | |
| 作成担当課長 | 教育委員会総務課長 岩崎 雅男 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>前期予定していた計画は、目標どおり達成しました。 今後も、多様な学習活動に対応した教育環境の整備、安心・安全で質の高い学校施設等の施設・設備の充実を図ります。</p> | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-------------------|---|--------|----------------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 231103 | 学校施設改修等事業として再編 | | | |
| 事業進捗率（エレベーター設備設置） | % | 100 | - | - | - | - |
| 事業進捗率（体育館床改修） | % | - | - | 100 | - | - |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●府中東小学校にエレベーターを設置し、バリアフリー化を図ります。（令和3年度） ●劣化した府中東小学校体育館の床を改修します。（令和5年度） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 7,597万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|---------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 社会体育施設改修等事業 | 事業番号 | 231104 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2 学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 安心・安全で質の高い教育環境の整備 | | |
| 単位施策 | 1 教育施設・設備の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | <p>○ 維持保全計画（建築物）に基づく予防保全として、揚倉山健康運動公園クラブハウスの屋根・外壁の改修工事を行い、長寿命化を図りました。</p> |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | <p>○ 揚倉山健康運動公園上段多目的広場の人工芝新設工事を実施し、令和3年3月1日から利用を開始しました。また、夜間照明の点灯により、夜間の利用を再開しました。これにより、芝養生期間がなくなり、年間を通じた利用ができるようになり、稼働率が上がりました。</p> <p>○ 他の利用者への安全確保のため、周囲に防球フェンスを設置しました。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオープニングイベントは中止しました。</p> |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|-------|
| ① | 揚倉山健康公園クラブハウス改修事業進捗率(事業費ベース) | % | 目標値 | - | 100.0 | - | - | - |
| | | | 実績値 | - | 100.0 | - | - | - |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | - | - | - |
| ② | 揚倉山健康公園上段人工芝改修事業進捗率(事業費ベース) | % | 目標値 | - | - | - | - | 100.0 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 100.0 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-------|--------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 7,626 | 0 | 0 | 7,626 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 89,219 | 0 | 0 | 0 | 68,750 | 20,469 |
| 合計 | 96,845 | 0 | 0 | 7,626 | 68,750 | 20,469 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 揚倉山健康公園クラブハウス改修及び揚倉山健康公園上段人工芝改修工事は完了しました。今後は年間を通じての利用促進を行っていく必要があります。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 揚倉山健康運動公園上段多目的広場は人工芝化するとともに、夜間照明設備を修繕し年間を通して利用できる施設として令和3年3月1日にリニューアルオープンしました。今後、適正に維持管理を行うとともに、利用促進を図っていきます。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-----------------------|---|------|------|------|------|------|
| 231104 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業進捗率(揚倉山健康運動公園上段照明灯) | % | - | - | - | 100 | - |
| 具体的な取り組み | ●揚倉山健康運動公園上段多目的広場の照明灯について、LED化を行います。(令和6年度) | | | | | |
| 5年間の事業費 | 7,445万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|---------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 府中公民館等改築事業 | 事業番号 | 231105 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:安心・安全で質の高い教育環境の整備 | | |
| 単位施策 | 1:教育施設・設備の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中公民館及び歴史民俗資料館の全3棟の耐震診断を実施しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中公民館等の改築にあたっては、建物の設計を行う前に、歴史民俗資料館の基本構想及び展示計画を策定し、その内容を反映させる必要が生じたため、先行実施しました。また、建物の基本設計・実施設計については、平成30年3月から平成31年8月までを工期として契約を行い、業務に着手しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 複合施設の基本設計を行い、実施設計を継続して行っています。 ○ 歴史民俗資料館の展示施設の設計を継続して実施しています。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定どおり歴史民俗資料館の展示施設の設計を完了しました。 ○ 府中公民館の解体工事を行い、実施設計を行うとともに、改築工事に着手しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定どおり既存杭の引き抜きを行い、鋼管杭工事、基礎工事及び1階躯体工事は完了しました。2階部分の整備工事に着手しています。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 事業進捗率(事業費ベース) | % | 目標値 | - | 1.6 | 10.6 | 55.3 | 100 |
| | | | 実績値 | 0.8 | 0.9 | 10.6 | 17.2 | 17.5 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|------|---------|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 7,551 | 2,420 | 0 | 0 | 0 | 5,131 |
| 平成29年度 | 7,139 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,139 |
| 平成30年度 | 8,004 | 988 | 0 | 0 | 0 | 7,016 |
| 令和元年度 | 260,315 | 2,702 | 0 | 250,300 | 0 | 7,313 |
| 令和2年度 | 1,595 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,595 |
| 合計 | 284,604 | 6,110 | 0 | 250,300 | 0 | 28,194 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 歴史民俗資料館展示制作業務及び府中公民館改築工事は予定どおり進捗しています。令和4年4月開館に向け関係事業を行います。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 令和4年4月開館へ向け、歴史民俗資料館・消防団第1分団・府中公民館の複合施設改築工事を推進します。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|----------|--|------|------|------|------|------|
| 231101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業進捗率 | % | 100 | - | - | - | - |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | ●府中公民館・歴史民俗資料館・消防団第1分団詰所を兼ね備えた複合施設について、令和4年度のオープンに向けて改築工事をを行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 12億7,350万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|---------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | くすのきプラザ改修等事業 | 事業番号 | 231107 |
| 担当部署名 | 教育委員会 | 社会教育課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 2:学び合い、志を育むまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:安心・安全で質の高い教育環境の整備 | | |
| 単位施策 | 1:教育施設・設備の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | ○ 自動火災報知設備受信機について、新たな機器を設置しました。（令和2年12月工事完了） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|-------|
| ① | 自動火災報知設備受信機工事 進捗率（事業費ベース） | % | 目標値 | - | - | - | - | 100.0 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 100.0 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-------|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 2,915 | 0 | 0 | 2,915 | 0 | 0 |
| 合計 | 2,915 | 0 | 0 | 2,915 | 0 | 0 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| くすのきプラザの自動火災報知設備受信機の更新工事を完了しました。 | |
| 作成担当課長 | 社会教育課長 山本 進一 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 経年劣化していたくすのきプラザの自動火災報知設備受信機の更新工事を完了しました。今後も、定期点検を行い、適正な維持管理に努めます。 | |
| 作成担当部長 | 教育部長 榎並 隆浩 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|------|----------|----|------|------|------|------|------|
| | 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 事業計上なし | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 低炭素型社会づくり推進事業 | 事業番号 | 311101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1 総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 1 低炭素型のまちづくりの推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中町の組織が率先して温暖化対策事業を行うため、CO2ポテンシャル診断を2施設(福寿館、府中小学校)で行いました。 ○ 太陽光発電システムをふれあい福祉センター（10kw）及び北交流センター（10kw）に設置しました。 ○ 公共施設の電気使用の契約をCO2排出係数の低い電力業者（丸紅）に契約変更を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中町第3次地球温暖化対策実行計画【事務事業編】の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンマネジメント強化事業補助金及びCO2ポテンシャル診断事業費補助金を活用して、2030年までに二酸化炭素排出量を2013年度比で40%削減するために必要な取組みを整理しました。 ・補助金を活用した施設設備更新の可能性を検討し、予算化に向けての協議を行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近に取り組める環境保全の情報を発信する「エコチャレンジ」を実施し、二酸化炭素排出量の抑制を押し進めました。 ○ 省エネ行動及び省資源行動に関する啓発活動について、毎月広報ふちゅうに掲載しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近に取り組める環境保全の情報を発信する「エコチャレンジ」を実施し、二酸化炭素排出量の抑制を押し進めました。 ○ 省エネ行動及び省資源行動に関する啓発活動について、毎月広報ふちゅうに掲載しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「第3次地球温暖化対策実行計画」の見直し及び「第4次地球温暖化対策実行計画」の策定について、業務着手は行ったものの、完了せず、令和3年度へ繰り越して実施することとなりました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------|-----|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ① | 公共施設における二酸化炭素排出量 | k g | 目標値 | 3,255,018 | 3,161,263 | 3,067,508 | 2,973,753 | 2,880,000 |
| | | | 実績値 | 2,566,325 | 2,496,701 | 3,196,052 | 3,137,133 | 3,140,743 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|--------|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,160 | 0 | 0 | 0 | 2,160 | 0 |
| 平成29年度 | 12,009 | 0 | 0 | 0 | 12,008 | 1 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 14,169 | 0 | 0 | 0 | 14,168 | 1 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>契約した電力供給事業者が、前事業者より二酸化炭素排出係数の高い事業者となり、二酸化炭素排出量が高い値となったことが目標値が未達成となった主な要因です。機器の効率的な使用や節電等の意識の周知・徹底を図るだけでは大きな効果は見込めないことから、コスト面よりも環境面を重視して事業者を選定し、「環境にやさしいまち」をアピールすることも、目標達成へ向けた一つの方策であると考えます。</p> | |
| 作成担当課長 | 環境課長 小路 和司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>平成28年度、平成29年度は達成していますが、平成30年度以降は、未達成です。目標達成には契約した電力供給事業者の二酸化炭素排出係数に大きく左右されます。町施設の維持保全計画において、施設改修時に担当部署において、節電機器更新等を検討できるよう効率的な使用や節電等の意識への周知・徹底を図る必要があります。</p> | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 321101 | 継続実施 | | | | | |
| 補助件数 | 件 | - | - | 30 | 30 | 30 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●太陽光発電や家庭用燃料電池等の設置に係る補助制度を新たに設け、環境負荷の軽減に努めます。（令和5年度～） ●地球温暖化対策実行計画を策定します。（令和7年度） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 846万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 府中の森づくり事業 | 事業番号 | 311102 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1 総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 1 低炭素型のまちづくりの推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 放置森林整備（広葉樹等除伐）を2.3ha実施しました。 ○ みくまりの森サポートクラブが石コロビ池周辺の森林整備を実施しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 水源涵養・土砂災害の防止など森林の公益的機能を高めるため、里山林の間伐等を行いました。（間伐等面積1.78ha） ○ 森林活動の実施や体験学習などを行う森林ボランティア団体に対し、補助金を交付しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の影響で間伐は実施できませんでした。 ○ 森林活動の実施や体験学習などを行う森林ボランティア団体に対し、補助金を交付しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 里山林の間伐については、水分峡森林公園内において災害復旧工事を施工していたため実施することができなかったこと、翌年度以降に土砂災害に強い森づくりに資する施行箇所を選定し実施することから、当該予算を安芸府中森づくり基金に積み立てました。 ○ 森林ボランティア団体に補助金を交付しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 森づくり基金への積み立てを行いました。 ○ 県林業課、県西部農林水産事務所、森林組合と協議し、「災害防止に着目した森林整備」の箇所の選定作業を実施しました。 ○ 実施エリアの選定は完了しました。 ○ 詳細な実施箇所の選定は来年度に最終調整します。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------|-----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 間伐実施面積(累計) | h a | 目標値 | 10.2 | 12.2 | 14.2 | 16.2 | 18.2 |
| | | | 実績値 | 16.1 | 17.8 | 17.8 | 17.8 | 17.8 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|--------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,676 | 0 | 2,600 | 0 | 0 | 76 |
| 平成29年度 | 2,719 | 0 | 2,600 | 0 | 0 | 119 |
| 平成30年度 | 2,600 | 0 | 2,600 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 4,792 | 0 | 2,800 | 0 | 0 | 1,992 |
| 令和2年度 | 7,033 | 0 | 2,800 | 0 | 1 | 4,232 |
| 合計 | 19,820 | 0 | 13,400 | 0 | 1 | 6,419 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年7月豪雨災害及び令和2年7月豪雨災害に伴う災害復旧工事を実施していたため、森林整備を実施することができませんでした。令和4年度以降積み立てた基金により、災害防止に着目した森林整備を進めます。 | |
| 作成担当課長 | 環境課長 小路 和司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年7月豪雨災害、令和2年7月豪雨災害に伴う災害復旧工事を実施しているため、令和元年度以降、未実施となっています。令和3年度に間伐調査により間伐箇所を選定を行い、令和4年度から間伐に再着手し、目標を達成するよう進めていきます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|-------------|------|---|------|------|------|------|
| 322101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 森林ボランティアの人数 | 人 | 230 | 240 | 250 | 260 | 270 |
| 具体的な取り組み | | <ul style="list-style-type: none"> ●森林経営管理を実施するとともに、水分峡森林公園西エリアの再整備を進めます。 ●森林ボランティアの育成に努めます。 ●新たに地域林政アドバイザーを活用することで、森林・林業行政の充実を図ります。（令和4年度～） | | | | |
| 5年間の事業費 | | 7,311万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 公園改修等事業 | 事業番号 | 312101 |
| 担当部署名 | 建設部 都市整備課、維持管理課 | | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 2:自然と共生する快適環境の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 石井城公園における便所新築工事を行いました。 多目的トイレ1式、小便器1式 建物面積6.81㎡ ○ 浜田本町の緑地にベンチを設置しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ JRの工事の影響で撤去していた茂陰第1児童遊園の遊具を再度設置しました。 ○ 適切な公園遊具の維持管理を行うため、町内43公園を対象にした「府中町公園遊具再整備計画」（計画期間：平成30～39年度）を作成しました。 ○ 柳ヶ丘南広場（南保育所跡地）に便所を設置しました。また、防球ネットの設置に地元住民の理解を得ました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 空城山公園の遊具（たこ型すべり台）の塗装修繕を行いました。 ○ 柳ヶ丘南広場に防球ネットを設置しました。 ○ 空城山公園及び揚倉山健康運動公園（上段）にそれぞれ1か所ずつ喫煙所を設置しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 空城山公園の整備を行いました。 ・老朽化したアスレチック遊具を4種撤去し、野外ステージ前広場に複合遊具を新設 ・園路周辺法面を整形 ○ 揚倉山健康運動公園（下段）に喫煙所を1ヶ所設置しました。 ○ 清水ヶ丘第1児童遊園の中央階段取壊し、擁壁及び転落防止柵の設置について、近接工事の影響で令和2年度に一部を繰り越しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度からの繰越工事として、清水ヶ丘第1児童遊園の中央階段を取壊し、擁壁及び転落防止柵を設置しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間中の事業進捗率 (事業費ベース) | % | 目標値 | 53.7 | 67.2 | 76.9 | 87.6 | 100 |
| | | | 実績値 | 53.7 | 64.8 | 76.9 | 87.6 | 100 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | 公園遊具再整備計画の策定 | % | 目標値 | - | 100 | - | - | - |
| | | | 実績値 | - | 100 | - | - | - |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | - | - | - |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 10,916 | 0 | 10,476 | 0 | 0 | 440 |
| 平成29年度 | 20,552 | 0 | 0 | 17,806 | 0 | 2,746 |
| 平成30年度 | 12,723 | 0 | 0 | 6,200 | 2,088 | 4,435 |
| 令和元年度 | 12,800 | 0 | 0 | 11,396 | 0 | 1,404 |
| 令和2年度 | 4,218 | 0 | 0 | 0 | 4,218 | 0 |
| 合計 | 61,209 | 0 | 10,476 | 35,402 | 6,306 | 9,025 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 公園遊具再整備計画の策定や空城山公園への複合遊具新設等、目標は達成できましたが、引き続き利用者ニーズに応じた遊具の再整備や利用者が安心・安全に利用できる公園施設の改修を図ります。 | |
| 作成担当課長 | 維持管理課長 谷口 洋二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 公園遊具再整備計画を策定し、老朽化した遊具や利用者ニーズに合わない遊具の計画的な補修、撤去、更新を実施しました。また、空城山公園複合遊具の新設はプロポーザル方式を採用し、費用対効果の高い施設を整備しました。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|-------------------------|--|--|------|------|------|------|------|
| 421103 | 都市公園等長寿命化事業として再編 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | | |
| 実施計画期間中の遊具リニューアル公園数（累計） | 箇所 | | 2 | 8 | 10 | 12 | 13 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●公園施設長寿命化計画を策定するとともに、公園遊具の計画的な更新等を行います。 ●空城山公園については利用者ニーズの変化など課題を踏まえ、リニューアルに取り組みます。 | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1億5,146万円 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 身近な環境保全事業 | 事業番号 | 312102 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 2:自然と共生する快適環境の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内小学校5校を対象にキッズ環境調査プロジェクトとして小学校と連携した環境調査を行いました。また、水生生物の観察会や川の役割、町の環境ボランティアなど要望に併せて環境学習を行いました。 ○ 団体や事業所、町内会と一緒に空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン（冬季のみ 14団体・企業250名、町内会3,761名）とクリーン太田川（14団体・企業173名）を行い幹線道路や水路・河川清掃を行いました。 ○ 大気・水質・騒音・振動・ダイオキシンに係る定点監視を継続して行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ キッズ環境調査として、子どもたちによる環境調査及びアンケート調査を行いました。 ○ 各種環境調査の測定・監視を行い、その結果を年次報告書にまとめ、広報・ホームページで公表しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ キッズ環境調査プロジェクトを継続実施しましたが、水分峡森林公園における水辺教室は7月豪雨災害のため開催できませんでした。 ○ 「府中町の生き物探しガイド」を町内小学校4年生に配布しましたが、災害のため水分峡森林公園での生き物調査が実施できませんでした。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ キッズ環境調査プロジェクトを継続実施しましたが、水分峡森林公園における水辺教室は平成30年7月豪雨災害のため開催できませんでした。 ○ 「府中町の生き物探しガイド」を町内小学校4年生に配布しましたが、災害のため水分峡森林公園での生き物調査が実施できませんでした。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ キッズ環境調査プロジェクトを継続実施しました。 ○ 環境調査を継続実施しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 環境基準値の達成率 | % | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 88 | 88 | 88 | 88 | 88 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|--------|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,586 | 0 | 97 | 0 | 0 | 2,489 |
| 平成29年度 | 2,816 | 0 | 113 | 0 | 0 | 2,703 |
| 平成30年度 | 3,003 | 0 | 116 | 0 | 0 | 2,887 |
| 令和元年度 | 12,800 | 0 | 0 | 11,396 | 0 | 1,404 |
| 令和2年度 | 4,205 | 0 | 116 | 0 | 0 | 4,089 |
| 合計 | 25,410 | 0 | 442 | 11,396 | 0 | 13,572 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 道路騒音が環境基準値を超えているため目標は未達成ですが、県に改善要望できる限度値は下回っています。また、計測地点に民家がなく、苦情や改善要望がないため監視を継続します。また、その他の大気、水質、ダイオキシンは環境基準を満たしています。 | |
| 作成担当課長 | 環境課長 小路 和司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 道路騒音が環境基準値を超えているため目標は未達成ですが、公安委員会に道路交通規制等の措置を取るよう要請できる「自動車騒音に係る要請限度」の規定値は下回っています。計測地点に民家がなく、苦情や改善要望はありませんが、監視を継続します。また、その他の大気、水質、ダイオキシンは環境基準を満たしています。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 林業施設改良等事業 | 事業番号 | 312103 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 2:自然と共生する快適環境の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | ○ 長尾林道において災害復旧事業による工事を実施したことにより、所期の目標が達成できたため、同事業を実施する必要がなくなりました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間内事業進捗率(事業費ベース) | % | 目標値 | - | - | - | 50.0 | 100 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | - |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | - |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 長尾林道において災害復旧事業による工事を実施したことにより、所期の目標が達成できたため、同事業を実施する必要がなくなりました。 | |
| 作成担当課長 | 環境課長 小路 和司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 長尾林道において災害復旧事業による工事の実施により、当事業の路面改良について事業目標を達成しています。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|------|----------|----|------|------|------|------|------|
| | 事業計上なし | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 事業指標 | 単位 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 廃棄物の適正処理推進事業 | 事業番号 | 313101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1 総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 3 資源循環による環境負荷の低減 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみの資源化・適正化推進に向け市町アンケートや調査を行い、今後の計画推進の方針を決定しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度からの雑がみの分別収集実施に向けて、町内会への説明とチラシの配布を行いました。 ○ 家庭系ごみ・事業系ごみの資源化及び減量可能性を調査するため、ごみの組成調査を実施しました。 ○ 事業系ごみの出し方についての手引き書原稿を作成しました。また、印刷・配布を平成30年度に実施するための予算計上を行いました。 ○ 「災害廃棄物処理計画」を策定しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 雑がみの分別回収を各家庭に実施していただくよう「家庭ごみの正しい出し方」等で周知しました。 ○ 事業系ごみの「減量・リサイクルガイドブック」を作成し、配布しました。 ○ 町民を対象とした「廃棄物処理施設見学ツアー」は災害の影響で実施できませんでした。 ○ 不法投棄防止のための監視カメラを購入しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般廃棄物組成調査を秋と冬の2回実施し、組成割合を確認しました。平成29年度の前回調査と同様、紙類、厨芥類、プラスチック類が主な構成となっており、平成30年度から資源物として回収を始めた「雑がみ」が微減となりました。 ○ 不法投棄対策用の監視カメラの運用について、要綱案を作成し、内容について審査を行っています。審査後、町長の承認を経て、設置・運用する予定です。 ○ 廃棄物減量等推進審議会について、令和元年3月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止しました。 ○ 見学ツアーについては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごみ処理基本計画」の中間見直しを翌年度に繰り越し、「災害廃棄物処理に係る初動マニュアル」とともに令和3年度に作成することになりました。 ○ 食品ロス削減のため、10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、広報で周知しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------|-----------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 事業系一般ごみの排出量 | t | 目標値 | 4,176 | 4,050 | 4,349 | 4,169 | 3,975 |
| | | | 実績値 | 4,342 | 4,541 | 5,430 | 4,598 | 4,072 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | 家庭ごみ排出量 | g/ 人・日 | 目標値 | 578.7 | 572.9 | 569.1 | 565.3 | 561.5 |
| | | | 実績値 | 567.2 | 567.7 | 547.1 | 563.1 | 565.7 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49 |
| 平成29年度 | 9,374 | 0 | 623 | 0 | 0 | 8,751 |
| 平成30年度 | 1,143 | 0 | 710 | 0 | 0 | 433 |
| 令和元年度 | 1,100 | 0 | 275 | 0 | 0 | 825 |
| 令和2年度 | 197 | 0 | 131 | 0 | 0 | 66 |
| 合計 | 11,863 | 0 | 1,739 | 0 | 0 | 10,124 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業系一般ごみの排出量は経済活動と比例するため、予測が困難であるとともに、家庭ごみ排出量は、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなれば減少するものと思われませんが、減少幅は下げ止まり傾向にあり、今後は減少幅は小さくなっていくと予想されます。 | |
| 作成担当課長 | 環境課長 小路 和司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度、令和2年度は、事業系一般ごみの排出量は減少、家庭ごみ排出量は平成28年度から平成30年度までは、減少傾向でしたが、コロナ禍の影響で、家庭内での消費が増え、令和2年度は未達成となったものと思われまます。引き続きごみの出し方の手引書、「ごみ分別アプリ」やパンフレット等様々な媒体で周知するとともに、不法投棄防止のためパトロールの実施等を行います。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 323101 | 継続実施 | | | | | |
| 情報発信回数 | 回 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の減量化・資源化へ向け、その組成調査を行うとともに、不法投棄対策を実施します。 ●ごみ処理基本計画を策定します。（令和7年度） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,237万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 協働型環境づくり事業 | 事業番号 | 314101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1 総合的な環境対策の推進 | | |
| 単位施策 | 4 協働型環境づくりの推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第2次環境基本計画を周知するため、住民団体、事業者と協働し、平成29年2月に「ふちゅう環境の集いと第10回緑の仲間フェスタ」を合同開催し、約1,300人の来場がありました。 ○ 自主的に環境活動を行う団体(11団体)に対し、くらすば環境づくり助成を行い環境づくりの支援を行いました。 ○ 家庭の温暖化防止活動の推進を行う府中町脱温暖化市民協議会の環境家計簿や緑のカーテン普及事業について、周知啓発協力を行い、また、事務局として事業の後方支援を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページに新しい情報を掲載するよう、情報を逐次更新しました。 ○ エコドライブ講習を、住民向けと職員向けの合計2回実施しました。 ○ 自主的に環境活動を行う団体(11団体)に対し、くらすば環境づくり助成を行い環境づくりの支援を行いました。 ○ 「自然生き物調査マニュアル」を作成し、平成30年度から実施する生き物調査の準備をしました。 ○ 脱温暖化市民協議会と連携し、脱温暖化行動の大切さを周知しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境学習講座について、ホームページで募集しましたが申込みがなく、実施できませんでした。 ○ エコドライブ講習は申込者数が足りず、実施できませんでした。 ○ くらすば環境支援事業により団体の活動支援を行いました。また、活動内容をホームページ等で紹介しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境学習講座について、ホームページで募集しましたが申込みがなく、実施できませんでした。 ○ エコドライブ講習は申込者不足の関係で、実施できませんでした。 ○ くらすば環境支援事業により団体の活動支援を行いました。また、活動内容をホームページ等で紹介しました。 ○ 昨年度評価会議で指摘を受けた少人数でも講座等を開催できる仕組みについては、検討できませんでした。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 脱温暖化市民協議会と連携した環境学習講座や環境イベントなどの啓発活動は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により実施できませんでした。 ○ くらすば環境支援助成事業により団体の活動支援を行い、周知しました。 ○ 「第2次環境基本計画」の中間見直しは、翌年度に繰り越し令和3年度に作成することになりました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 環境関係コンテンツの閲覧数 | 件 | 目標値 | 6,600 | 6,700 | 8,000 | 9,000 | 10,000 |
| | | | 実績値 | 8,781 | 12,473 | 18,675 | 11,992 | 17,550 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,725 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 1,725 |
| 平成29年度 | 3,323 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3,322 |
| 平成30年度 | 842 | 0 | 0 | 0 | 0 | 842 |
| 令和元年度 | 803 | 0 | 0 | 0 | 0 | 803 |
| 令和2年度 | 801 | 0 | 0 | 0 | 0 | 801 |
| 合計 | 8,494 | 0 | 1 | 0 | 1,000 | 7,493 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 環境関係関連のページの閲覧数も令和元年度の11,992件から令和2年度は17,550件と順調に伸びていますが、いずれの活動も活動者の高齢化や学校における教職員の負担が課題となっています。今後は、少人数でも講座等を開催できる仕組みについて、検討する必要があります。 | |
| 作成担当課長 | 環境課長 小路 和司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成28年度以降、いずれの年度においても目標を達成しています。環境活動については、活動者の高齢化や学校における教職員の負担が課題となっています。今後は、少人数でも講座等を開催できるよう、活動者数の増加策を検討する必要があります。また、水分峡森林公園、林道の全面開放に向けて、災害復旧を進めます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|---------------|--|--|---------|---------|---------|---------|---------|
| 324101 | 継続実施 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 環境関係コンテンツの閲覧数 | 件 | | 116,000 | 123,000 | 131,000 | 138,000 | 145,000 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●住民・事業者・行政が協働・連携し、環境活動やイベント、環境学習を実施します。 ●環境基本計画を策定します。（令和7年度） | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,374万円 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 人権推進事業 | 事業番号 | 321101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進するため、人権擁護委員の啓発活動と連携し、人権意識の普及、啓発を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般住民を対象にした、ヒューマンフェスタ（人権講演会や各種啓発活動）の開催（参加者831人） ・ 人権思想の普及高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配布 ・ 町内10ヶ所の保育園・幼稚園での人権啓発紙芝居の実施 ・ 町内の小学校の入学式当日に新入生を対象にしたあいさつ運動 ・ 町内の小学校(5・6年生)、中学校(1年生)、高校の生徒を対象にした人権啓発書道コンテストの実施 ・ 民生児童委員を対象にした人権ビデオ学習会の実施 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、人権講演会や各種啓発活動を展開しました。（1回、参加者573人） ○ 町内の保育園・幼稚園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（11回1,222人実施） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（3回実施） ○ 町内小学校の新1年生を対象に、あいさつ運動を実施しました。（5小学校479人） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、人権講演会や各種啓発活動を展開しました。（平成30年12月2日、参加者650人） ○ 町内の保育園・幼稚園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（11回実施、参加者1,235人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（平成30年11月、3回実施） ○ 町内小学校の新1年生を対象に、あいさつ運動を実施しました。（5小学校、対象者551人） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、人権講演会や各種啓発活動を展開しました。（令和元年12月1日、参加者235人） ○ 町内の保育園・幼稚園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（10回実施、参加者1,050人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（令和元年11月・3回実施、参加者99人） ○ 町内の児童生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施） ○ 町内小学校の新1年生を対象に、あいさつ運動を実施しリーフレット等配布しました。（参加者560人） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防により規模を縮小して、住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、各種啓発活動を行いました。11月29日（日）（参加者127人） ○ 保育園・幼稚園及び未就園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（9回796人実施 ※2園新型コロナウイルス感染症により中止） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生委員・児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（年3回・100人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 啓発活動実施回数 | 回 | 目標値 | 38 | 38 | 38 | 38 | 40 |
| | | | 実績値 | 39 | 40 | 40 | 39 | 31 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 1,576 | 0 | 85 | 0 | 0 | 1,491 |
| 平成29年度 | 2,704 | 0 | 85 | 0 | 0 | 2,619 |
| 平成30年度 | 3,525 | 0 | 85 | 0 | 0 | 3,440 |
| 令和元年度 | 3,675 | 0 | 70 | 0 | 0 | 3,605 |
| 令和2年度 | 3,728 | 0 | 674 | 0 | 0 | 3,054 |
| 合計 | 15,208 | 0 | 999 | 0 | 0 | 14,209 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため学校等の行事が大きく変更され、子どもを対象とする行事が中止になったとともに、集客人数制限による規模の縮小によりイベントや研修の参加人数が減ったため、目標が未達成となっています。過去4年間は目標を達成しており、一定の成果は得られていますが、事業のマンネリ化が今後の課題です。後期実施計画では毎年度課題を整理し、改善しながら進めていきます。</p> | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>平成28～令和元年度の4年間は、事業目標を達成していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により達成していません。一定の成果はあったと考えますが、更なる人権が尊重されるまちづくりを推進するため、より効果的な啓発活動の実施方法を検討し、継続して取り組みます。</p> | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|--|------|------|------|------|
| 331101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 啓発活動実施回数 | 回 | 41 | 41 | 41 |
| 具体的な取り組み | | <p>●すべての住民がお互いに人権を尊重し認め合うことができるよう、人権意識の普及、啓発に資する研修会、啓発活動及びイベント等を開催します。</p> | | | | |
| 5年間の事業費 | | 2,337万円 | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 男女共同参画推進事業 | 事業番号 | 321102 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般住民を対象に、男女共同参画講演会を開催しました。（参加者86人） ○ 職員を対象に、男女共同参画に対する理解と認識を深めるため、ビデオ学習会を2回実施しました。 ○ 少子高齢化や人口減少、ライフスタイルや就労形態の多様化等の社会情勢の変化、町が抱える課題に対応し、より一層の男女共同参画社会を実現するため、「府中町第3次男女共同参画プラン」を策定しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を開催しました。（1回、参加者62人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。（2回） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を1回開催しました。（6月9日実施、参加者46人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を2回実施しました。（9月、2月） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を1回開催しました。（7月13日実施、参加者43人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を2回実施しました。（8月、2月） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象に府中南公民館との共催により、男女共同参画講演会を開催しました。10月10日（土）（参加者49人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。9月・2月（2回 216人） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 啓発活動実施回数 | 回 | 目標値 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | | 実績値 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,832 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,832 |
| 平成29年度 | 74 | 0 | 0 | 0 | 0 | 74 |
| 平成30年度 | 150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 150 |
| 令和元年度 | 133 | 0 | 0 | 0 | 0 | 133 |
| 令和2年度 | 216 | 0 | 47 | 0 | 0 | 169 |
| 合計 | 3,405 | 0 | 47 | 0 | 0 | 3,358 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>目標は達成しています。令和元年度と令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限を設け事業を実施しました。その影響で参加人数が減っていることから、今後はこれまで通り多くの人が参加できるよう工夫を行っていきます。</p> | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>事業目標は全ての年度で達成しています。今後も引き続き、創意工夫し、住民ニーズに合った啓発活動を行うことにより、町民の男女共同参画意識を高め、男女共同参画社会の実現を目指します。</p> | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 331102 | 継続実施 | | | | | |
| 啓発活動実施回数 | 回 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 具体的な取り組み | <p>●男女が自立、協力しながら、対等な立場で家庭、地域、職場など、あらゆる分野で男女共同参画社会が実現できるよう、研修会、講演会等を開催して普及・啓発を推進します。</p> <p>●男女共同参画プランを策定します。（令和3年度）</p> | | | | | |
| 5年間の事業費 | 620万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 地域コミュニティ活動支援事業 | 事業番号 | 322101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 2 地域の活性化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> 町内会への加入啓発のため、広報ふちゅうへの記事掲載、住民課や建築課で新たに住民となる方への加入促進チラシ配布、地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報の発信などを行いました。 町内会連合会への補助金を通じた活動支援を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> 転入してきた住民に配布する加入促進のチラシを刷新しました。 （公社）広島県宅地建物取引業協会と町内会加入促進協力の協定を締結しました。町内の当該協会加入事業者には、加入促進のチラシの配架、また、府中町へ転入を検討している人へのチラシの配布を依頼しました。 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報の発信を行いました。 町内会連合会への補助金を通じた活動支援を行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報の発信を行いました。 町内会連合会へ、補助金を通じた活動支援を行いました。 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し、補助金を交付しました。（改築1件、修繕2件） 転入者と町内会長を直接結びつけるために、承諾を得たうえで、加入促進チラシの裏面に町内会長の名前と連絡先を記載しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報（33町内会）の発信を行いました。 町内会連合会へ、補助金を通じた活動支援を行いました。 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し、補助金を交付しました。（修繕1件） 手法改善の一環として、令和2年度に実施予定の町内会アンケートの内容整理を行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報（34町内会）の発信を行いました。 町内会連合会へ、補助金を通じた活動支援を行いました。 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し、補助金を交付しました。（改築1件、修繕2件） 全ての町内会長に対してアンケートを実施し、町内会の現状や課題を把握しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 町内会加入率 | % | 目標値 | 79.8 | 79.9 | 80.0 | 80.1 | 80.2 |
| | | | 実績値 | 76.5 | 74.5 | 72.7 | 73.3 | 71.0 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|------|-----|--------|---------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 33,265 | 0 | 0 | 0 | 3,400 | 29,865 |
| 平成29年度 | 28,346 | 0 | 0 | 0 | 4,400 | 23,946 |
| 平成30年度 | 29,633 | 0 | 0 | 0 | 2,800 | 26,833 |
| 令和元年度 | 26,661 | 0 | 0 | 0 | 2,100 | 24,561 |
| 令和2年度 | 30,350 | 0 | 0 | 0 | 6,662 | 23,688 |
| 合計 | 148,255 | 0 | 0 | 0 | 19,362 | 128,893 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 加入促進のため、毎年度、様々な取組みを活動実績のとおり行いましたが、目標を達成できませんでした。加入率向上のためには、若年層への情報発信強化が必要です。後期実施計画では、令和2年度に実施したアンケート結果を基に新たな取組みを検討していきます。 | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は全ての年度で未達成です。要因として若年層の未加入者が増えたことによるものと考えます。令和2年度に実施した町内会アンケート結果を基に南北町内会連合会と連携し、取組みの検討・実施を行います。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------------|---|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 332101 | 継続実施 | | | |
| 町内会情報の発信回数 | 回 | 37 | 40 | 43 | 46 | 49 |
| 具体的な取り組み | ●町内会連合会や町内会集会所整備費用に対し補助を行うとともに、町内会への加入啓発に努めます。 ●新たに町内会活性化に向けたセミナーを開催します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1億5,498万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 協働のまちづくり支援事業 | 事業番号 | 322102 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 2 地域の活性化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険をかけることで団体の活動を支援し、協働を促進しました。 ○ つばき祭り実行委員会への補助金と事務局運営を通じ、住民団体と一緒につばき祭りを盛り上げました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険をかけることで団体の活動を支援し、協働を促進しました。 ○ 府中つばき祭り実行委員会への補助金と事務局運営を通じ、住民団体と一緒に祭りを盛り上げました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険に加入することで、団体の活動を支援し、協働を促進しました。 ○ 府中つばき祭り実行委員会への補助金交付と事務局運営を通じ、住民団体（出店20団体、ステージ出演22団体）と一緒に祭りを盛り上げました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険に加入することで、団体の活動を支援し、協働を促進しました。 ○ 府中つばき祭り実行委員会への補助金交付と事務局運営を通じ、住民団体（出店19団体、ステージ出演23団体）と一緒に祭りを盛り上げました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険に加入することで、団体の活動を支援し、協働を促進しました。 ○ 府中つばき祭りは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止になりました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 活動団体登録数 | 団体 | 目標値 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |
| | | | 実績値 | 45 | 49 | 50 | 49 | 51 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|--------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,777 | 0 | 0 | 0 | 2,462 | 315 |
| 平成29年度 | 3,273 | 0 | 0 | 0 | 2,962 | 311 |
| 平成30年度 | 3,216 | 0 | 0 | 0 | 2,962 | 254 |
| 令和元年度 | 3,140 | 0 | 0 | 0 | 2,962 | 178 |
| 令和2年度 | 169 | 0 | 0 | 0 | 0 | 169 |
| 合計 | 12,575 | 0 | 0 | 0 | 11,348 | 1,227 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成29年度以降は町民活動保険の周知に努めるとともに、団体の掘り起こしにより、安心してボランティア活動ができる環境を整えた結果、目標を達成することができました。 | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は全ての年度で達成しました。今後も関係部署等と連携し、活動団体の掘り起こしを行ない安心・安全に活動が行えるよう支援します。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | コミュニティ施設改修事業 | 事業番号 | 322103 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 2 地域の活性化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | ○ 府中町維持保全計画に基づき、鶴江地区センターの屋根及び外壁の改修工事を行いました。 |
| 令和2年度 | ○ 総社会館と東地区センターの便所洋式化工事を行い、避難所としての施設環境の改善を図りました。 【対象箇所】 ・ 総社会館1, 2階男女トイレ各1箇所（計4箇所） ・ 府中東地区センター1階男女トイレ各1箇所（計2箇所） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 事業進捗率(事業費ベース) (鶴江地区センター) | % | 目標値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 実績値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 達成 | - |
| ② | 事業進捗率(事業費ベース) (総社会館・東地区センター) | % | 目標値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-------|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 3,168 | 0 | 0 | 3,168 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 4,191 | 0 | 0 | 4,191 | 0 | 0 |
| 合計 | 7,359 | 0 | 0 | 7,359 | 0 | 0 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 維持保全計画に基づいた改修や避難所施設としての機能向上改善を行い、事業目標を達成することができました。 | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 維持保全計画に基づき、計画的に施設の改修を行い目標を達成しました。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|----------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 事業計上なし | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 地域創業支援事業 | 事業番号 | 322104 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 2 地域の活性化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 創業支援に関するニーズ調査を行い、施策の方向性を検討しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年度に実施した創業支援ニーズの調査を基に、広告デザイン料やオフィス誘致促進のための助成金制度、先輩起業家による創業者への個別相談に補助を行うメンターズ補助金など、平成30年度の実施へ向け、町独自の制度を創設しました。 ○ 創業希望者等の相談を受けるとともに、創業へとつなげた案件もありました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広告デザイン料の助成を2件行いました。 ○ サテライトオフィスの対象事業所指定を1件行いました。また、その他コールセンター創設希望の問い合わせがあります。（予算執行は令和元年度以降予定） ○ メンター制度を創設し、チラシの作成・配布を行いました。（利用実績1件） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広告デザイン作成費助成金について、申請が2件あり、1件について支給を行いました。 ○ 賃借料・通信費の助成について、平成30年度に申請があった事業者が事業を中止したため、実績はありません。 ○ 先輩起業家への相談希望はありませんでした。 ○ 令和元年6月12日から、広島市及び海田町と共同の認定創業支援等事業計画に基づき共同で創業支援にあたることとしました。また、同日から広島市創業・ベンチャー支援連絡協議会に加入し、創業支援事業者との連携を強化しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ・ 広告デザイン作成費助成金 申請2件、支給2件 ○ ・ 地域活力創出型オフィス誘致助成金 令和2年度は実績なし。令和元年度までの2者について支援継続中。 ○ ・ 安芸府中メンターズ相談件数 1件 ○ 町オフィス誘致助成の交付要綱は令和2年度末までであり、県オフィス誘致助成も令和3年度より改正されることを受け、要綱を見直しました。また、同様に令和3年度において、他の2制度のうちメンターズは廃止し、広告デザイン助成は販路開拓支援として対象経費と予算規模の拡充を図る予定です。 ○ 広島市及び海田町と共同で創業支援にあたっているが、創業希望者の相談については、金融機関のみならず民間企業でも取り扱っており、圏域全体の相談件数は把握できるものの、町内分の相談件数は不明という状況です。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 創業希望者等の相談件数(累計) | 件 | 目標値 | 18 | 30 | 44 | 60 | 78 |
| | | | 実績値 | 43 | 87 | 150 | 179 | 不明 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 不明 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 176 | 0 | 0 | 0 | 0 | 176 |
| 令和元年度 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 |
| 令和2年度 | 73 | 0 | 0 | 0 | 0 | 73 |
| 合計 | 2,289 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,289 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>目標は達成しています。メンターズ活用事例はなく、関係機関等で専門指導員によるセミナーなど充実していることから廃止を予定しています。広島市、海田町と共同で創業支援を行うことで広域連携が可能となり、創業希望者にとっては活動しやすい環境となっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響もありテレワークを実施する企業が増加したことからオフィス誘致助成はこれから注目されることと思われます。時代の変化に応じた制度として検討を続けていきます。</p> | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>事業目標は全ての年度で達成しました。一方、創業者を支援するため平成30年度に補助制度を新設しましたが、利用が見込みを下回ったため、ニーズにあった制度へ見直しを行います。</p> | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--------------|---|------|------|------|------|
| 332102 | 事業者支援事業として再編 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 補助金利用件数 | 件 | 6 | 6 | 6 |
| 具体的な取り組み | | ●小規模事業者の新たな商品・サービスの販売に対し、広報費や開発費等を補助する制度を新設します。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 1,100万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 観光事業 | 事業番号 | 322105 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 2 地域の活性化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会の運営を補助するとともに、観光協会主催事業であるみくまり峡文化祭（参加者200人）やさかなのつかみどり大会（参加者260人）への参画を通して町への観光を促進しました。 ○ 町内を散策してもらうため平成28年5月からレンタサイクルを開始し、446件の利用がありました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会の運営を補助するとともに、観光協会主催事業であるさかなのつかみ取り大会やみくまり峡森林公園イルミネーション事業への参画を通じて、町への観光を促進しました。 ○ 町の歴史文化や自然の魅力を紹介する観光マップを作成し、町の施設や県内の観光施設へ配架し、府中町をPRしました。 ○ 町内の観光施設を自転車で散策できるよう、レンタサイクル事業を行いました。（1,089件） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会の運営を補助するとともに、観光協会主催事業であるみくまりフェスタや府中さんぽを通じて、町への観光を促進しました。 ○ 町の歴史文化や自然の魅力を紹介する観光マップを、町の施設や県内の観光施設へ配架し、府中町をPRしました。 ○ 町内の観光施設を自転車で散策できるよう、レンタサイクル事業を行いました。（延べ利用件数：1,042件） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会へ補助金を交付し、みくまりフェスタ（多家神社にて実施）等が開催されました。 ○ 観光マップは県内外に積極的に配布していますが、配布部数の追加を再三要求されるなど利用客が増加しています。 ○ レンタサイクルは、ほぼ毎日利用されている状況です。 ○ 日本遺産認定について、令和元年度は不認可となりましたが、継続協議し、再度認定申請を行いました。なお、町における協議会では、最終的な申請内容の報告を行うとともに、構成員に対し今後の対応の検討を依頼しました。 ○ 日本遺産の認定申請結果が落選となったので、道路標識等案内看板設置、広報等情報発信は行いませんでした。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会へ補助金を交付し、写真コンテスト等が実施されました。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により観光冊子の作成は見送ったものの、観光マップは県内外に積極的に配布しており、追加配布の依頼を受けるなど好評を博しています。 ○ レンタサイクルはほぼ毎日利用されている状況です。 ○ 日本遺産認定申請は再度不認可となりましたが、継続協議することとなりました。文化庁で認定制度が見直され「候補地域」が創設されたことを受け、宮崎市が中心になって計画を見直すことになり、町の協議会でも取り上げ商工会、観光協会、社会教育課で協議しました。（3月24日文化庁に申請） |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 観光協会主催事業参加者数 | 人 | 目標値 | 520 | 540 | 560 | 580 | 600 |
| | | | 実績値 | 460 | 1,469 | 800 | 300 | 42 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 3,414 | 0 | 0 | 0 | 612 | 2,802 |
| 平成29年度 | 2,355 | 0 | 0 | 0 | 612 | 1,743 |
| 平成30年度 | 1,246 | 0 | 0 | 0 | 612 | 634 |
| 令和元年度 | 1,631 | 0 | 0 | 0 | 612 | 1,019 |
| 令和2年度 | 1,223 | 0 | 0 | 0 | 600 | 623 |
| 合計 | 9,869 | 0 | 0 | 0 | 3,048 | 6,821 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成29年度、平成30年度は目標を達成していますが、令和元年度と令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止があったことから目標達成に至りませんでした。社会情勢による未達成はやむを得ないものと考えますが、過去の開催内容には物足りなさを感じています。関係機関との調整、他市町の調査、研究等を続けていきます。 | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は平成28年度は未達成でしたが、平成29年度、平成30年度と目標を達成しました。令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により未達成となりました。後期に向けて観光協会や関係団体と連携し、町の自然や歴史文化等の魅力を発信できる事業を行います。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------------------|---|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 332103 | 継続実施 | | | | | |
| ピーすくる利用者数（1台当たり） | 人 | 180 | 230 | 280 | 330 | 380 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●広島市シェアサイクル「ピーすくる」のサイクルポートを町内に新設し、市町域を超えた利用を可能とすることで、観光に係る交通手段の多面化を図ります。 ●観光資源の魅力を発信するため、観光マップ等を発行します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2,009万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 防災事業 | 事業番号 | 323101 |
| 担当部署名 | 総務企画部 | 危機管理課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 3 防災・地域安全活動の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---------|------------|----|------------|--------|--------|-----------|--------|--------|-----------|---------|---------|------------|--------|--------|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ地震など大規模地震に備え、災害用毛布や飲料水、食糧等の備蓄を行いました。 <table border="1"> <tr> <td>炊き出しセット</td> <td>飲料水（500ml）</td> <td>毛布</td> </tr> <tr> <td>平成27年度末備蓄量</td> <td>7,200食</td> <td>7,272本</td> </tr> <tr> <td>平成28年度購入量</td> <td>1,600食</td> <td>1,536本</td> </tr> <tr> <td>熊本地震支援供出量</td> <td>△1,500食</td> <td>△1,512本</td> </tr> <tr> <td>平成28年度末備蓄量</td> <td>7,300食</td> <td>7,296本</td> </tr> </table> ○ 防災意識の高揚及び防災力の向上が図れるよう、自主防災組織の育成支援に取り組みました。 | 炊き出しセット | 飲料水（500ml） | 毛布 | 平成27年度末備蓄量 | 7,200食 | 7,272本 | 平成28年度購入量 | 1,600食 | 1,536本 | 熊本地震支援供出量 | △1,500食 | △1,512本 | 平成28年度末備蓄量 | 7,300食 | 7,296本 |
| 炊き出しセット | 飲料水（500ml） | 毛布 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年度末備蓄量 | 7,200食 | 7,272本 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成28年度購入量 | 1,600食 | 1,536本 | | | | | | | | | | | | | | |
| 熊本地震支援供出量 | △1,500食 | △1,512本 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成28年度末備蓄量 | 7,300食 | 7,296本 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ地震など大規模地震に備え、食糧、飲料水、毛布の備蓄を行いました。（炊き出しセット8,400食、飲料水8,856本、毛布996枚） ○ 防災意識の高揚及び防災力の向上を図るため、自主防災組織に対し活動費（資機材の購入費等）の助成を行うなど、自主防災組織の育成支援に取り組みました。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における避難生活必需品の備蓄など品目の検討を行いました。累計では目標を達成しましたが、個別実績で見ると飲料水の備蓄量が目標値をやや下回りました。 （目標） ・食料 8,800食 ・飲料水 8,800本（500mlペットボトル相当） ・毛布 1,280枚 （年度末時点実績） ・食料 10,650食 ・飲料水 8,532本（500mlペットボトル相当） ・毛布 1,923枚 ○ 自主防災組織の育成及び活動支援を目的に、自主防災組織が実施する次の事業に補助金を交付しました。 ・防災訓練、防災啓発活動等事業 4団体（40千円） ・防災資機材整備事業 5団体（956千円） ・防災士資格取得事業 1団体（64千円） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における避難生活必需品の備蓄などの品目の検討を行いました。累計・個別ともに目標値を達成しました。 （目標） ・食糧 8,800食 ・飲料水 8,800本（500mlペットボトル相当） ・毛布 1,520枚 （年度末時点実績） ・食料 9,100食 ・飲料水 9,058本（500mlペットボトル相当） ・毛布 1,830枚 ○ 自主防災組織の育成及び活動支援を目的に、自主防災組織が実施する次の事業に補助金を交付しました。 ・防災訓練、防災啓発活動等事業 4団体 ・防災資機材整備事業 8団体 ・防災士資格取得事業 6団体 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災計画に基づき、今後の備蓄における基本的な方針や備蓄品目及び備蓄数量等について定めた備蓄計画を策定しました。また、備蓄計画を基に生活必需品等の計画的な備蓄を実施し、本年度の目標値を大きく上回りました。 （年度末時点実績） ・食糧 13,650食 ・飲料水 12,816本 ・毛布 1,830枚 【生活必需品備蓄量（累計） 28,296個】 ○ 非常時の電力確保のため、総社会館、福寿館、マイフローラ南交流センターに電源切替装置を設置しました。 ○ 自主防災組織の育成及び活動支援のため、組織が実施する次の事業に補助金を交付しました。 ・防災訓練・防災啓発活動等事業 3団体 ・防災資機材整備事業 1団体 ・防災資機材更新事業 1団体 ・防災士資格取得事業 3団体 | | | | | | | | | | | | | | | |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 避難生活必需品備蓄量（累計） | 個 | 目標値 | 18,410 | 18,640 | 18,880 | 19,120 | 19,360 |
| | | | 実績値 | 15,451 | 18,252 | 21,105 | 19,988 | 28,296 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 4,516 | 494 | 406 | 0 | 2,000 | 1,616 |
| 平成29年度 | 3,651 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 1,651 |
| 平成30年度 | 1,890 | 0 | 840 | 0 | 0 | 1,050 |
| 令和元年度 | 3,438 | 0 | 0 | 0 | 700 | 2,738 |
| 令和2年度 | 13,498 | 0 | 0 | 2,937 | 5,639 | 4,922 |
| 合計 | 26,993 | 494 | 1,246 | 2,937 | 10,339 | 11,977 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえ、定期的な備蓄品目・数量の見直しを行っており、令和2年度には備蓄計画を策定し、目標備蓄量や備蓄方針等を定めました。目標備蓄量は3年連続で達成しています。引き続き、備蓄計画を基に計画的な備蓄を推進していくとともに、ニーズの変化に合わせた備蓄品目の見直しに努めます。 | |
| 作成担当課長 | 危機管理課長 砂崎 勇介 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 過去の災害を踏まえ、随時、備蓄の見直しを行っており、令和2年度には備蓄計画を策定し、計画的な備蓄を進めています。一方で、備蓄品の多くは防災備蓄倉庫1箇所です。集中的に保管しており、災害発生時には避難所へ必要な物資を配送している現状があります。今後は、避難者へ迅速に物資を提供するため、各避難所に備蓄倉庫を設置することを検討します。 | |
| 作成担当部長 | 総務企画部参事 屋敷 学 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|-----------|---|--------|---------------|-------|-------|-------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 312101 | 防災体制強化事業として再編 | | | |
| 備蓄品の計画的確保 | - | 備蓄 | 備蓄 | 維持・更新 | 維持・更新 | 維持・更新 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●避難所の機能強化のため、防災備蓄倉庫を設置するとともに、必要な備蓄品の確保に努めます。 ●避難所の非常用電源を確保するため、発電機回路を設置します。（令和4年度～令和7年度） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 7,412万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 交通安全対策事業 | 事業番号 | 323105 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 3 防災・地域安全活動の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の交通安全意識の高揚と交通徳の普及及び交通安全運動の推進を図るため、年2回（春の全国交通安全運動、広島県夏の交通安全運動）の交通安全キャンペーンを実施し、交通安全啓発物を配布することで交通事故防止を呼びかけました。 ○ 児童の交通事故の防止を図るため、小学校、幼稚園、保育園等の児童及びその保護者に対し、交通安全教室を開催しました。（19回） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 春の全国交通安全運動、広島県夏の交通安全運動において交通安全キャンペーンを実施し、交通安全啓発物を配布しました。（啓発活動参加者各約50人） ○ 府中小学校グラウンドで高齢者交通安全教室（シルバー・ナイト・スクール）を実施しました。（1回、参加者約170人） ○ 町内5小学校、町内幼稚園・保育園で交通安全教室を実施しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 春の全国交通安全運動（参加者35名）において交通安全キャンペーンを実施し、交通安全啓発物を配布しました。（広島県夏の交通安全運動は豪雨災害のため中止） ○ 各交通安全運動期間中、各小中学校区において通学路の交通指導を実施しました。（春17名、秋14名、夏は豪雨災害のため中止、年末12名） ○ 府中小学校グラウンドで高齢者交通安全教室（シルバー・ナイト・スクール）を実施しました。（1回、参加者約110名） ○ 町内5小学校、町内幼稚園・保育園で交通安全教室を実施しました。 ○ 交通安全の啓発活動を行う府中町交通安全推進隊に補助金を交付しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 春の全国交通安全運動（参加者45名）、広島県夏の交通安全運動（参加者45名）、年末交通事故防止県民総ぐるみ運動期間（参加者70名）に合わせ、交通安全街頭キャンペーンを実施しました。 ○ 府中中央小学校グラウンドにおいて、高齢者交通安全教室（シルバー・ナイト・スクール）を実施しました。（参加者148名） ○ 第17回府中つばき祭りにおいて、交通事故防止を呼びかけるチラシ・啓発物等を配布しました。（参加者30名） ○ 各交通安全運動期間中（春12人・夏19人・秋10人・年末20人）に、通学路の交通指導を実施しました。 ○ 町内5小学校で、4月に交通安全教室、6月に自転車教室を実施しました。また、町内の保育園・幼稚園9ヶ所（10件）で、5月から6月の間に交通安全教室を実施しました。 ○ 交通安全の啓発活動を行う府中町交通安全推進隊に補助金を交付しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全街頭キャンペーンについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため全て中止になりました。 ○ 各交通安全運動期間中（春・夏は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止・秋15人・年末13人）に交通安全推進隊員が通学路の交通指導を実施しました。 ○ 幼稚園・保育園10ヶ所（9件）・新1年生に対する交通安全教室・自転車教室は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実技は行わず、DVDを貸し出し、また交通安全教育指針に準拠した冊子を配布することにより、横断歩道の正しいわたり方を学習しました。 ○ 小学校3、4年生を対象とした自転車教室では、DVDを貸与し、また、自転車のルールに関する冊子を配ることにより、自転車の正しい乗り方を学習しました。府中町交通安全推進隊に補助金を交付しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 啓発活動参加者数 | 人 | 目標値 | 255 | 266 | 277 | 288 | 300 |
| | | | 実績値 | 100 | 270 | 145 | 338 | 0 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 未達成 | 達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 2,688 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,688 |
| 平成29年度 | 2,722 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,722 |
| 平成30年度 | 3,001 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,001 |
| 令和元年度 | 2,805 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,805 |
| 令和2年度 | 2,739 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,739 |
| 合計 | 13,955 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,955 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成30年7月豪雨災害や令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、活動が制限され目標を達成できない年度もありましたが、平常時では、新たな参加団体を掘り起こすなど、参加者数を増やすことができました。 | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標について令和元年度は達成しましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により達成できませんでした。今後も交通安全の啓発活動を継続実施し、交通安全運動を推進します。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 333101 | 継続実施 | | | |
| 啓発活動参加者数 | 人 | 310 | 320 | 330 | 340 | 350 |
| 具体的な取り組み | ●住民の交通安全意識の高揚と交通徳徳の普及を推進するため、街頭キャンペーン等交通安全に向けた運動を実施します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,533万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 消費者行政推進事業 | 事業番号 | 323106 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 自治振興課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 3 防災・地域安全活動の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日9時～16時まで専門相談員を配置し（閉庁日を除く）、窓口・電話で相談を受け付けました。（延べ相談件数429件） ○ 消費生活に関する意識啓発活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の団体への出前講座（7団体 214人） ・ 町の確定申告会場で、消費生活ビデオの放映（20日間 延べ人数 約1,200人） ・ 成人式で消費啓発パンフレットの配布（350人） ・ 町内の小学校6年生、中学校3年生の児童等へ消費啓発パンフレット、消費啓発用クリアファイルの配布（955人） ・ 町内の団体へ啓発冊子の配布（1団体 20人） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 閉庁日を除く毎日9時～16時まで専門相談員を配置し、窓口・電話で相談を受け付けました。（延べ相談件数256件） ○ 消費生活に関する意識啓発活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の団体への出前講座（5団体161人） ・ 町の確定申告会場で消費者ビデオの放映（20日間、延べ人数 約1,200人） ・ 成人式で消費啓発パンフレットの配布（450人） ・ 町内の小学校6年生、中学校3年生の児童等へ消費啓発パンフレット、消費啓発用クリアファイルの配布（940人） ・ 町内の団体へ啓発冊子の配布（1団体20人） |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 閉庁日を除く毎日9時～16時まで専門相談員を配置し、窓口・電話で相談を受け付けました。（延べ相談件数225件） ○ 消費生活に関する意識啓発活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の団体への出前講座（3団体85人） ・ 成人式で消費啓発パンフレットの配布（450人） ・ 町内の小学校6年生、中学校3年生の児童等へ消費啓発パンフレット配布（964人） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 消費生活相談員を配置し、窓口・電話で相談を受け付けました。（延べ相談件数189件） ○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、町内の団体への出前講座は中止としましたが、次のような消費生活に関する意識啓発活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人式で消費啓発パンフレットの配布（450人） ・ 町内の小学校5年生、中学校3年生の児童等へ消費啓発パンフレット配布（991人分） ○ 消費者生活問題に関して学年に応じた適切な指導を行うため、授業で取り上げる時期や教科書で出てくる表現などを教職員と協議し、動画や副教材の内容を検討しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 啓発活動実施回数 | 回 | 目標値 | 18 | 20 | 22 | 24 | 26 |
| | | | 実績値 | 22 | 30 | 30 | 5 | 8 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 3,373 | 0 | 2,194 | 0 | 0 | 1,179 |
| 平成29年度 | 3,411 | 0 | 2,098 | 0 | 0 | 1,313 |
| 平成30年度 | 2,930 | 0 | 375 | 0 | 0 | 2,555 |
| 令和元年度 | 2,898 | 0 | 460 | 0 | 0 | 2,438 |
| 令和2年度 | 2,816 | 0 | 460 | 0 | 0 | 2,356 |
| 合計 | 15,428 | 0 | 5,587 | 0 | 0 | 9,841 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 平成28年度から平成30年度までは目標を達成、令和元年度と令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で目標未達成となりました。消費啓発パンフレットの配布について、令和2年度からはこれまでの卒業生対象配布を見直し、授業と合わせて活用してもらうことで、内容がよくわかり、記憶に残してもらうことができると考え、小学生は5年生、中学生は3年生を対象に配布しています。引き続き、改善を行い、消費者行政推進に取り組みます。 | |
| 作成担当課長 | 自治振興課長 谷口 充寿 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は平成30年度まで達成していましたが、令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で未達成となりました。今後も消費者の意識啓蒙に取り組む必要があることから、出前講座などの啓発活動を通じて消費者被害未然防止に取り組みます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 333102 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 啓発活動実施回数 | 回 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 具体的な取り組み | ●消費生活相談員を配置することにより、広報や出前講座を実施し、住民の消費者被害を未然に防止します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,564万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 農業用水路等改良事業 | 事業番号 | 323108 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 環境課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり | | |
| 単位施策 | 3 防災・地域安全活動の推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | <p>○ 永田池の廃止工事については、JRとの協議に時間を要したため、完了することができませんでした。</p> <p>○ 遠隔監視装置について、水分峡大堰堤には設置したものの、石ころび池には電波が受信できず設置できませんでした。</p> |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 地域防火体制強化事業 | 事業番号 | 331101 |
| 担当部署名 | 消防本部 | 予防課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 暮らしを守る消防体制づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1 火災予防体制の充実・強化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ 地域住民への火災予防体制の強化を図りました。 (防火教室、火災予防行事、消防署見学・体験、防火対象物の訓練指導等を141回実施しました。) |
| 平成29年度 | ○ 地域住民への火災予防体制の強化を図りました。 ・ 自主防災会・町内会等の防火教室31件 ・ 幼稚園・保育園での花火指導10件 ・ 小学校2年生等への出前講座4件 ・ 小学校4年生の消防署見学5件 ・ 防火対象物の避難訓練実地指導103件 (計153件) |
| 平成30年度 | ○ 防火教室、火災予防行事、消防署見学・体験、防火対象物訓練指導を計151回実施し、地域住民への火災予防体制の強化を図りました。 |
| 令和元年度 | ○ 各種啓発活動を実施し、地域住民への火災予防体制の強化を図りました。(防火教室、火災予防行事、消防署見学・体験、防火対象物訓練指導を合わせて148回実施) |
| 令和2年度 | ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、防火教室等はその大半が中止を余儀なくされましたが、その他の行事については最大限の感染防止対策を施しながら地域住民への火災予防体制の強化を図りました。 ・ 防火教室 3回 ・ 火災予防行事 15回 ・ 消防署見学・体験 8回 ・ 防火対象物訓練指導 56回 合計 82回 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 啓発活動実施回数 | 回 | 目標値 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | | | 実績値 | 141 | 153 | 151 | 148 | 82 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 619 | 0 | 0 | 0 | 0 | 619 |
| 平成29年度 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 34 |
| 平成30年度 | 42 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 令和元年度 | 84 | 0 | 0 | 0 | 0 | 84 |
| 令和2年度 | 65 | 0 | 0 | 0 | 0 | 65 |
| 合計 | 844 | 0 | 0 | 0 | 0 | 844 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|-----------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は達成できたものの、防火教室等の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により、その大半が中止を余儀なくされ前年度比で大幅な件数減となりました。また、開催した行事についてはマスクの着用、消毒や換気は勿論、3密を回避するため、分散開催等の感染防止対策を施しながら地域住民への火災予防体制の強化を図りました。 | |
| 作成担当課長 | 予防課長 瀬戸 剛 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|-----------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| コロナ禍で事業展開に制約があるものの、火災予防体制の充実・強化のために新たな取組みを推進します。 | |
| 作成担当部長 | 消防長 新宅 和彦 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 341101 | 継続実施 | | | | | |
| 啓発活動実施回数 | 回 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●防火に関する知識・技術習得に資する出前講座や研修会等を行います。 ●新たに自主防災会等を対象として、広島市総合防災センターにおける防災研修を実施します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 187万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 消防団施設整備事業 | 事業番号 | 332101 |
| 担当部署名 | 消防本部 | 総務課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:暮らしを守る消防体制づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 2:消防体制の充実・強化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ 消防団第3分団詰め所の建築工事に着工しました。 |
| 平成29年度 | ○ 第3分団詰所を建築、移転し、防災施設の機能強化を図るとともに、必要な備品を整備し、消防団活動の促進を図りました。なお、旧詰所は解体しました。 |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | ○ 老朽化している第2分団詰所を令和2年度までに建築、移転するものとし、令和元年度に実施設計を行いました。 |
| 令和2年度 | ○ 老朽化している第2分団詰所を新築しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-------------|----|------|-------|-------|-------|------|-------|
| ① | 整備率（第3分団詰所） | % | 目標値 | 100.0 | - | - | - | - |
| | | | 実績値 | 40.3 | 100.0 | - | - | - |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | - | - | - |
| ② | 整備率（第2分団詰所） | % | 目標値 | - | - | - | 7.4 | 100.0 |
| | | | 実績値 | - | - | - | 7.4 | 100.0 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 達成 | 達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|------|--------|--------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 18,611 | 0 | 0 | 6,200 | 0 | 12,411 |
| 平成29年度 | 33,231 | 0 | 0 | 5,400 | 20,414 | 7,417 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 3,614 | 0 | 0 | 3,614 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 63,691 | 0 | 0 | 60,810 | 0 | 2,881 |
| 合計 | 119,147 | 0 | 0 | 76,024 | 20,414 | 22,709 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 令和2年度までの目標は、計画どおり達成しました。後期実施計画期間中では令和3年度に府中公民館に第1分団詰所を合築させることとしているため、計画達成に努めるものとします。また、令和4年度には第1分団詰所の解体を計画していることから、計画達成に努めるものとします。 | |
| 作成担当課長 | 総務課長 橋本 臣彦 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|-----------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 引き続き消防体制の充実・強化に努めます。 | |
| 作成担当部長 | 消防長 新宅 和彦 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|----------|----|------|------|------|------|------|
| | 事業終了 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 消防自動車等購入事業 | 事業番号 | 332102 |
| 担当部署名 | 消防本部 | 警防課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 暮らしを守る消防体制づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 2 消防体制の充実・強化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 計画的な消防自動車の更新を行い、消防体制の充実強化を図るもので、平成28年度中に救急自動車、指揮車の2台を更新しました。 |
| 平成29年度 | ○ 平成29年度は、平成28年度に配備した指揮車に無線機を設置しました。 |
| 平成30年度 | ○ 消防自動車を更新しました。 ・ 消防1号車（平成31年2月整備完了） ・ 消防3号車（平成31年2月整備完了） |
| 令和元年度 | ○ 可搬ポンプ積載車1台の更新を行いました。 |
| 令和2年度 | ○ 広報調査車1台の更新を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間中の車両更新数 (累計) | 台 | 目標値 | 2 | 2 | 4 | 6 | 6 |
| | | | 実績値 | 2 | 2 | 4 | 5 | 6 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|--------|--------|---------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 39,545 | 13,814 | 20,665 | 4,900 | 0 | 166 |
| 平成29年度 | 1,944 | 0 | 0 | 1,900 | 44 | 0 |
| 平成30年度 | 102,492 | 0 | 0 | 98,400 | 0 | 4,092 |
| 令和元年度 | 15,950 | 0 | 0 | 15,950 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 7,975 | 0 | 0 | 7,911 | 0 | 64 |
| 合計 | 167,906 | 13,814 | 20,665 | 129,061 | 44 | 4,322 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 令和2年度までの目標は、計画通り達成しました。 後期においては、高規格救急車を更新整備し、救急体制の充実強化を図ります。 | |
| 作成担当課長 | 警防課長 松田 和将 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|-----------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 引き続き消防体制の充実・強化に努めます。 | |
| 作成担当部長 | 消防長 新宅 和彦 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|-----------------|------|---|------|------|------|------|
| 342101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業進捗率（高規格救急車購入） | % | 100 | - | - | - | - |
| 具体的な取り組み | | ●老朽化した高規格救急車の更新を行い、救急体制の強化を図ります。（令和3年度） | | | | |
| 5年間の事業費 | | 4,425万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 初期消火強化事業 | 事業番号 | 332103 |
| 担当部署名 | 消防本部 | 警防課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 暮らしを守る消防体制づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 2 消防体制の充実・強化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ 地域に扱いやすい初期消火器具を備え、円滑な初期消火活動による火災被害の軽減を図るため、町内に110個設置されている初期消火器具ボックスを7個更新しました。（収納品：消防用40ミリホース3本、筒先1、消火栓開閉器1、スタンドパイプ1、異径媒介金具1） |
| 平成29年度 | ○ 地域に扱いやすい初期消火器具を備え、円滑な初期消火活動による火災被害の軽減を図るため、町内に111個設置されている初期消火器具ボックスを7個更新しました。（収納品：消防用40ミリホース3本、筒先1、消火栓開閉器1、スタンドパイプ1、異径媒介金具1） |
| 平成30年度 | ○ 初期消火器具ボックス7式の更新を行いました。 <1式あたりの内容> 初期消火器具ボックス（本体）1台 初期消火用ホース3本（口径40mm×長さ20m） 異径媒介金具（アルミ製）1個 筒先（アルミ製ノズル）1本 |
| 令和元年度 | ○ 初期消火器具ボックス7式の更新を行いました。 <1式当たりの内容> 初期消火器具ボックス（本体）1台 初期消火用ホース3本（口径40mm×長さ20m） 筒先（アルミ製ノズル）1本 消火栓開閉器1本 スタンドパイプ1本 異径媒介金具1個 |
| 令和2年度 | ○ 初期消火器具ボックス7式の更新を行いました。 <1式当たりの内容> 初期消火器具ボックス（本体）1台 初期消火用ホース3本（口径40mm×長さ20m） 筒先（アルミ製ノズル）1本 消火栓開閉器1本 スタンドパイプ1本 異径媒介金具1個 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 地域に扱いやすい初期消火器具の設置率（累計） | % | 目標値 | 6.4 | 12.7 | 19.1 | 25.5 | 31.8 |
| | | | 実績値 | 6.4 | 12.7 | 19.1 | 25.5 | 31.8 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 466 | 232 | 0 | 0 | 0 | 234 |
| 平成29年度 | 490 | 245 | 0 | 0 | 0 | 245 |
| 平成30年度 | 491 | 246 | 0 | 0 | 0 | 245 |
| 令和元年度 | 521 | 0 | 0 | 0 | 0 | 521 |
| 令和2年度 | 461 | 0 | 0 | 0 | 0 | 461 |
| 合計 | 2,429 | 723 | 0 | 0 | 0 | 1,706 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 令和2年度までの目標は、計画どおり達成しました。後期においても、実施計画どおり進め、設置率100%にします。 | |
| 作成担当課長 | 警防課長 松田 和将 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|-----------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 引き続き初期消火器具の更新を行い地域の防災力の強化を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 消防長 新宅 和彦 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|--------------------|--|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 342102 | 継続実施 | | | |
| 地域に扱いやすい初期消火器具の設置率 | % | 45.5 | 59.1 | 72.7 | 86.4 | 100 |
| 具体的な取り組み | ●初期消火活動に必要な扱いやすい初期消火器具の設置について、計画を前倒し、実施計画期間中の完了を目指します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 593万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 救急体制強化事業 | 事業番号 | 333101 |
| 担当部署名 | 消防本部 | 警防課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 暮らしを守る消防体制づくりの推進 | | |
| 単位施策 | 3 救急体制の充実・強化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | ○ 救急出動件数の増加に対応するため、救急体制の再構築を図りました。 救急救命士の養成2名、救急隊員の養成4名 |
| 平成29年度 | ○ 救急出動件数の増加に対応するため、救急体制の再構築を図りました。 救急救命士の養成2名、救急隊員の養成4名 |
| 平成30年度 | ○ 救急隊員3名の養成及び救急救命士2名の養成を行いました。 ○ 府中町は、広島市のメディカルコントロール体制の圏域と重なっていることから、広島市消防が平成30年度中に行う画像伝送システムの更新整備にあわせ、府中町消防の救急車3台にも、画像伝送装置を設置し、救急体制の充実強化を図りました。 |
| 令和元年度 | ○ 救急救命士1名の養成及び、救急隊員2名の養成を行いました。 また、救急車3台に配備している画像伝送装置を活用して、救急患者の容態や情報を事前に収容先医療機関に提供し、救急体制の充実・強化に努めました。 |
| 令和2年度 | ○ 救急隊員2名の養成及び救急救命士1名の養成を行いました。また、救急車3台に配備している画像伝送装置を活用して、救急患者の容態や情報を事前に収容先医療機関に提供し、救急体制の充実・強化に努めました。 ○ 外国人からの通報に対応するため、簡易指令台を導入し、3者間同時通訳を用いた多言語対応の運用を開始しました。 また、聴覚・言語に障害を持つ方からの通報に対応するため、Net119緊急通報システムを導入し、運用を開始しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間中の救急救命士 養成人数（累計） | 人 | 目標値 | 2 | 4 | 6 | 7 | 8 |
| | | | 実績値 | 2 | 4 | 6 | 7 | 8 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 4,148 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,148 |
| 平成29年度 | 4,117 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,117 |
| 平成30年度 | 4,511 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,511 |
| 令和元年度 | 3,588 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,588 |
| 令和2年度 | 5,823 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,823 |
| 合計 | 22,187 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22,187 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 令和2年度までの目標は、計画通り達成しました。 後期においても、救急救命士の養成を図り、増加する救急出動件数に対応するため、救急体制の充実・強化に努めます。 | |
| 作成担当課長 | 警防課長 松田 和将 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|-----------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 引き続き救急救命士を養成して救急体制の充実・強化を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 消防長 新宅 和彦 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | | |
|-----------|---|-----|------|------|------|------|------|
| 343101 | 継続実施 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | | | | | | | |
| 救急救命士養成人数 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 具体的な取り組み | ●増加する救急要請に対応するため、救急救命士を養成します。また、新たに救急救命士を指導する指導救命士を養成し、救急業務の更なる質の向上を図ります。 | | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2,815万円 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 都市計画調査事業 | 事業番号 | 411101 |
| 担当部署名 | 建設部 | 都市整備課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 1: 計画的な土地利用の誘導 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 市街化区域内の未利用地等における都市化の促進を図るため、開発指導要綱の全部改正を行いました。 ○ 居住性の向上などを目的とする地域公共交通に関する施策等について、協議会の設置や事業につながる計画といった展開の方向性を示しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域公共交通網形成計画」の策定に向けて府中町公共交通協議会を立ち上げ、第1回目の会議を開催しました。 ○ 広島県が行う都市計画基礎調査に対し負担金を支払いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域公共交通網形成計画」の策定に向けて府中町公共交通協議会を開催しました。（1回） ○ 広島県が実施した都市計画基礎調査に対し負担金を支払いました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化社会に対応した将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの形成を推進するため、令和元年11月に「地域公共交通網形成計画」を策定しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会開催 3回 ○ 用途地域の見直し検討は、広島県が行う区域区分の総合見直しにあわせて行う予定でしたが、県の区域区分の見直し作業が遅れが生じ、令和元年度には用途地域の見直し検討・調査を実施できませんでした。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ つばきバスの運行見直しについて検討を進め、実証運行に係る運行計画を策定しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会（バス分科会と同時開催）開催 2回 ○ 公共交通不便地域等の住民に対してアンケートを実施し、利用者ニーズを踏まえた新しい交通手段であるデマンドタクシーの試験運行計画を策定しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 府中町都市計画マスタープランの策定 | % | 目標値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 0 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 未達成 |
| ② | 実施計画期間中の事業進捗率（事業費ベース） | % | 目標値 | - | 0.2 | 0.4 | 22.1 | 100 |
| | | | 実績値 | - | 0.6 | 21.8 | 22.1 | 100 |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 247 | 0 | 0 | 0 | 0 | 247 |
| 平成30年度 | 8,646 | 4,200 | 0 | 0 | 0 | 4,446 |
| 令和元年度 | 2,098 | 0 | 0 | 0 | 1,971 | 127 |
| 令和2年度 | 1,767 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,767 |
| 合計 | 12,758 | 4,200 | 0 | 0 | 1,971 | 6,587 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|-------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| この5年間に於いては、主に「地域公共交通網形成計画」を策定し、それに基づき、公共交通協議会の意見も踏まえつつ、つばきバスの運行見直し及びデマンドタクシーの試験運行に係る両計画を策定でき、その点で大きく前進したものと云えます。 | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| この5年間に於いては、主に「地域公共交通網形成計画」を策定し、それに基づき、公共交通協議会の意見も踏まえつつ、つばきバスの運行見直し及びデマンドタクシーの試験運行に係る両計画を策定でき、その点で大きく前進したものと云えます。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|----------------------------------|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 411101 | 継続実施 | | | |
| 事業進捗率 | % | 20.5 | 60.4 | 81.8 | 81.8 | 100 |
| 具体的な取り組み | ●立地適正化計画や次期地域公共交通網形成計画等の策定を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 5,946万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 向洋駅周辺土地区画整理事業 | 事業番号 | 412101 |
| 担当部署名 | 建設部 | 区画整理課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 2: 都市施設の整備 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 向洋駅周辺地区の画地整備として19街区の整備工事を実施しました。 |
| 平成29年度 | ○ 向洋駅周辺地区の画地整備として、17・19街区の整備工事（基礎杭撤去一式）を実施しました。（693㎡） |
| 平成30年度 | ○ 平成30年7月豪雨災害対応のため、17街区画地・19街区画地の整備を平成31年度に繰り越しました。また、移転補償、マンション解体工事については計画通り実施しました。 |
| 令和元年度 | ○ 昨年度の繰越工事である17街区・19街区の画地整備を行いました。 ○ 北口駅前広場の26-5街区の整備を行いました。また、広島市東部地区連続立体交差事業の仮線敷の事業調整に時間を要している項目について、物件移転契約を締結し、建物の解体を行いました。 |
| 令和2年度 | ○ 広島市との行政界にある支障雨水管φ1,500mmの撤去を行いました。 ○ JR山陽本線北側の仮線用地や南側の18街区の一部で整備を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 画地整備面積(累計) | ㎡ | 目標値 | 39,100 | 39,100 | 41,900 | 43,900 | 45,000 |
| | | | 実績値 | 39,371 | 40,064 | 40,064 | 43,938 | 58,464 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 1,199,551 | 362,999 | 101,340 | 447,200 | 0 | 288,012 |
| 平成29年度 | 1,196,732 | 195,469 | 115,387 | 708,776 | 116,861 | 60,239 |
| 平成30年度 | 1,213,748 | 335,046 | 48,131 | 672,000 | 30,130 | 128,441 |
| 令和元年度 | 427,548 | 72,393 | 6,090 | 298,048 | 31,824 | 19,193 |
| 令和2年度 | 210,105 | 22,296 | 8,195 | 19,800 | 53,098 | 106,716 |
| 合計 | 4,247,684 | 988,203 | 279,143 | 2,145,824 | 231,913 | 602,601 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>関連事業の広島市東部地区連続立体交差事業が事業見直しにより約7年間中断されていたが、事業の影響を受けない箇所から整備を進めたので、事業目標を達成することができました。 今後は、連立事業と調整を行いながら、連立事業の影響を受ける箇所も含めて整備を進める予定です。</p> | |
| 作成担当課長 | 区画整理課長 岡村 紀行 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>関連事業の広島市東部地区連続立体交差事業が事業見直しにより約7年間中断されていたが、事業の影響を受けない箇所から整備を進めたので、事業目標を達成することができました。 今後は、連立事業と調整を行いながら、連立事業の影響を受ける箇所も含めて整備を進める予定です。</p> | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 412101 | 継続実施 | | | |
| 画地整備率 | % | 59.7 | 60.0 | 61.6 | 63.3 | 65.0 |
| 具体的な取り組み | <p>●幹線道路や都市公園等の整備、また既成市街地の再編による宅地の利用増進を図るため、JR向洋駅周辺地区において土地区画整理事業を施行します。</p> | | | | | |
| 5年間の事業費 | 27億5,045万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 広島市東部地区連続立体交差事業 | 事業番号 | 412102 |
| 担当部署名 | 建設部 | 区画整理課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 2: 都市施設の整備 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業における地元負担金を負担しました。 |
| 平成29年度 | ○ 広島県が施行する妙陳山山切工事等に対し、地元負担金を負担しました。 |
| 平成30年度 | ○ 広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業における地元負担金を負担しました。 ・ 工事実施設計（現年） ・ 妙陳山山切工事（繰越） |
| 令和元年度 | ○ 広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業における地元負担金を負担しました。 |
| 令和2年度 | ○ 広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業における地元負担金を負担しました。 ・ 仮線準備工事 ・ 道路整備 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 事業進捗率(事業費ベース) | % | 目標値 | 11.5 | 18.4 | 36.8 | 54.2 | 69.3 |
| | | | 実績値 | 8.9 | 10.3 | 11.0 | 11.6 | 13.1 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|------|---------|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 18,226 | 0 | 0 | 14,900 | 0 | 3,326 |
| 平成29年度 | 32,080 | 0 | 0 | 31,355 | 655 | 70 |
| 平成30年度 | 16,995 | 0 | 0 | 15,300 | 1,572 | 123 |
| 令和元年度 | 15,843 | 0 | 0 | 15,421 | 414 | 8 |
| 令和2年度 | 36,803 | 0 | 0 | 34,640 | 2,162 | 1 |
| 合計 | 119,947 | 0 | 0 | 111,616 | 4,803 | 3,528 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 事業見直しにより約7年間事業が中断されていたため事業目標は達成されていませんが、令和元年5月に都市計画変更、同年10月に事業認可を取得後、令和2年6月に広島県・広島市・JR西日本の三者で1期区間（向洋駅周辺）の工事基本協定を締結、同年9月に工事説明会を開催し、現在は本格的に工事着手しており、早期完成を目指しています。 | |
| 作成担当課長 | 区画整理課長 岡村 紀行 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 事業見直しにより約7年間事業が中断されていたため事業目標は達成されていませんが、令和元年5月に都市計画変更、同年10月に事業認可を取得後、令和2年6月に広島県・広島市・JR西日本の三者で1期区間（向洋駅周辺）の工事基本協定を締結、同年9月に工事説明会を開催し、現在は本格的に工事着手しており、早期完成を目指しています。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 412102 | 継続実施 | | | |
| 事業進捗率 | % | 13.1 | 19.4 | 27.3 | 35.8 | 44.9 |
| 具体的な取り組み | ●事業主体（広島県・広島市）と一体となって、円滑な交通流の形成に向け事業を進めるとともに、事業に対する地元負担を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 10億4,127万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 県施行街路事業負担金事業 | 事業番号 | 412104 |
| 担当部署名 | 建設部 | 都市整備課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 2: 都市施設の整備 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 広島県が施行する街路事業の早期整備を促進し、交通ネットワークの円滑化を図るため、負担金を支払いました。 |
| 平成29年度 | ○ 広島県が施行する街路事業（青崎池尻線）に対し、負担金を支払いました。 |
| 平成30年度 | ○ 広島県が施行する街路事業（青崎池尻線に係る用地補償費等）に対し、負担金を支払いました。 |
| 令和元年度 | ○ 広島県が施行する街路事業（青崎池尻線）に対し、負担金を支払いました。 |
| 令和2年度 | ○ 広島県が施行する都市計画道路事業（青崎池尻線）に対し、負担金を支払いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間中の整備延長(累計) | m | 目標値 | 0 | 0 | 0 | 350 | 350 |
| | | | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|--------|--------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 33,594 | 0 | 0 | 30,200 | 0 | 3,394 |
| 平成29年度 | 13,881 | 0 | 0 | 13,518 | 341 | 22 |
| 平成30年度 | 2,745 | 0 | 0 | 2,300 | 281 | 164 |
| 令和元年度 | 22,976 | 0 | 0 | 20,600 | 2,376 | 0 |
| 令和2年度 | 11,152 | 0 | 0 | 2,752 | 8,400 | 0 |
| 合計 | 84,348 | 0 | 0 | 69,370 | 11,398 | 3,580 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|-------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 青崎池尻線は、当初令和元年度に完了予定でしたが、事業用地取得等の関連により、令和元年10月に事業認可が変更され、令和6年3月の完成予定となりました。令和6年3月の完成に向け、令和2年度から工事着手されており、引き続き広島県と協力・調整し、事業の進捗管理を行います。 | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 令和6年3月の完成に向け、引き続き広島県と協力・調整し、事業の進捗管理を行います。 なお、青崎池尻線は向洋駅に接続する主要街路であり、事業進捗にあわせ、つばきバスのルートを見直すなど、電車とバスとの乗継ぎ利便性を向上させ、向洋駅周辺の交通結節機能の強化を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 412104 | 継続実施 | | | | | |
| 事業進捗率 | % | 60.9 | 88.7 | 100 | - | - |
| 具体的な取り組み | ●広島県道路整備計画に基づき県が施行する街路事業（青崎池尻線）に対する地元負担を行い、県と一体となって計画的な街路整備を進めます。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 3,020万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 補助街路整備事業 | 事業番号 | 412106 |
| 担当部署名 | 建設部 | 都市整備課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 2: 都市施設の整備 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <p>○ みくまり北小学校線（Ⅱ期）整備事業 L=50m 府中北小学校から御衣尾永田線を結ぶ地域の主要生活道路を整備することで、住民の利便性および都市防災機能の向上を図るため、平成28年は詳細設計、用地測量、物件調査を行いました。</p> |
| 平成29年度 | <p>○ みくまり北小学校線（2期）整備事業として、用地取得及び物件移転補償を行いました。</p> |
| 平成30年度 | <p>○ みくまり北小学校線（2期）の整備事業を行いました。 ・ 用地取得費 2件 ・ 物件移転等補償費 2件</p> |
| 令和元年度 | <p>○ みくまり北小学校線（2期）の整備事業を行いました。 ・ 用地取得 2件 ・ 物件移転等補償 2件 ・ 道路改良工事 L=50m</p> <p>○ みくまり14号線の整備事業を行いました。 ・ 詳細設計 ・ 物件調査 ・ 用地取得 6件 ・ 物件移転等補償 6件</p> |
| 令和2年度 | <p>○ みくまり14号線の整備を行いました。 ・ 用地取得 3件 ・ 物件移転等補償 3件 ・ 道路改良工事 L=65m ・ 橋りょう詳細設計 1件</p> <p>○ 府中公民館の建替えにあわせ、本町40号線の整備を行いました。 ・ 道路改良工事 L=63m（半断面）</p> |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 整備延長(累計) | m | 目標値 | 650 | 650 | 700 | 700 | 700 |
| | | | 実績値 | 650 | 650 | 650 | 700 | 765 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|---------|------|---------|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 5,160 | 2,821 | 0 | 2,000 | 0 | 339 |
| 平成29年度 | 41,211 | 21,167 | 0 | 19,918 | 0 | 126 |
| 平成30年度 | 70,243 | 37,900 | 0 | 29,000 | 0 | 3,343 |
| 令和元年度 | 71,717 | 38,875 | 0 | 30,102 | 1,392 | 1,348 |
| 令和2年度 | 61,800 | 33,295 | 0 | 27,242 | 0 | 1,263 |
| 合計 | 250,131 | 134,058 | 0 | 108,262 | 1,392 | 6,419 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|-------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 前期実施計画期間においては、主にみくまり北小学校線とみくまり14号線の整備を行い、順調に事業を進めることができ、事業目標を達成することができました。 | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 補助街路整備事業は、幹線道路を補完する主要生活道路を整備することで、安全な歩行者空間の確保や緊急車両の進入路の確保など、安心安全なまちづくりの実現において重要な事業です。前期実施計画期間においては、概ね円滑に事業が進捗し、財源を重点的に投入することで、事業目標を達成することができました。後期実施計画期間においても、限られた財源の中、効率的に事業を進めるため、費用便益比を踏まえた整備路線の抽出を行い、事業を進めます。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|---|------|------|------|------|
| 412105 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 実施計画期間中の整備延長(累計) | m | 250 | 270 | 320 |
| 具体的な取り組み | | ●幹線道路を結ぶ地域の生活主要道路である補助街路の整備を行います。 ・みくまり14号線（令和3年度～令和4年度） ・宮の町地区（令和5年度～） | | | | |
| 5年間の事業費 | | 2億3,810万円 | | | | |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 実施計画期間中の整備延長 (累計) | m | 目標値 | 404 | 795 | 1,195 | 1,590 | 2,000 |
| | | | 実績値 | 361 | 562 | 903 | 1,388 | 1,673 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|--------|------|---------|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 43,796 | 18,782 | 0 | 22,800 | 0 | 2,214 |
| 平成29年度 | 27,593 | 6,558 | 0 | 20,901 | 134 | 0 |
| 平成30年度 | 37,879 | 17,848 | 0 | 17,700 | 0 | 2,331 |
| 令和元年度 | 52,468 | 17,570 | 0 | 34,304 | 592 | 2 |
| 令和2年度 | 30,160 | 8,107 | 0 | 6,633 | 0 | 15,420 |
| 合計 | 191,896 | 68,865 | 0 | 102,338 | 726 | 19,967 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|-------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>前期実施計画期間における整備延長は1,673mであり、目標指標である2,000mに対し未達成となりました。その要因として、前期実施計画期間における国費の内示率が平均72%程度に留まり、国費の配分を補助街路整備事業に割り振ったため、当事業の予算執行を留保したことが挙げられます。</p> | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>道路新設改良事業は、住民の暮らしに密着した生活道路の拡幅による車両通行の円滑化、歩道改良によるバリアフリー化の推進など、移動空間の質的向上を図ることを目的に事業を進めています。当事業は、国費の内示率に事業の進捗が左右される状況となっており、前期実施計画期間においては事業目標が未達成となりました。後期実施計画期間においては、より有利な財源確保手法、整備路線の優先順位、より経済的な整備手法等について検討を行い、限られた財源の中、効率的な事業進捗を図り、事業目的の実現を目指します。</p> | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | | | | |
|------------------|------|---|------|------|-------|-------|
| 412106 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | 目標値 | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 実施計画期間中の整備延長(累計) | m | 255 | 590 | 930 | 1,260 | 1,590 |
| 具体的な取り組み | | ●住民の暮らしに密着した生活道路の拡幅やバリアフリーに対応した歩道改良を行います。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 2億3,900万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 狭あい道路整備等促進事業 | 事業番号 | 412108 |
| 担当部署名 | 建設部 | 都市整備課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 2: 都市施設の整備 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 狭あい道路対象地区（本町三丁目）において、関係地権者の協力のもと、セットバック部分の土地を拡幅工事するもので、工事延長34mを行いました。 |
| 平成29年度 | ○ セットバック部分の土地を買取り、18.8mの拡幅整備を行いました。 |
| 平成30年度 | ○ 家屋の建替えや改築等にあわせ、道路幅員4mを確保するためにセットバック部分の土地を買取り、拡幅整備を行いました。 ・ 件数 2件 |
| 令和元年度 | ○ セットバック部分の土地を買取り、61.4mの拡幅整備を行いました。 ・ 件数2件 |
| 令和2年度 | ○ 本町三丁目地区において、セットバック部分の土地を買取り、計72.0mの拡幅整備を行いました。 ・ 件数2件 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 実施計画期間中の整備延長 (累計) | m | 目標値 | 30.0 | 60.0 | 90.0 | 120.0 | 150.0 |
| | | | 実績値 | 34.1 | 52.9 | 99.3 | 160.7 | 232.7 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|--------|------|--------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 972 | 486 | 0 | 400 | 0 | 86 |
| 平成29年度 | 2,595 | 1,208 | 0 | 1,209 | 0 | 178 |
| 平成30年度 | 8,768 | 4,300 | 0 | 3,800 | 0 | 668 |
| 令和元年度 | 6,844 | 3,150 | 0 | 3,517 | 0 | 177 |
| 令和2年度 | 8,833 | 4,000 | 0 | 3,999 | 0 | 834 |
| 合計 | 28,012 | 13,144 | 0 | 12,925 | 0 | 1,943 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|-------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 平成24年度の事業開始以降、狭あい道路整備対象地区（本町三丁目）における家屋の建替えなどに伴い、年間2件程度の申請があり、前期実施計画期間で計232m（目標比155%）の整備を行うことができました。国の交付金制度が令和5年度までの時限措置となっていることを踏まえ、今後の事業の方向性について検討を進めます。 | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 家屋等の建替えに応じ、地権者の協力により整備を進めるため、大きな進捗を望める事業ではないものの、緊急車両の進入路の確保や延焼防止など災害に強いまちづくりを進めていくため重要な事業であり、議会からも全町的な事業エリア拡大の要望が寄せられています。今後の事業の方向性については、国の動向を踏まえつつ、検討を進めます。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------------------|---|------|------|------|------|------|
| 412107 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 実施計画期間中の整備延長(累計) | m | 30 | 60 | 90 | 120 | 150 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | ●安心安全なまちづくりと良好な住環境の確保のため、狭あい道路の拡幅を行います。また、対象区域の拡大を視野に事業の見直しを進めます。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 4,000万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | コミュニティバス運行事業 | 事業番号 | 412109 |
| 担当部署名 | 建設部 | 都市整備課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 2: 都市施設の整備 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の南北を結ぶ路線バス「つばきバス」を引き続き運行し、公共施設との接続を図り、住民生活の利便性の確保に努めました。 ○ 車両の老朽化に伴い、5カ年のリース契約で平成28年9月に車両更新を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の南北を結ぶ路線バス「つばきバス」を引き続き運行し、公共施設との接続を図り、住民生活の利便性の確保に努めました。 ○ つばきバスのみくまり三丁目バス停にバスシェルターを設置しました。 ○ 「地域公共交通網形成計画」の策定に向けて府中町公共交通協議会を立ち上げ、第1回目の会議を開催しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ イオンモール広島府中を起点に、「つばきバス」を運行しました。なお、年末年始もダイヤを変更して休まず運行しましたが、平成30年7月豪雨災害の影響により、7月に数日間運休となりました。 ○ つばきバスの空城山公園入口バス停にバスシェルターを設置しました。 ○ 平成30年7月豪雨の影響により、「地域公共交通網形成計画」の策定までは至りませんでした。が、「つばきバス」の路線等のあり方についての検討に着手しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ イオンモール広島府中を起点に、「つばきバス」を運行しました。 ○ 「府中町地域公共交通網形成計画」において令和2年度以降つばきバスの運行見直し（ルートおよびダイヤ）を計画していることから、今年度のバス停のシェルター設置は保留しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者ニーズを踏まえた運行ルート・ダイヤの変更計画を策定しました。 ○ つばきバスの運行ルート変更に伴う、バス停の設置・撤去は必要性を生じなかったため、実施しませんでした。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ① | 乗客数 | 人 | 目標値 | 188,780 | 189,520 | 190,260 | 191,000 | 191,000 |
| | | | 実績値 | 184,364 | 190,293 | 185,471 | 183,335 | 128,914 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|-------|-----|-----|---------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 40,326 | 0 | 444 | 0 | 0 | 39,882 |
| 平成29年度 | 47,287 | 0 | 444 | 0 | 0 | 46,843 |
| 平成30年度 | 49,697 | 0 | 455 | 0 | 0 | 49,242 |
| 令和元年度 | 49,279 | 0 | 458 | 0 | 0 | 48,821 |
| 令和2年度 | 51,649 | 0 | 444 | 0 | 0 | 51,205 |
| 合計 | 238,238 | 0 | 2,245 | 0 | 0 | 235,993 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|-------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数が大幅に減少しました。収束後の利用者の回復を期待します。 | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 令和3年度にダイヤ・ルート改正を行い、実証運行を経て、サービスを向上させた上で利用者の増加を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | | 目標値 | | | | |
|----------|--------------------|--|---|---------|---------|---------|---------|
| 事業指標 | 単位 | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 413103 | コミュニティバス等運行事業として再編 | | | | | | |
| 乗客数 | 人 | | 150,000 | 170,000 | 185,000 | 195,000 | 200,000 |
| | | | | | | | |
| 具体的な取り組み | | | ●町内の南北を結ぶ「つばきバス」を継続して運行するほか、新たに乗り合いタクシーの運行を開始することにより、誰もが「おでかけ」しやすい地域公共交通ネットワークを構築します。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | | 2億8,388万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 住環境改善事業 | 事業番号 | 413101 |
| 担当部署名 | 建設部 | 建築課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 3: 住環境の向上 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町の住まいづくり及び住環境の向上に向けた今後の施策の指針となる新たな計画として府中町住宅マスタープランを策定しました。 ○ 災害から町民の生命と身体を保護することを目的として、災害分野での住宅施策を推進するために府中町耐震改修促進計画を策定しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 木造住宅耐震診断補助事業、木造住宅耐震改修補助事業、子育てあんしん住宅リフォーム支援事業を新たに開始し、広報やホームページなどを通じて、住民への周知活動を行いました。 ○ 木造住宅耐震改修補助事業について、費用の一部助成を1件行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 木造住宅耐震診断補助事業について、補助金の交付を1件行いました。 ○ 子育てあんしん住宅リフォーム支援事業について、補助金の交付を3件行いました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 木造住宅耐震診断補助事業について、補助金の交付を2件行いました。 ○ 木造住宅耐震改修工事補助事業について、補助執行はありませんでした。 ○ 子育てあんしん住宅リフォーム支援事業について、補助金の交付を2件行いました。 ○ 民間ブロック塀等撤去費用補助事業について、補助金の交付を3件行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町営住宅の長寿命化によるコスト縮減を図ることを目的に、「町営住宅長寿命化計画」の見直しを行いました。 ○ 木造住宅耐震診断事業について、補助金交付はありませんでした。 ○ 木造住宅耐震改修事業について、補助金交付はありませんでした。 ○ 子育てあんしん住宅リフォーム支援事業について、補助金交付を2件行いました。 ○ ブロック塀安全確保事業について、補助金交付を4件行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 府中町住宅マスタープランの策定 | % | 目標値 | 100 | - | - | - | - |
| | | | 実績値 | 100 | - | - | - | - |
| | | | 達成状況 | 達成 | - | - | - | - |
| ② | 府中町耐震改修促進計画の策定 | % | 目標値 | 100 | - | - | - | - |
| | | | 実績値 | 100 | - | - | - | - |
| | | | 達成状況 | 達成 | - | - | - | - |
| ③ | 実施計画期間中の事業進捗率（事業費ベース） | % | 目標値 | 1.3 | 26.0 | 51.0 | 75.0 | 100 |
| | | | 実績値 | 0.9 | 4.0 | 22.9 | 53.8 | 82.4 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ④ | 町営住宅長寿命化計画の改訂 | % | 目標値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 7,595 | 3,278 | 0 | 0 | 0 | 4,317 |
| 平成29年度 | 107 | 10 | 0 | 0 | 0 | 97 |
| 平成30年度 | 949 | 402 | 0 | 0 | 0 | 547 |
| 令和元年度 | 1,464 | 681 | 0 | 0 | 0 | 783 |
| 令和2年度 | 2,636 | 1,218 | 0 | 0 | 0 | 1,418 |
| 合計 | 12,751 | 5,589 | 0 | 0 | 0 | 7,162 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 目標値に対し、実績値が82.4%となっているのは、木造住宅耐震改修について目標が診断20件、改修4件に対し、実績が診断2件、改修2件となったことが主な要因です。ニーズとしては耐震性向上よりも明装などに重点が置かれていることが多いため、改修に限らず、建て替え時にも利用できる制度を検討し、木造住宅の耐震性向上を図っていきます。 | |
| 作成担当課長 | 建築課長 川口 正幸 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 実績値82.4%で目標未達成となりました。要因は木造住宅耐震化に関する補助の実績が低いことで、制度がニーズに合っていないことが原因の一つと考えられます。制度の見直しを含め、木造住宅耐震化の促進を図っていきます。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 413105 | 継続実施 | | | | | |
| 補助件数 | 件 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| 具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ●個人の良好な居住環境の形成を図るため、耐震診断に係る費用や住宅リフォーム費用を助成します。 ●住宅マスタープラン、町営住宅長寿命化計画を策定します。（令和7年度） | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2,292万円 | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 急傾斜地崩壊対策事業 | 事業番号 | 413103 |
| 担当部署名 | 建設部 | 都市整備課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 1: 計画的な都市整備の推進 | | |
| 単位施策 | 3: 住環境の向上 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 県急傾斜対策事業の対象となる急傾斜地について設計・工事を行うものです。関係地権者が土地使用及び受益者負担を了承され、要望書が1件提出されました。 |
| 平成29年度 | ○ 関係地権者の要望に基づく対策工事を行うため、設計を行いました。 |
| 平成30年度 | ○ 土砂災害から人命・財産を守るため、平成30年度から令和2年度にかけて、法面崩壊対策工事を実施する計画のうち、平成30年度分工事を計画どおり行いました。 ・ 宮の町三丁目地区 1か所 |
| 令和元年度 | ○ 急傾斜地崩壊対策工事を行いました。 ・ 柳ヶ丘地区（災害復旧） 1か所 ・ 浜田四丁目地区（災害復旧） 1か所 ・ 八幡四丁目地区（災害復旧） 1か所 ※災害復旧事業は事業目標には計上しません。 |
| 令和2年度 | ○ 法面崩壊対策工事が完了しました。 ・ 宮の町三丁目地区 1か所 ○ 法面崩壊対策工事の設計に着手しました。 ・ みくまり三丁目地区 1か所 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 急傾斜地崩壊対策箇所（累計） | 箇所 | 目標値 | - | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 実績値 | - | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | | 達成状況 | - | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|--------|--------|--------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 6,087 | 0 | 0 | 4,870 | 0 | 1,217 |
| 平成30年度 | 31,842 | 0 | 11,250 | 14,200 | 6,368 | 24 |
| 令和元年度 | 105,360 | 0 | 56,231 | 38,457 | 10,672 | 0 |
| 令和2年度 | 18,831 | 0 | 7,532 | 7,533 | 3,766 | 0 |
| 合計 | 162,120 | 0 | 75,013 | 65,060 | 20,806 | 1,241 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|-------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 前期計画期間においては、宮の町三丁目地区の事業が完了しました。その他にも3地区の平成30年7月豪雨災害による復旧事業を行いました。平成30年7月豪雨災害以降、事業に対する相談件数が増加していますが、地元負担金が多額となることから、事業着手までに断念されるケースが多く見られます。 | |
| 作成担当課長 | 都市整備課長 磯亀 智 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 急傾斜地崩壊対策事業は、がけ崩れによる災害から人命や財産を守るため、急傾斜地崩壊危険箇所において対策工事を実施するものであり、県費と地元負担金を財源として事業を進めています。地元負担金は総事業費の1～2割であり、妥当な負担割合と考えますが、1箇所あたりの事業費が高額となることから、事業推進の課題となっています。新技術の採用などによる経済的な工法の選定について検討を進めるとともに、県費補助対象工事業件の緩和について県と協議を行います。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|---|------|------|------|------|
| 413102 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 事業進捗率 | % | 100 | - | - |
| 具体的な取り組み | | ●急傾斜地の崩壊による災害を未然に防止するため、みくまり三丁目地区の法面崩壊防止対策工事を行います。（令和3年度） | | | | |
| 5年間の事業費 | | 4,000万円 | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 橋りょう長寿命化事業 | 事業番号 | 421101 |
| 担当部署名 | 建設部 | 維持管理課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2: 社会資本の安定的な供給 | | |
| 単位施策 | 1: 公共施設の計画的な維持・保全 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 橋りょうの健全度を把握するため、道路法で5年に1回行うことが義務付けられている橋りょうの定期点検を行いました。 平成28年度点検橋りょう数…18橋 ○ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょう定期点検の結果、健全度の悪い橋りょうから、順次補修するための詳細設計を行いました。 平成28年度設計橋りょう数…1橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 平成28年度実施橋りょう数…1橋 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 詳細設計を1橋、長寿命化工事を1橋行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょう定期点検の結果を踏まえ、健全度の低い橋りょうから順次補修するための詳細設計を行いました。 平成30年度設計橋りょう数…6橋 ○ 上記の詳細設計をもとに、橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 平成30年度実施橋りょう数…2橋 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県定期点検要領に基づき、定期点検を行いました。 ・令和元年度定期点検 19橋 ○ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋りょうから補修詳細設計を行いました。 ・令和元年度設計橋数 4橋 ○ 詳細設計をもとに、橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・令和元年度工事橋数 7橋 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県定期点検要領に基づき、定期点検を行いました。 ・定期点検 22橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 ・工事橋数 3橋 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 修繕実施橋りょう数（累計） | 橋 | 目標値 | 3 | 5 | 7 | 9 | 10 |
| | | | 実績値 | 2 | 3 | 4 | 10 | 11 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|--------|------|--------|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 13,138 | 7,026 | 0 | 3,800 | 0 | 2,312 |
| 平成29年度 | 6,096 | 3,146 | 0 | 2,574 | 0 | 376 |
| 平成30年度 | 27,804 | 12,788 | 0 | 12,600 | 1,120 | 1,296 |
| 令和元年度 | 45,412 | 24,612 | 0 | 19,941 | 642 | 217 |
| 令和2年度 | 23,425 | 12,780 | 0 | 10,457 | 0 | 188 |
| 合計 | 115,875 | 60,352 | 0 | 49,372 | 1,762 | 4,389 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき早急な措置が必要な健全度Ⅲ、Ⅳの橋りょうの修繕は完了しました。引き続き、国や県に補助金の確実な配分を求めて働きかけを行い、計画的に定期点検や修繕を実施することにより、適切な橋りょうの維持管理を図ります。 | |
| 作成担当課長 | 維持管理課長 谷口 洋二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を実施しました。本事業は国の補助金を活用して進めており、今後も引き続き補助金の確実な配分について、国や県に働きかけ、橋りょうの長寿命化を図ります。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|------|------|------|------|------|
| 421101 | 継続実施 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 事業指標 | 単位 | | | | | |
| 事業進捗率 | % | 23.5 | 45.2 | 60.7 | 84.1 | 100 |
| 具体的な取り組み | ●橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの定期点検や改修工事を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 2億210万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 道路補修等事業 | 事業番号 | 421102 |
| 担当部署名 | 建設部 | 維持管理課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 2: 社会資本の安定的な供給 | | |
| 単位施策 | 1: 公共施設の計画的な維持・保全 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の町道・県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 町道の維持補修…123件、県道の維持補修…38件 ※県道に係る維持管理については、広島県からの交付金により実施しました。 ○ 府中町道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、順次舗装の修繕を行いました。 平成28年度修繕延長…665.3m |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町道129件、県道42件の維持補修等を行いました。 ○ 801.0mの道路舗装を行いました。 ○ 国の交付金事業から単独事業に振り替え事業を執行したため、決算額は昨年度より増額となりました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、順次舗装の修繕を行いました。 ・平成30年度修繕延長：579.3m ○ 老朽化している水路の床版を改良しました。 ・施工延長：40.2m ○ 町内の町道・県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修：123件 ・県道の維持補修：28件 ※県道に係る維持管理については、広島県からの交付金により実施しました。 ○ 豪雨時の浸水被害を解消するため、雨水排水能力の向上を図りました。 ・柳ヶ丘南北線 L=47.3m ・青崎25号線 L= 7.5m |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から舗装の補修を行いました。 ・令和元年度補修延長 L=653.9m ○ 老朽化している水路の床版を改良しました。 ・令和元年度施工延長 L=24.6m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修 116件 ・県道の維持補修 21件 ※県道に係る維持管理については、広島県からの交付金により実施しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から舗装の補修を行いました。 ・補修延長 L=1,763m ○ 老朽化している水路を改良しました。 ・施工延長 L=30.2m ○ 里道排水の民有地への流入防止工事を行いました。 ・施工延長 L=51.6m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修 143件 ・県道の維持補修 38件 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 修繕実施道路延長（累計） | m | 目標値 | 1,490 | 2,790 | 4,140 | 5,090 | 6,000 |
| | | | 実績値 | 1,109 | 1,910 | 2,489 | 3,143 | 4,906 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|--------|---------|-------|---------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 82,984 | 7,214 | 9,058 | 26,400 | 0 | 40,312 |
| 平成29年度 | 121,974 | 0 | 14,170 | 72,598 | 1,517 | 33,689 |
| 平成30年度 | 77,554 | 0 | 13,625 | 34,600 | 0 | 29,329 |
| 令和元年度 | 84,761 | 0 | 15,745 | 24,004 | 4,644 | 40,368 |
| 令和2年度 | 97,274 | 0 | 15,322 | 15,549 | 0 | 66,403 |
| 合計 | 464,547 | 7,214 | 67,920 | 173,151 | 6,161 | 210,101 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から舗装の補修を行いました。現場条件により施工費が上がったため、目標としていた修繕延長までの実施に至りませんでした。今後は舗装修繕計画の見直しを行い、適正な施工方法等を選定し、計画的に舗装修繕を実施します。 | |
| 作成担当課長 | 維持管理課長 谷口 洋二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 夜間施工の実施など、各路線に適した施工方法を採用したことにより、施工費が上がり目標未達成となりました。そのため後期実施計画期間内に舗装修繕計画の見直しを行います。また、平成30年7月豪雨災害以降、町民からの維持補修に関する相談件数は増加していることから、必要な予算確保に努めます。 | |
| 作成担当部長 | 建設部長 井上 貴文 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 421102 | 継続実施 | | | | | |
| 事業進捗率 | % | 19.5 | 41.6 | 61.1 | 80.5 | 100 |
| 具体的な取り組み | ●道路舗装修繕計画に基づき、継続的・計画的な道路維持補修工事を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 4億4,462万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 公共下水道整備事業（污水） | 事業番号 | 431101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 下水道課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3: 快適・安全な生活環境の確保 | | |
| 単位施策 | 1: 生活環境の向上 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道の整備を促進するため、砂原第2処理分区、青崎第2処理分区において、延長2,196.1m、面積5.2haの面的整備を進めました。 ○ 私道への公共下水道の排水施設設置制度を活用し、水洗化率の向上を図りました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道污水管（内径200mm）を2,550.9m布設しました。（整備面積5.68ha、人口普及率95.9%） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道污水管（内径200mm）を1,217m布設しました。 ○ 水洗化率の向上を図るため、私道3路線への公共下水道の整備を行いました。 ○ 管渠埋設に伴い、道路の全面舗装復旧を行いました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道污水管（内径200mm）を1,265m布設しました。 ○ 私道内整備を2路線行い、水洗化率の向上を図りました。 ○ 管渠埋設に伴う舗装整備等を行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道污水管（内径200mm）を1,727m布設しました。 ○ 私道内整備を7路線行い、水洗化率の向上を図りました。 ○ 管きょ埋設に伴う舗装整備等を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 下水道整備率（累計） | % | 目標値 | 89.7 | 90.5 | 91.5 | 92.2 | 93.0 |
| | | | 実績値 | 90.0 | 91.1 | 91.5 | 92.1 | 93.8 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-----------|---------|------|---------|--------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 253,621 | 78,000 | 0 | 140,700 | 21,496 | 13,425 |
| 平成29年度 | 314,116 | 92,150 | 0 | 199,800 | 15,605 | 6,561 |
| 平成30年度 | 163,119 | 46,667 | 0 | 100,355 | 13,931 | 2,166 |
| 令和元年度 | 222,900 | 65,420 | 0 | 144,400 | 0 | 13,080 |
| 令和2年度 | 305,167 | 104,539 | 0 | 186,900 | 13,728 | 0 |
| 合計 | 1,258,923 | 386,776 | 0 | 772,155 | 64,760 | 35,232 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 計画どおり整備区域の拡大を図り、目標を達成しました。令和7年度までの概成を目指し、今後も事業を継続していきます。 | |
| 作成担当課長 | 下水道課長 原田 司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は令和元年度を除き達成しています。令和7年度の概成を目指し、今後も事業を継続していきます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------------|----------------|---|------|------|------|------|
| 414101 | 下水道事業<汚水>として再編 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 94.2 | 95.0 | 95.8 | 96.4 | 96.8 |
| 下水道整備率（累計） | % | | | | | |
| 具体的な取り組み | | ●公共用水域の水質保全と快適な生活環境の向上を目的に、公共下水道の普及を図ります。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 13億5,635万円 | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 県施行太田川流域下水道事業負担金事業 | 事業番号 | 431102 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 下水道課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3: 快適・安全な生活環境の確保 | | |
| 単位施策 | 1: 生活環境の向上 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | ○ 東部浄化センター等、広島県が施行する太田川流域下水道の整備費に対し、各受益市町の計画下水量の割合に応じ、負担を行いました。 |
| 平成29年度 | ○ 広島県東部浄化センターの処理場整備費に対し、流域下水道に接続する自治体の計画下水量に応じた負担を行いました。 |
| 平成30年度 | ○ 東部浄化センターの管理棟の耐震改修工事や汚水ポンプ等の汚水処理設備の更新費用の一部について、費用を負担しました。 |
| 令和元年度 | ○ 東部浄化センターの管理棟の耐震改修工事及び汚水ポンプ等の汚水処理設備の更新費用の一部について、費用を負担しました。 |
| 令和2年度 | ○ 東部浄化センターの管渠設備の更新や、処理場施設の耐震化及び設備の更新工事に係る費用の一部を負担しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間中の事業進捗率 (事業費ベース) | % | 目標値 | 10.0 | 30.0 | 50.0 | 80.0 | 100 |
| | | | 実績値 | 6.2 | 19.0 | 29.5 | 36.0 | 40.8 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|--------|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 14,991 | 0 | 0 | 14,700 | 0 | 291 |
| 平成29年度 | 25,196 | 0 | 0 | 25,100 | 0 | 96 |
| 平成30年度 | 30,903 | 0 | 0 | 30,800 | 0 | 103 |
| 令和元年度 | 15,424 | 0 | 0 | 15,200 | 0 | 224 |
| 令和2年度 | 11,541 | 0 | 0 | 11,500 | 41 | 0 |
| 合計 | 98,055 | 0 | 0 | 97,300 | 41 | 714 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 県事業への負担金額を指標としており、当初より県の事業費が減少しているため目標は未達成となりました。流域下水道で府中町の汚水を処理しているため、今後も負担金を支出していきます。 | |
| 作成担当課長 | 下水道課長 原田 司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 事業目標は全ての年度で未達成ですが、県の負担金が当初見込みより減額となったため、整備は計画どおり実施されました。下水道汚水の安定的な処理を行うため、今後も事業を継続していきます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

前期実施計画（平成28年度～令和2年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|---------|------------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 公共下水道長寿命化事業 | 事業番号 | 432101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 下水道課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり | | |
| 基本施策 | 3: 快適・安全な生活環境の確保 | | |
| 単位施策 | 2: 市街地の浸水対策 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 雨水幹線ストックマネジメント計画・ポンプ場ストックマネジメント計画（府中ポンプ場）を策定しました。今後は、この計画に基づき改築更新のための各種設計・工事を行っていきます。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中1号幹線の改築更新に伴う詳細設計業務（L=約900m）を行いました。 ○ 府中ポンプ場の基礎杭等の耐震補強工事に伴う基本設計については、日本下水道事業団と協定を締結しましたが、入札が不調となったため、実施できませんでした。 ○ 入川調整池の耐震診断業務を実施しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中1号幹線の改築更新工事を、L=149m実施しました。 ○ 汚水管路施設のストックマネジメント実施方針を策定しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中1号幹線の改築更新工事を、L=146m実施しました。（合計延長295m） |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中1号幹線の改築更新工事をL=124m実施しました。 ○ 府中ポンプ場の電気設備の更新に着手しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施計画期間中の管渠改修延長（累計） | m | 目標値 | - | - | 100 | 200 | 300 |
| | | | 実績値 | - | - | 149 | 295 | 419 |
| | | | 達成状況 | - | - | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|---------|------|---------|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 16,740 | 8,300 | 0 | 8,400 | 0 | 40 |
| 平成29年度 | 39,256 | 17,500 | 0 | 8,400 | 0 | 13,356 |
| 平成30年度 | 202,658 | 99,857 | 0 | 102,700 | 0 | 101 |
| 令和元年度 | 202,217 | 100,000 | 0 | 102,200 | 0 | 17 |
| 令和2年度 | 189,345 | 90,000 | 0 | 99,300 | 45 | 0 |
| 合計 | 650,216 | 315,657 | 0 | 321,000 | 45 | 13,514 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 目標値を上回る進捗となっています。市街地の浸水対策として施設の安定的な機能を保つため、今後も管路及びポンプ場の設備更新を積極的に進めていきます。 | |
| 作成担当課長 | 下水道課長 原田 司 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は全ての年度で達成しました。市街地浸水対策として、施設の安定的な機能を保つための重要な事業であることから、今後も積極的に事業を進めます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|------------|--|------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 313101 | 下水道事業<雨水>として再編 | | | | | |
| 管渠改修延長（累計） | m | 538 | 658 | 739 | 839 | 939 |
| 具体的な取り組み | ●府中1号幹線、茂陰1号幹線の更新等を行います。また、浸水被害から住民を守るため、府中ポンプ場の設備更新を行います。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 16億9,018万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|----------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 総合計画推進事業 | 事業番号 | 511101 |
| 担当部署名 | 総務企画部 | 政策企画課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5:持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 1:総合的なまちづくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1:戦略的なまちづくりの推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「暮らしたいまち」として選ばれるまちを目指して、プロモーション動画、ポスター、リーフレットを作成し、町内外へ魅力を発信しました。 ○ 第4次総合計画に掲げる施策の適切かつ効果的な推進を図るため、あらかじめ設定した目標指標の達成度を評価する仕組みを行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ設定した目標指標の達成度を評価し、施策及び事務事業の進捗管理、改善を行いました。 ○ 「暮らしたいまち」としての認知度向上に向け、WEB広告・交通広告・雑誌広告など各種メディアの特長を活かした町内外への魅力発信を行いました。 ○ 新たな魅力発信の媒体として、町公式フェイスブックの運用を開始しました。 ○ より効果的な事業展開を行うため、現状調査（県内の認知度調査）を行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度事業の施策評価・事務事業評価を実施し、事業の進捗管理を行いました。また、これまでの進捗を踏まえ、平成30年度事業の計画策定を行いました。 ○ 総合戦略の平成29年度末における検証を行うとともに、まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催し、検証結果について意見を求めました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度事業の施策評価・事務事業評価を実施し、事業の進捗管理を行ったほか、これまでの進捗を踏まえ、令和元年度事業の計画策定を行いました。また、第4次総合計画の改訂に向けて、業務委託契約を締結しました。 ○ 総合戦略の平成30年度末における検証を行ったほか、まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催し、検証結果および次期計画の策定について意見を求めました。なお、総合戦略については、計画期間を1年間延伸し、第4次総合計画の改訂と合わせて次期計画を策定します。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前期期間における政策評価を実施し、これを踏まえて「第4次総合計画」の改訂および後期実施計画の策定を行いました。 ○ まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催し、総合戦略の第1期計画期間における取り組みの成果と課題を抽出し、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、「人口ビジョン」の見直しを行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 事務事業評価指標の目標達成率 | % | 目標値 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | | | 実績値 | 59.6 | 64.9 | 62.5 | 60.0 | 60.4 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 7,311 | 0 | 0 | 0 | 2,004 | 5,307 |
| 平成29年度 | 2,656 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2,654 |
| 平成30年度 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 | 51 |
| 令和元年度 | 237 | 0 | 0 | 0 | 5 | 232 |
| 令和2年度 | 8,776 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,776 |
| 合計 | 19,031 | 0 | 0 | 0 | 2,011 | 17,020 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、事業目標は未達成となりました。5年間の成果と課題を踏まえ、令和2年度において、総合計画の改訂及び後期実施計画の策定を行いました。引き続き「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、総合計画を推進します。 | |
| 作成担当課長 | 政策企画課長 土井 賢二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年連続目標値未達成となりましたが、要因は様々であり、一概には特定できないと考えています。5年間の成果と課題を踏まえ、令和2年度において、総合計画の改訂及び後期実施計画の策定を行いました。引き続き「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、総合計画を推進します。 | |
| 作成担当部長 | 総務企画部長 増田 康洋 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|---------------|------|------|------|------|
| 511101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 全事務事業指標の目標達成率 | % | 68 | 76 | 84 |
| | | | | | | |
| 具体的な取り組み | ●事務事業の進捗管理や評価、改善等を行うことで、適切かつ効果的な施策の推進を図ります。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,657万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|----------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 魅力発信事業 | 事業番号 | 511103 |
| 担当部署名 | 総務企画部 | 政策企画課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5 持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 1 総合的なまちづくりの推進 | | |
| 単位施策 | 1 戦略的なまちづくりの推進 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ WEB広告、雑誌広告によるPR、町公式ホームページ内魅力発信サイトのリニューアルを行うとともに、新たなSNSとして公式インスタグラムを開始しました。 ○ 広島県、広島市等と連携して首都圏向け移住フェアに参加するとともに、県内で開催される各種イベントに計3回参加し、来場者へ町の魅力発信を行いました。 ○ 協働による魅力発信として、町に縁ある著名人4名の方に府中町PR大使に就任いただきました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 雑誌広告、シネマ広告などターゲット層に向けた広告事業を行うとともに、新たなSNSとしてLINEを導入しました。 ○ 広島県等と連携して首都圏向け移住フェアに参加するとともに、県内で行われる子育て世代向けイベントに計5回参加し、来場者へ魅力発信を行いました。 ○ 府中町PR大使と連携し、新たな媒体として魅力発信アニメ及び広告冊子を製作しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ PRアニメを活用した映画館広告・街頭ビジョン宣伝を実施するとともに、PRキャラクター「椿町ファミリー」を活用した公用車ラッピング、パネル展などを行いました。 ○ オンライン（Web）での移住フェア、移住相談会に参加し、町の魅力紹介を行いました。 ○ まち記者と協働し、SNS投稿に「#府中町まち記者」のタグをつけて29件の情報発信を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------|----|------|-------|--------|----------|----------|----------|
| ① | 認知度 | % | 目標値 | - | - | 向上（前年度比） | 向上（前年度比） | 向上（前年度比） |
| | | | 実績値 | - | (59.9) | 61.8 | 60.6 | 63.2 |
| | | | 達成状況 | - | - | 達成 | 未達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 1,539 | 0 | 0 | 0 | 85 | 1,454 |
| 令和元年度 | 8,459 | 0 | 0 | 0 | 1,722 | 6,737 |
| 令和2年度 | 2,963 | 0 | 0 | 0 | 79 | 2,884 |
| 合計 | 12,961 | 0 | 0 | 0 | 1,886 | 11,075 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 一部未達成となった年があるものの概ね目標値を達成するとともに、近年の住みこちに関する民間調査でも県内1位となるなど、順調に推移しています。一方、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面イベントの実施が難しくなるなど環境変化も生じており、より効果的な展開を進めるため「新たな生活様式」に即した事業の検討なども進めていく必要があります。 | |
| 作成担当課長 | 政策企画課長 土井 賢二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 目標値について、1か年未達成の年度がありましたが、2か年は達成しました。「住んでよかった、住んでみたい」まちとしての認知度向上は、地道で継続的な魅力発信が効果的であると考えており、引き続き取り組みを進めます。 | |
| 作成担当部長 | 総務企画部長 増田 康洋 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|---------------|--|--------|------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 514101 | 継続実施 | | | |
| まち記者による情報発信回数 | 回 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 |
| 具体的な取り組み | ●「広報ふちゆう」、ホームページなど既存の媒体に加え、PR大使の活用や映画館広告など話題性を獲得することで、更なる府中町の魅力発信と認知度向上を目指します。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 1,611万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|----------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 自治制度調査事業 | 事業番号 | 512101 |
| 担当部署名 | 総務企画部 | 政策企画課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5 持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 1 総合的なまちづくりの推進 | | |
| 単位施策 | 2 自治の体制強化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービスの効率的な運営並びに質の向上を図るため、連携中枢都市圏制度を活用した広島広域都市圏内自治体との連携（構成市町間での意見交換等を行う協議会への出席（2回）、イベント情報紙への情報掲載等）を行いました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の首長が出席し議事を協議する協議会、各種事業の連絡調整を行う連絡会、ものづくりや観光振興等の専門部会等へそれぞれ参加し、連携を図りました。 ○ 各種連携イベントの情報発信や情報誌の発行を行いました。 ○ 広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、広島地区病院群輪番制病院運営費補助など各種事業を展開しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の首長が出席し議事を協議する協議会、各種事業の連絡調整を行う連絡会、ものづくりや観光振興等の専門部会等へそれぞれ参加し、連携を図りました。 ○ 広島広域都市圏情報発信拠点“V BASE”を新設し、各種連携イベントの情報発信を行ったほか、情報誌の発行等を行いました。また、広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、ICカードを活用したデジタルタッチラリーを実施するなど、各種事業を展開しました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の首長が出席し議事を協議する協議会、各種事業の連絡調整を行う連絡会、ものづくりや観光振興等の専門部会等へそれぞれ参加し、連携を図りました。 ○ 各種連携イベントの情報発信や情報誌の発行を行いました。 ○ 広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、広島地区病院群輪番制病院運営費補助など、各種事業を展開しました。 ○ 町主催イベントの来場者に広島広域都市圏地域共通ポイントを発行し、集客数の増加を図りました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の首長が出席し議事を協議する協議会、各種事業の連絡調整を行う連絡会、ものづくりや観光振興等の専門部会等へそれぞれ参加し、連携を図りました。 ○ 各種連携イベントの情報発信や情報誌の発行を行いました。 ○ 広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、広島地区病院群輪番制病院運営費補助など、各種事業を展開しました。 ○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、町主催イベントでの広島広域都市圏地域共通ポイントの発行は見送りました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 情報発信回数(累計) | 回 | 目標値 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| | | | 実績値 | 1 | 10 | 22 | 32 | 41 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49 |
| 平成29年度 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 | 51 |
| 平成30年度 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 | 51 |
| 令和元年度 | 78 | 0 | 0 | 0 | 0 | 78 |
| 令和2年度 | 81 | 0 | 0 | 0 | 0 | 81 |
| 合計 | 310 | 0 | 0 | 0 | 0 | 310 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 情報発信や広島広域都市圏発展ビジョンに基づく各種事業の展開など軌道に乗ってきており、目標値を達成しています。引き続き、圏域経済の活性化や圏域内人口200万人超の維持を目指し広島広域都市圏の連携を進めます。 | |
| 作成担当課長 | 政策企画課長 土井 賢二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年間連続目標値を達成しました。引き続き広島広域都市圏内自治体と協力・連携し、圏域の自律的・持続的な発展、そして本町の持続可能なまちづくりへ向け、構成自治体としての役割を果たしていく必要があると考えます。 | |
| 作成担当部長 | 総務企画部長 増田 康洋 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|---|--------|------------------|------|------|------|
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 512101 | 広島広域都市圏推進事業として再編 | | | |
| 情報発信回数 | 回 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 具体的な取り組み | ●人口減少・少子高齢化社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するため、広島広域都市圏内の自治体と連携して事務を進めます。 | | | | | |
| 5年間の事業費 | 198万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------|-------|--------|
| 事務事業の名称 | 広報広聴事業 | 事業番号 | 522101 |
| 担当部署名 | 総務企画部 | 政策企画課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5 持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 2 自治を支える安定した行財政運営 | | |
| 単位施策 | 2 広報広聴の充実 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報ふちゅうを毎月発行して、行政や地域に関する情報を積極的に発信しました。 ○ 公式ホームページをリニューアルして、わかりやすく検索しやすいホームページを構築しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報ふちゅうを月1回（年12回）発行しました。 ○ 平成28年度にリニューアルした府中町公式ホームページの、安定的な運用と積極的な情報発信を行いました。 ○ フェイスブックの運用を開始しました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町政情報をより分かりやすい形で情報提供していくため、事業課と共同で特集記事を隔月で掲載しました。 ○ 情報の分かりやすさや発信量拡充に向けて、運用体制の簡略化と職員向け研修会を行いました。結果、年間のコンテンツ更新量が約14ポイント（96件）の増加となるとともに、閲覧数も増加しました。 ※7月豪雨災害による影響を除くため、7月分の閲覧数は除外して比較しています。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町政情報を分かりやすく伝えていくため、事業課と共同で、特集記事を概ね隔月で掲載しました。 ○ 情報発信量の拡充に向けて、引き続き職員研修会を開催しました。また組織機構の改編にあわせて、サブサイト化など、閲覧者が検索しやすいよう情報集約に努めた結果、閲覧数も大きく増加しました。 ○ 多言語情報発信ツールを令和元年7月に導入し、広報紙、議会だよりなどの多言語発信を進めました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症に係る支援情報、予防対策等の特集記事を概ね隔月でとりまとめ掲載しました。 ○ 報道対応力向上を目的とした研修会を開催するとともに、対応マニュアルを改訂しました。 ○ ホームページにおいて新型コロナウイルス感染症情報などのタイムリーな発信を続けるとともに、町民の利便性向上を目的に、ホームページ、町公式LINEにAI自動応答システムを導入しました。 ○ 町の紹介冊子「町勢要覧」を時点修正し、発行しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|------------|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ① | ホームページ閲覧件数 | 件 | 目標値 | 1,400,000 | 1,550,000 | 1,700,000 | 1,850,000 | 2,000,000 |
| | | | 実績値 | 1,535,076 | 1,752,801 | 1,765,449 | 2,285,687 | 4,035,413 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 8,750 | 0 | 0 | 0 | 1,049 | 7,701 |
| 平成29年度 | 9,860 | 10 | 434 | 0 | 953 | 8,463 |
| 平成30年度 | 9,963 | 10 | 438 | 0 | 1,289 | 8,226 |
| 令和元年度 | 9,895 | 10 | 440 | 0 | 1,181 | 8,264 |
| 令和2年度 | 12,440 | 9 | 0 | 0 | 1,746 | 10,685 |
| 合計 | 50,908 | 39 | 1,312 | 0 | 6,218 | 43,339 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>目標値を大きく上回る形で達成しています。一方、情報技術の革新により情報の入手手段や方法は変化しつつあり、特に現在、情報入手の中心となっているスマートフォンからのホームページ閲覧性の向上などが急務となっています。</p> | |
| 作成担当課長 | 政策企画課長 土井 賢二 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| <p>5年間連続目標値を達成しました。広報事業についてはこの5年間で充実度が增加しているものと考えられますが、今後は広聴事業として、地域住民の声をいかに吸い上げていくか、その施策等を検討する必要があると考えます。</p> | |
| 作成担当部長 | 総務企画部長 増田 康洋 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | まちづくり振興基金積立金事業 | 事業番号 | 523101 |
| 担当部署名 | 財務部 | 財政課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5:持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 2:自治を支える安定した行財政運営 | | |
| 単位施策 | 3:財政基盤の安定化 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---------------------------------------|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | ○ まちづくり振興基金へ、一般財源により5,445千円の積立を行いました。 |
| 令和2年度 | ○ まちづくり振興基金へ、一般財源により5,140千円の積立を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|----------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | まちづくり振興基金への積立 (一般財源による) | 円 | 目標値 | - | - | - | 積立 | 積立 |
| | | | 実績値 | - | - | - | 積立 | 積立 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-----|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 5,445 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,445 |
| 令和2年度 | 5,140 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,140 |
| 合計 | 10,585 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,585 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>公共施設の老朽化等を見据えた改修等の財源の確保のための積立を行うことができました。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ふるさと応援寄付金制度の充実も図りながら、安定的な財源確保に努めます。</p> | |
| 作成担当課長 | 財政課長 中本 孝弘 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| <p>今後進行していく公共施設の老朽化対策の財源として、令和元年度から開始したまちづくり振興基金への積立については、令和元年度・令和2年度とも目標を達成することができました。今後は、公共施設等総合管理計画を策定し、各施設の行政コスト計算書を作成することで、コストの「見える化」を図り、更なる財源確保を目指していきます。</p> | |
| 作成担当部長 | 財務部長 胡子 幸穂 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|--|----------------------------|------|-------|-------|-------|
| 521101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 実施計画期間中のまちづくり振興基金への積立額（累計） | 万円 | 1,000 | 2,000 | 3,000 |
| 具体的な取り組み | <p>●公共施設の老朽化等を見据え、改修等に必要な財源を安定的に確保するため、まちづくり振興基金へ一般財源による積立を行います。</p> | | | | | |
| 5年間の事業費 | 5,000万円 | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 証明書等コンビニ交付事業 | 事業番号 | 531101 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 住民課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5:持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:住民に便利な行政サービスの提供 | | |
| 単位施策 | 1:多様な行政サービスの提供 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 戸籍証明の交付に係る戸籍電算システムの契約更新に伴い、システムベンダーが変更されたことでコンビニ交付システムの構築は新旧2社（富士通・富士ゼロックス）の協業により進めざるを得なくなりました。これにより、システム構築に9箇月間の追加作業期間を要すると見込まれたため、コンビニ交付の開始を平成29年9月1日に繰り延べました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 印鑑条例の一部改正及び関係要領の改正を行った後、9月1日から証明書等コンビニ交付を開始しました。（利用件数177件） ○ 広報・HP・チラシ等でサービス開始の告知と利用啓発を行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票、印鑑証明、戸籍等をコンビニで交付しました。（364件） ○ 広報活動としてチラシを作成し配布したほか、広報紙やホームページへの掲載、つばきバス内でのお知らせの表示などPRを行いました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票、印鑑証明、戸籍等をコンビニで交付しました。（631件） なお、個人番号カードの交付数は年度末時点で8,559枚（交付率16.38%）となっています。 ○ 個人番号カードの交付促進のため、町内会を対象に出張申請受付を実施しました。 ○ 広報活動として、個人番号カード取得者、電子証明書更新者及びつばき館来庁者に対しチラシを配布したほか、広報ふちゅうやホームページへの掲載、つばきバス内でのお知らせ表示などPRを行いました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票、印鑑証明書及び戸籍等をコンビニ等で交付しました。（1,589件） ○ マイナンバーカードの交付枚数は年度末時点で17,253枚を交付しました。（交付率33.1%） ○ 広報活動として、マイナンバーカード交付、電子証明書更新及び各種証明書等交付を行った住民に対しチラシを配布したほか、広報ふちゅう及びホームページへの掲載、本庁ロビー、つばきバス内及びつばき館でのお知らせ表示などPRを行いました |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|--------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 証明書等コンビニ交付割合 | % | 目標値 | 2.00 | 10.00 | 15.00 | 20.00 | 25.00 |
| | | | 実績値 | 0.00 | 0.32 | 0.71 | 1.13 | 3.72 |
| | | | 達成状況 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|--------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 20,621 | 0 | 0 | 0 | 17,206 | 3,415 |
| 平成30年度 | 9,379 | 3,607 | 0 | 0 | 68 | 5,704 |
| 令和元年度 | 6,789 | 0 | 0 | 0 | 118 | 6,671 |
| 令和2年度 | 6,011 | 0 | 0 | 0 | 1,143 | 4,868 |
| 合計 | 42,800 | 3,607 | 0 | 0 | 18,535 | 20,658 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は全ての年度で未達成となっているものの、令和2年度の実績値は前年度より約2.6ポイント上昇しました。広報活動に加え、マイナンバーカード保有者の増加が要因と考えられます。今後もマイナンバーカードの交付促進及びコンビニ交付を周知することとします。 | |
| 作成担当課長 | 住民課長 大原 洋和 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は全ての年度で未達成です。令和元年度までは、対前年度比約0.4ポイントずつ割合が上昇していましたが、令和2年度は、約2.6ポイント上昇しています。マイナンバーカードの交付が増えたことが起因していることから、今後もマイナンバーカードの交付を促進していきます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 情報プラザ運営事業 | 事業番号 | 531102 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 住民課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5:持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 3:住民に便利な行政サービスの提供 | | |
| 単位施策 | 1:多様な行政サービスの提供 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|---|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 年末年始を除き常時開館（10：00～20：00）し、利用者へ地域行政情報の提供、証明交付、税金収納等のサービスを行いました。（平成28年度実績 各種証明発行件数6,251件、町税等収納件数と収納額 5,850件 146,847千円） |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票等の証明書を交付しました。（6,120件） ○ 町税等の収納を行いました。（件数5,844件、収納額159,216千円） |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票等の証明書を交付したほか、町税等の収納を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 証明書交付：5,906件、手数料収入1,741,200円 ・ 町税等収納：5,795件、収納額155,900,458円 また、町の各種情報の発信、住民サービスの提供に努めました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票等の証明書を交付したほか、町税等の収納を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 証明交付数：6,028件、手数料収入1,775,550円 ・ 町税等収納：5,923件、収納額160,052千円 ○ アウトソーシングについて、既に導入を行った自治体から資料収集しました。 ○ 業務内容について見直しを図り、令和2年度より、火葬許可証の発行を業務内容に追加しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票等の証明書を交付したほか、町税等の収納を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 証明交付数：4,767件 ・ 町税等収納：4,476件 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数が前年度より減少しました。来館者のうち「観光案内、その他」が64%を占め、情報等の提供の場として利用されています。 ○ 今年度から火葬許可証の発行を業務内容に追加し、役場閉庁日に申請を受付けています。 ○ アウトソーシングについて、既に導入を行った自治体に加えて事業者から資料収集を行いました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 情報プラザ来館者数 | 人 | 目標値 | 17,200 | 17,300 | 17,400 | 17,500 | 17,600 |
| | | | 実績値 | 25,900 | 23,850 | 24,550 | 24,619 | 17,931 |
| | | | 達成状況 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|--------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 7,580 | 0 | 0 | 0 | 547 | 7,033 |
| 平成29年度 | 8,833 | 0 | 0 | 0 | 551 | 8,282 |
| 平成30年度 | 8,989 | 0 | 0 | 0 | 485 | 8,504 |
| 令和元年度 | 8,948 | 0 | 0 | 0 | 547 | 8,401 |
| 令和2年度 | 13,471 | 0 | 0 | 0 | 308 | 13,163 |
| 合計 | 47,821 | 0 | 0 | 0 | 2,438 | 45,383 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|---|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度は来館者数が減少しましたが、事業目標は達成しています。証明書等交付及び町税等収納に係る業務は本庁舎閉庁時に利用されることで住民の利便性の向上が図られています。今後も地域に身近なサービス提供の場として利用しやすい窓口と行政情報の提供を図ります。 | |
| 作成担当課長 | 住民課長 大原 洋和 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 事業目標は全ての年度で達成していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、情報プラザ来館者数は対前年度を下回っています。引き続き、行政サービスの充実、地域の情報や町の魅力の発信に取り組めます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|---------------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 継続実施（財政計画へ移行） | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 庁舎改修等事業 | 事業番号 | 531103 |
| 担当部署名 | 総務企画部 | 総務課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5 持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 住民に便利な行政サービスの提供 | | |
| 単位施策 | 1 多様な行政サービスの提供 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 来庁者の安全を確保するため、府中町役場本庁1階の自動ドアを改修しました。 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 現行の建築基準法に対応するために、役場本庁舎のエレベーター改修工事を行いました。 ○ 大規模災害発生時の行政機能が低下した状況下においても、自治体として適切に業務を執行するため、必要な非常用電源設備の調査を行いました。 |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 役場庁舎及び消防庁舎の非常用自家発電設備を更新するため、工事に向けて実施設計を行いました。 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地震等の災害が発生した場合でも適切に業務を進めるために必要な設備として、役場庁舎及び消防庁舎の非常用自家発電設備を更新しました。 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 役場庁舎の自動火災報知設備受信機を更新しました。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|---------------|----|------|-------|-------|-------|------|------|
| ① | 自動ドア改修工事 | % | 目標値 | 100 | - | - | - | - |
| | | | 実績値 | 100 | - | - | - | - |
| | | | 達成状況 | 達成 | - | - | - | - |
| ② | エレベータ耐震対策 | % | 目標値 | - | 100 | - | - | - |
| | | | 実績値 | - | 100 | - | - | - |
| | | | 達成状況 | - | 達成 | - | - | - |
| ③ | 非常用自家発電設備工事 | % | 目標値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 実績値 | - | - | - | 100 | - |
| | | | 達成状況 | - | - | - | 達成 | - |
| ④ | 自動火災報知設備受信機更新 | % | 目標値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 100 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|---------|-------|------|---------|-------|-------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 476 | 0 | 0 | 0 | 0 | 476 |
| 平成29年度 | 19,008 | 0 | 0 | 14,904 | 4,104 | 0 |
| 平成30年度 | 8,113 | 0 | 0 | 8,100 | 0 | 13 |
| 令和元年度 | 148,348 | 0 | 0 | 144,375 | 0 | 3,973 |
| 令和2年度 | 5,478 | 0 | 0 | 5,478 | 0 | 0 |
| 合計 | 181,423 | 0 | 0 | 172,857 | 4,104 | 4,462 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 計画どおり庁舎改修工事を行い、来庁者が安心して利用できるよう役場庁舎の安全性を確保しました。 | |
| 作成担当課長 | 総務課長 森本 雅生 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|--|--------------|
| （事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等） | |
| 5年間の事業目標は4項目とも目標値を達成しました。この5年間で実施した庁舎の機能拡充や利便性配慮は、確実に住民サービスの向上につながったものと考えます。 | |
| 作成担当部長 | 総務企画部長 増田 康洋 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 単位 | 目標値 | | | | |
|------|----------|----|------|------|------|------|------|
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | 事業計上なし | | | | | | |
| | 事業指標 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 具体的な取り組み | | | | | | |
| | 5年間の事業費 | | | | | | |

1. 基本情報

| | | | |
|---------|-------------------|------|--------|
| 事務事業の名称 | 個人番号カード交付促進事業 | 事業番号 | 531104 |
| 担当部署名 | 町民生活部 | 住民課 | |
| 政策体系 | | | |
| 基本目標 | 5 持続可能なまちづくり | | |
| 基本施策 | 3 住民に便利な行政サービスの提供 | | |
| 単位施策 | 1 多様な行政サービスの提供 | | |

2. 活動実績

| 年度 | 活動実績 |
|--------|--|
| 平成28年度 | |
| 平成29年度 | |
| 平成30年度 | |
| 令和元年度 | |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ マイナポイント事業の開始並びに平日来庁することが難しい住民の利便性に配慮し、夜間・休日に窓口を開設して、マイナンバーカードの申請及び交付数の増加を図りました。交付枚数17,253枚 交付率33.1% ○ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出張申請受付が実施できませんでした。 |

3. 事業目標（事業指標）

| No. | 指標名称 | 単位 | 区分 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----|-----------------------|----|------|-------|-------|-------|------|--------|
| ① | マイナンバーカード交付枚数 (累計) | 枚 | 目標値 | - | - | - | - | 9,577 |
| | | | 実績値 | - | - | - | - | 17,253 |
| | | | 達成状況 | - | - | - | - | 達成 |
| ② | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ③ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |
| ④ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成状況 | | | | | |

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

| 年度 | 事業費合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|-----|------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 平成28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | 5,949 | 5,819 | 0 | 0 | 0 | 130 |
| 合計 | 5,949 | 5,819 | 0 | 0 | 0 | 130 |

5. 総括評価（課長評価）

| | |
|--|------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| マイナポイント事業の開始並びに平日来庁することが難しい住民の利便性に配慮し、夜間・休日に窓口を開設して、マイナンバーカードの申請及び交付数の増加を図りました。(交付枚数17,253枚、交付率33.1%) 交付を促進させるため、役場来庁者への申請受付及び出張申請受付を予定しています。 | |
| 作成担当課長 | 住民課長 大原 洋和 |

6. 総括評価（部長評価）

| | |
|---|--------------|
| (事業目標達成・未達成の要因、5年間の成果・課題、後期実施計画へ向けた展望等) | |
| 事業目標は達成しています。更なる交付促進として出張申請など申請サポートに取り組みます。 | |
| 作成担当部長 | 町民生活部長 金光 一隆 |

7. 後期実施計画 概要

| 事業番号 | 事業展開 | 目標値 | | | | |
|----------|------|--|------|-------|-------|-------|
| 531101 | 継続実施 | | | | | |
| 事業指標 | 単位 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | 夜間・休日窓口、出張窓口の受付件数 | 件 | 1,000 | 1,200 | 1,300 |
| 具体的な取り組み | | ●平日に来庁することが難しい住民の利便性に配慮し、夜間・休日、出張窓口を設けることで、個人番号カードの申請及び交付数の増加を図り、普及を促進します。 | | | | |
| 5年間の事業費 | | 1億4,359万円 | | | | |